NTT docomo

REGZA Phone

T-01C 取扱説明書

ドコモ
W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「T-01C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
T-01Cはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- FOMA端末の本来の製品情報を改ざん／削除などを行った場合、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったりする場合がございます。当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書についての最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書(PDFファイル)」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

T-01Cをご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットN以外のプロバイダはサポートしておりません。

T-01C取扱説明書について

- この『T-01C取扱説明書』の本文中においては、「T-01C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 操作説明の画面は、説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

T-01Cを利用して取扱説明書を閲覧する

- T-01Cの操作方法は、本書のほかにFOMA端末内の「スタートアップガイド」（P.30）や「取扱説明書」（P.33）のアプリケーションでも確認することができます。

目　次

目次／注意事項

ご使用前の確認と設定

電話／ネットワークサービス

各種設定

メール／ブラウザ

マルチメディア

便利な機能

海外利用

付録／索引

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	内容	記号	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険	
禁止	**高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。** 火災、やけど、けがの原因となります。
禁止	**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
分解禁止	**分解、改造をしないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
水濡れ禁止	**水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。 防水性能については下記をご参照ください。 →P.13「防水性能」
指示	**FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止	**強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**充電端子、外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。** 火災、やけどの原因となります。
指示	**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。** ガスに引火する恐れがあります。 ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイ ロック設定をされている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）
指示	**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。** **・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。** **・FOMA端末の電源を切る。** **・電池パックをFOMA端末から取り外す。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。** 落下して、けがの原因となります。
禁止	**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。** けがなどの原因となります。
指示	**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。** 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。
指示	**FOMA端末をアダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。** 充電しながらゲーム、ワンセグ視聴などを長時間行うと、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。 温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。
指示	**ワンセグ視聴時以外ではアンテナを収納してください。** アンテナを引き出したままで通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。** 目に悪影響を及ぼす原因となります。
禁止	**赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。** 赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。
禁止	**ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。** 視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
禁止	**FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。** 運転の妨げとなり、事故の原因となります。
指示	**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

次ページへ続く

⚠警告

指示	**ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。** **また、ステレオイヤホンなどをFOMA端末に装着し､ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。** 音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
指示	**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。** 心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。** 医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠警告

指示	**万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。** ディスプレイ部の表面には、飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを使用し、カメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止	**アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。** 本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。
禁止	**FOMA端末が破損したまま使用しないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**モーションコントロールやモーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。** けがなどの事故の原因となります。
禁止	**誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。** 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。 液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。 また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

⚠注意

指示	**自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。** 車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
指示	**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。** **→P.9「材質一覧」**
指示	**ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。** 視力低下の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止	**端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
禁止	**電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠危険

禁止
火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止
落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示
ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止
一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠注意

禁止
濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示
電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4.アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止
アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
雷が鳴り出したら、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

⚠警告

禁止
コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止
コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止
濡れた手でアダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）のコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示
DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

次ページへ続く

⚠警告

指示	**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）のコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。** 火災、やけど、感電の原因となります。

5.ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示	**ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。** けがの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示	**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。** ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。 ・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

⚠警告

指示	**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。** 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。** 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
認証主銘板		ポリエステルフィルム
ディスプレイ		強化ガラス／飛散防止フィルム
フロントパネル		PC樹脂／ウレタン系塗装処理
背面パネル		PC樹脂／不連続蒸着+UV硬化塗装処理
リアカバー	カバー本体	PC樹脂／ウレタン系塗装処理
	カメラ周辺部	PC樹脂／不連続蒸着+UV硬化塗装処理
	カメラ、外部接続端子周辺部	PC樹脂／UV硬化塗装処理
	内側のシート	磁性シート／ポリエステルフィルム
バックキー／ホームキー／メニューキー		PC樹脂／不連続蒸着+UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ		PC樹脂+ポリエステル系エラストマー樹脂／不連続蒸着+アクリル系UV硬化塗装処理
カメラパネル		アクリル樹脂／アクリル系UV硬化処理
ライトパネル		アクリル樹脂
赤外線パネル		PC樹脂／蒸着+アクリル系UV硬化塗装処理
ワンセグアンテナ		ステンレス鋼+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ストラップホール		ステンレス鋼／ニッケルメッキ+スズニッケルメッキ
充電端子		ABS樹脂+ステンレス鋼／ニッケルメッキ+金メッキ
電源ボタン／音量ボタン／カメラボタン		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ワンセグアンテナ格納部		ポリエステルフィルム
サイドキー固定プレート		ステンレス鋼／ニッケルメッキ
ネジ		・鉄／三価クロメート処理 ・鉄／三価クロメート処理+シリカ系コーティング
電池端子（端子部）		ベリリウム銅／金メッキ処理
電池端子(ソケット部)		LCP
基板保護シール		ポリエステルフィルム
通信用アンテナ保護シール		PC樹脂フィルム
注意喚起ラベル		ポリエステルフィルム
ドコモUIMカード取り付け部	固定部	LCP
	ガイド	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	金属端子部	銅合金／ニッケルメッキ+パラジウムニッケルメッキ+金メッキ
電池パック	電池パック銘板	PET／UVマットニス印刷
	電池パックケース（端子部側）	PA樹脂／放電目加工
	電池パックケース（取り外しツメ側）	PC樹脂／放電目加工
	端子部	ガラスエポキシ基板／金メッキ処理
	水濡れシール	上質紙

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **T-01Cは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
  ・乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  ・ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  ・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

次ページへ続く

- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ･ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカード、USB機器などの使用中は、microSDカード、USB機器などを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  ・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  ・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）、卓上ホルダについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子や外部接続端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

  2.4FH1/DS4/OF4
  ■■■ ■■■ ■■■

  2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
  1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
  4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ■■■ ■■■ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaについてのお知らせ

- T-01CはFeliCaの送信機能に対応していません。
  このため、携帯電話同士のデータの交換や送受信で一部ご利用になれない機能があります。
- ご利用になれない機能を使用した場合、「ご利用になられた「おサイフケータイ」アプリは非対応です。」が表示されます。

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中は、携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水性能

正しくお使いいただくために、「防水性能」の内容をお読みの上、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
T-01Cはリアカバー、外部接続端子キャップをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しております（当社試験方法による）。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにT-01Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

おしらせ

- 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合は、保証の対象外となります。

雨の中で

- 雨の中（1時間の雨量が20mm未満）で傘をささずに通話ができます。
  ※ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、FOMA端末に水滴がついているとき、または手が濡れている状態でのリアカバー、外部接続端子キャップの開閉は絶対にしないでください。

お風呂場で

- お風呂で使用できます。ただし、浴槽には浸けないでください。
  ※ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- ご使用になる場所によっては、電波状態が悪くなることがあります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などにFOMA端末を持ち込むときは、FOMA端末が常温になってから持ち込んでください。
- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 耐水圧設計ではありませんので、蛇口やシャワーなどで高い水圧をかけないでください。

プールサイドで

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。

洗う

- やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗えますが、耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはリアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

ご利用にあたっての重要事項

- ワンセグを見るときは安定した場所に置いて使用してください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。ステレオイヤホン端子・受話口・送話口・スピーカー部・アンテナ部などに砂などが入り音が小さくなったり、FOMA端末内部に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- リアカバー、外部接続端子キャップは、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
  ※「リアカバーを取り外す」（P.15）をご参照ください。
  ※「外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた」（P.14）をご参照ください。
- 防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。 取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 水中でFOMA端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。

次ページへ続く

- お風呂場、キッチンなど、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。このFOMA端末は防湿仕様ではありません。
- FOMA端末の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水･水道水にのみ対応しています。次のイラストで表すような行為は行わないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤をつける

海水をかける

プールの水をかける

温泉で使う

熱湯をかける

薬品をかける

汗をつける

砂／泥をつける

- 万が一、真水・水道水以外（塩素水／海水／洗剤／砂／泥／入浴剤入りの水など）が付着してしまった場合、直ちに水道水で洗い流してください。

防水性能を維持するために

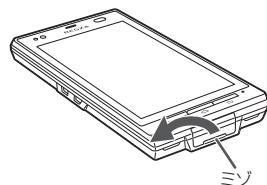
ゴムパッキンについて

外部接続端子キャップ、リアカバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

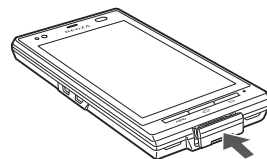
- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水以外の液体（温水や海水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。
- リアカバー、外部接続端子キャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取って必ず取り除いてください。
- リアカバー、外部接続端子キャップの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つく恐れがあり、浸水の原因となります。

■外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

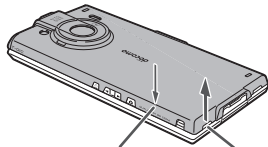
■外部接続端子キャップを開ける

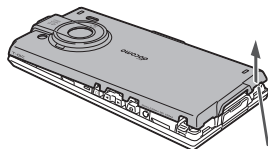
1 ミゾに爪をかけ､矢印の方向に開ける

■外部接続端子キャップを閉じる

1 FOMA端末と外部接続端子キャップに隙間が生じないように､矢印の方向にしっかりと押して閉じる

- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に閉じてください。

■リアカバーを取り外す

- リアカバーの取り付け／取り外しは、FOMA端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- リアカバーはFOMA端末の水分をよく拭きとってから、取り外してください。

1 **リアカバー取り外し部①だけに爪をかけ、カメラボタン下側のツメが外れるまでリアカバーを垂直に持ち上げる**

カメラボタン下側のツメ　リアカバー取り外し部①

2 **リアカバー取り外し部①からリアカバー取り外し部②に爪をかけ替えて、リアカバーを垂直に持ち上げながら取り外す**

リアカバー取り外し部②

水で濡れたあとは

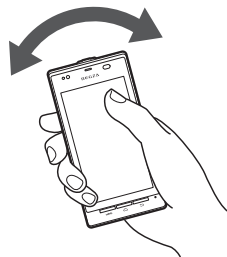
- 水や雪で濡れたあとは、水抜きをし、乾いた清潔な布でFOMA端末の水滴を拭き取ってください。拭き取れなかった水や隙間にたまった水で衣類・かばんを濡らす場合がありますのでご注意ください。
  ※水滴が付着していると、外部接続端子部、ステレオイヤホン端子部、充電端子部がショートする恐れがあり、故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。
  ※寒冷地ではFOMA端末に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- FOMA端末、ステレオイヤホン端子、アンテナに水滴が付着したまま放置しないでください。キーは水分が入り込む構造になっていますが、水分が入り込んだ場合は水抜き（下記）を行ってください。

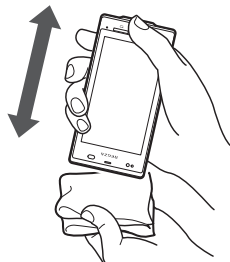
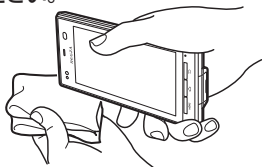
水抜きについて

FOMA端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなる原因となります。
また、キーなどの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、以下の手順でFOMA端末の水分を取り除いてください。

1 **FOMA端末表面の水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。**

2 **下図のようにFOMA端末をしっかりと持って、少なくとも20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。両面とも同じように振ってください。**
FOMA端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。

次ページへ続く

3 **下図のようにステレオイヤホン端子を下にしてFOMA端末をしっかりと持って､少なくとも20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。**

FOMA端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。

4 **乾いた布などにFOMA端末を軽く押し当て､送話口･受話口･スピーカー･キーなどの隙間に入った水分を拭き取ってください。**

5 **乾いた布などを下に敷き､常温で放置してください(30分程度)。**

上記手順を行ったあとでも、FOMA端末に水分が残っている場合があります。
濡れて困るもののそばには置かないでください。

充電に関する注意事項

電池パック、卓上ホルダ、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、次の点を確認してください。

- 濡れたままFOMA端末を充電しないでください。水に濡れたあとに充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 濡れた手で卓上ホルダ、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む）に触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダ、アダプタ（充電器、充電用変換アダプタ含む)は､お風呂場､シャワー室､キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

その他の注意事項

- 温泉やせっけん、洗剤、ジュース、入浴剤の入った水など水道水以外のものを、かけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。耐熱設計ではありません。
- ステレオイヤホン端子、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 本製品は水に浮きません。
- 落下させるなどFOMA端末に強い衝撃を与えないでください。防水性能が維持できなくなる場合があります。
- 周囲温度5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度35%～90%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水性能が維持できない場合があります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- リアカバー、外部接続端子キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります｡そのまま使用せずに電源を切り､電池パックを外した状態で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ステレオイヤホン端子、受話口、送話口、スピーカー部に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- FOMA端末が水に濡れた状態でステレオイヤホンを挿さないでください。故障の原因となります。

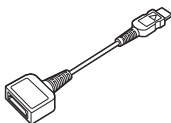
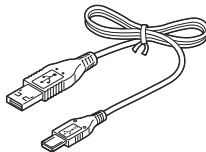
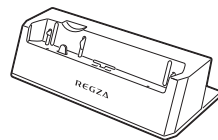
本体付属品および主なオプション品

■本体付属品

T-01C（リアカバー T04、保証書含む）

取扱説明書（本書）

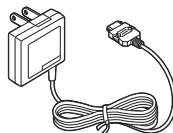
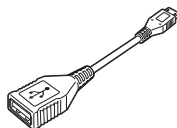
電池パック T03

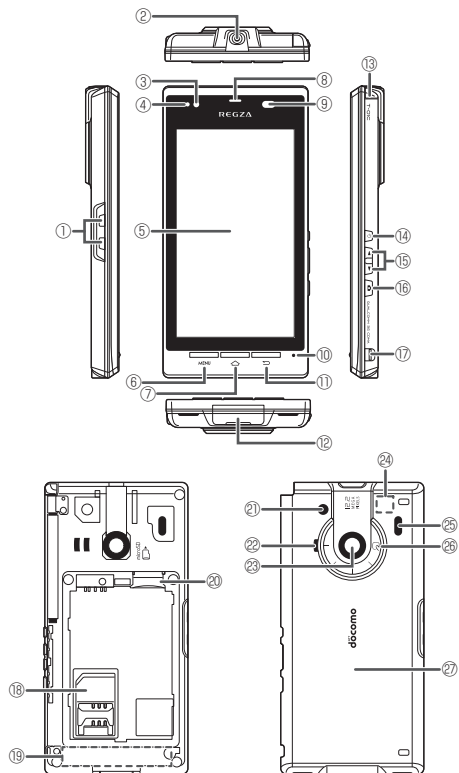
FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01

PC接続用USBケーブル T01

卓上ホルダ T02

■試供品

microSDHCカード（16GB／T）
（取扱説明書付き）

お買い上げ時は、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

■主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書・取扱説明書付き）

周辺機器接続用USBケーブル T01
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.133

各部の名称と機能

	名称	説明
①	充電端子	付属の卓上ホルダを使用して充電するときの端子です。
②	ステレオイヤホン端子（防水）	市販のステレオイヤホンを接続します。
③	照度センサー	周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。明るさを検知するために、センサー部分を手で覆わないようにしてお使いください。
④	お知らせLED	・赤色点灯：充電中。緑色点滅時は点灯しません。 ・緑色点滅：電話着信中や不在着信通知、新着／未読メールがあるときなど ・緑色1回点灯：電源オン
⑤	ディスプレイ（タッチパネル）	指でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します。
⑥	メニューキー MENU	短く押して現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。 文字入力時に長く押して、キーボードを表示／非表示します。
⑦	ホームキー ⌂	短く押してホーム画面に戻ります。 長く押して最近使用したアプリケーションを表示します。
⑧	受話口	相手の声がここから聞こえます。
⑨	近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、近接センサーが誤動作する場合があります。
⑩	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⑪	バックキー ⮌	直前の画面に戻ります。
⑫	外部接続端子	付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01やPC接続用USBケーブル T01などを接続します。
⑬	ワンセグアンテナ	ワンセグを視聴するときに伸ばします。
⑭	電源ボタン⏻	長く押して電源をオンにします（P.24）。 電源をオンにしているときに長く押して、マナーモード、公共モード、機内モードの設定／解除や、電源オフの操作をします。 短く押してスリープモードを設定／解除します（P.24）。

	名称	説明
⑮	音量ボタン [▲]／[▼]	相手の声やスピーカーの音量を調節します （P.44、P.62）。 [▼]を1秒以上押してマナーモードを設定／解除します。
⑯	カメラボタン[◎]	1秒以上押してカメラを起動します。 撮影画面でシャッターキーとして使用したり、動画撮影を開始／終了します。 短く押してスターメモ作成を起動します。
⑰	ストラップホール	—
⑱	ドコモUIMカード取り付け部	ドコモUIMカードを取り付けます（P.19）。
⑲	内蔵アンテナ部分	FOMAアンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
⑳	microSDカード挿入口	microSDカードを挿入します（P.73）。
㉑	カメラライト	カメラ撮影時に点灯します。
㉒	スピーカー	着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声が聞こえます。
㉓	カメラ	静止画や動画を撮影します（P.93）。
㉔	GPSアンテナ部分	GPSアンテナが内蔵されています。
㉕	赤外線ポート	赤外線通信に使用します。
㉖	[FeliCa]マーク	おサイフケータイ利用時にこのマークを読み取り機にかざしてください。
㉗	リアカバー	リアカバー内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。

ドコモUIMカードについて

ドコモUIMカードは、電話番号などのお客様情報を記憶しているICカードです。FOMA端末にドコモUIMカードが正しく取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの操作が行えません。

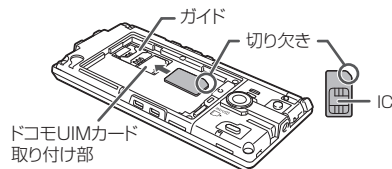
- 本FOMA端末では、ドコモUIMカードに電話番号を登録できません。
- ドコモUIMカードについて詳しくは、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

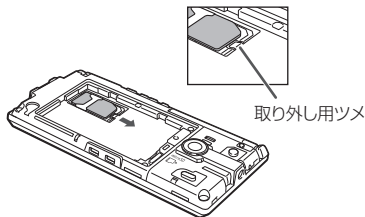
ドコモUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 ドコモUIMカードのIC面を下にして、ガイドの中に差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り外しかたについては、「リアカバーを取り外す」（P.15）、「電池パックを取り外す」（P.21）を参照してください。

ドコモUIMカードを取り外す

1 指で取り外し用ツメを押しながら、ドコモUIMカードを矢印の方向にスライドさせる

おしらせ
- ドコモUIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.67）。

電池パックについて

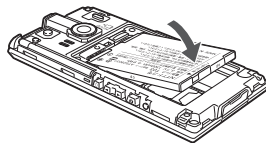
電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 本FOMA端末専用の電池パック T03をご利用ください。

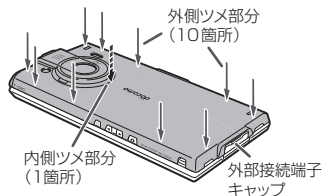
電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P.15）

2 電池パックを取り付ける

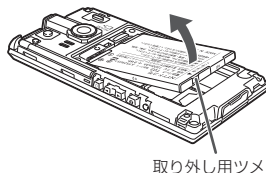
・電池パックの⊕⊖が表示されている面を上にして、電池パックの金属端子をFOMA端末の金属端子に合わせてから、矢印の方向に取り付けます。

3 リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

4 10箇所ある外側ツメ部分を1つずつしっかりと押し、最後に内側ツメ部分(1箇所)をしっかりと押す

- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
  ※「防水性能」(P.13)を参照してください。

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す(P.15)

2 電池パックを取り外す

- 電池パックの取り外し用ツメを利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外します。

充電のしかた

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電時のご注意

- 必ずFOMA端末に電池パックを取り付けて充電してください。
- FOMA端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 充電中はFOMA端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。FOMA端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。FOMA端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 以下の場合、充電エラーになります。充電エラーになると、起動中の機能が終了して電源が切れ、お知らせLEDが赤色に点滅します。充電器を取り外すか電池パックを取り外してください。
  ・充電電圧が高くなった場合
  ・電池パックが過充電/過放電した場合
  ・5時間以上たっても充電が完了しなかった場合

■充電時間（目安）

本FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）	FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01 使用時：約200分 卓上ホルダ使用時：約160分
FOMA DCアダプタ 01／02（別売）	FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01 使用時：約200分 卓上ホルダ使用時：約160分

■十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは、P.146を参照してください。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約370時間 移動時（自動）：約330時間 移動時（3G固定）：約330時間
	GSM	静止時（自動）：約250時間
連続通話時間	FOMA／3G	約280分
	GSM	約260分
ワンセグの視聴時間	REGZA設定オン時	約210分
	REGZA設定オフ時	約240分

■電池パックの寿命について

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion 00

■ご利用になれる充電用アダプタについて

- 詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA ACアダプタ 01（別売）	AC100Vのみに対応しています。
FOMA ACアダプタ 02／FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）	AC100Vから240Vまで対応していますが、電源プラグの形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先のコンセントに適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
FOMA DCアダプタ 01／02（別売）	－

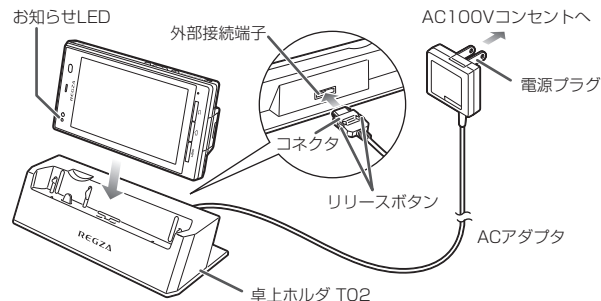
■電池残量の確認のしかた

ステータスバー（P.27）に電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。
電池が切れそうになると警告メッセージが表示され、しばらくすると電源が切れます。

おしらせ

- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、FOMA端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

卓上ホルダを使って充電する

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と付属の卓上ホルダ T02を使って充電する方法を説明します。

1 **ACアダプタのコネクタを、卓上ホルダの外部接続端子に差し込む**

- 刻印のある面を上にしたコネクタを、外部接続端子に水平に差し込みます。

2 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

3 **電池パックをつけたFOMA端末を卓上ホルダに取り付ける**

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

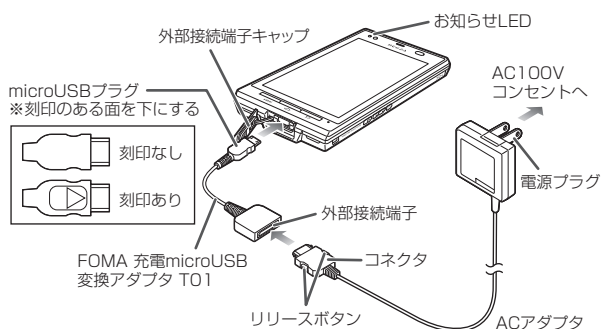
4 **充電が終わったら、卓上ホルダからFOMA端末を取り外す**

5 **卓上ホルダの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く**

- コネクタの両脇にあるリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。

6 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

ACアダプタを使って充電する

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01を使って充電する方法を説明します。

1 **ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む**

- 刻印のある面を下にしたコネクタを、ラベル面を下にした外部接続端子に水平に差し込みます。

2 **FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む**

- microUSBプラグをFOMA端末に差し込むときは、microUSBプラグの刻印のある面を下にして、外部接続端子に水平に差し込みます。

3 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

4 **充電が終わったら、FOMA端末からmicroUSBプラグを抜き、外部接続端子キャップを閉じる**

次ページへ続く

5 **充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く**

- コネクタの両脇にあるリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。

6 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

おしらせ

- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01は、FOMA端末とACアダプタを接続するためのアダプタです。FOMA USB接続ケーブルなどと組み合わせてパソコンと接続しても、データの送受信や充電を行うことはできません。パソコンとの接続には、付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用ください。

PC接続用USBケーブルを使って充電する

FOMA端末とパソコンを付属のPC接続用USBケーブル T01で接続すると、FOMA端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

充電中にスライドショーを再生する

さまざまな方法で充電を開始したときに、スライドショーを再生することができます。

1 **→「スライドショー」**

2 **「充電開始時に自動起動」にチェックを付ける**

3 **画像や画像の切り替え方法などを設定する**

- メディアフォルダ（P.97）の画像を指定するには、「画像を選択する」→「メディアフォルダ」→画像にチェックを付ける→MENU→「完了」をタップします。

おしらせ

- スライドショー再生中は画面右下にが表示されます。タップすると、左から一時停止、時計表示、直前の操作画面に戻る操作ができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **FOMA端末が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯するまで、を押したままにする（約2秒）**

しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 **携帯電話オプションメニューが表示されるまで、を押したままにする**

2 **「電源を切る」→「OK」**

ディスプレイの表示が消えたら

FOMA端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 **または を押す**

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

おしらせ

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中にを押します。
- スリープモード中に電話着信やSMS受信があると、スリープモードは解除されます。

ロック画面が表示されたら

1 画面の下端を上にドラッグする

ロックが解除されます。

ロック画面

おしらせ

- ロック画面の [マナーモード] を左にドラッグするとマナーモードを設定し、[マナーモード解除] を右にドラッグするとマナーモードを解除します。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する

[新しいAPN]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 MENU →「新しいAPN」

3 「名前」→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→「OK」

4 「APN」→アクセスポイント名を入力→「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する

6 MENU →「保存」

おしらせ

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名画面に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 MENU→「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 「mopera U(スマートフォン定額)」または「mopera U設定」にチェックを付ける

おしらせ

- 「mopera U設定」は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

アイコンの見かた

ステータスバーにはFOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます。
ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

主な通知アイコン
新着Gmail
新着Eメール
新着spモードメール
新着SMS、エリアメール
SMSの送信失敗
留守番メッセージ
新着インスタントメッセージ
カレンダーの予定
アラーム スヌーズ中
楽曲再生中
同期トラブル
Wi-Fiがオンで無線LANネットワークが利用可能
Bluetooth通信でファイル着信
USB接続中
通話中
不在着信
通話保留中
データのアップロード完了
データのダウンロード完了
Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了
Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能
隠れた通知
microSDカード未挿入
microSDカードのマウント解除
イヤホン接続中（端末のマイク）
イヤホン接続中（イヤホンマイク）
ワンセグ受信中
DiXiM Server起動中

主なステータスアイコン
電波状態
ローミング中
圏外
／ GPRS接続中／使用中
／ EDGE接続中／使用中
／ 3G（パケット）接続中／使用中
機内モード
Wi-Fi接続中
Bluetooth機能オン
Bluetooth対応機器接続中
SCMS-T規格非対応
データ同期中
おサイフケータイ ロック設定中
ドコモUIMカード未挿入
アラーム設定中
スピーカーフォン オン
マイク ミュート
着信音量0
バイブレーション オン
公共モード（ドライブモード）
マナーモード
マナー（サイレント）
マナー（アラーム）
オリジナルマナー
要充電
電池残量が少ない
電池残量十分
充電中
GPS測位中
ATOKのかな入力モード
ATOKの英数字入力モード
ATOKの数字入力モード
ATOKの絵文字／顔文字／記号、定型文、文字コード入力

通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグする

- 通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- 「通知を消去」をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

おしらせ

- ホーム画面でMENU→「通知」をタップしても通知パネルを開くことができます。

通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のバー（▲のある部分）を上にドラッグする、または⊃を押す

基本操作（タッチパネル）

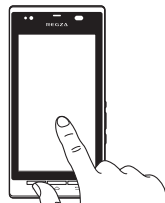
本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。また、FOMA端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA端末を縦または横に持ち替えて、画面表示を切り替えることができます。

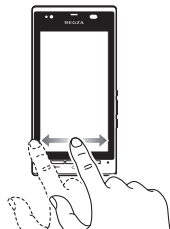
タッチパネル利用上のご注意

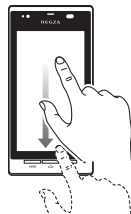
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

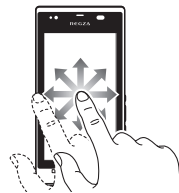
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ・濡れた手による操作
  - ・水中での操作

タップする

画面の項目やアイコンを指で軽く叩いて選択します。

フリックする

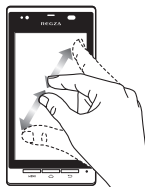
メディアフォルダなど、複数のページやデータがあるときに画面を左右にすばやくスライドすると、前後の画面に切り替わります。

ドラッグする

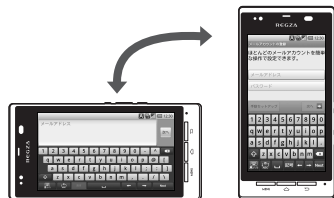
画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

パンする

ウェブページやOfficeファイル、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに、画面そのものを全方向にドラッグして見たい部分を表示します。

スクロールする

連絡先リストやアプリケーションメニューなど、1画面で表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。画面を上下／左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。

ピンチする

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、つまむ（ピンチイン）と縮小します。

縦／横画面表示を切り替える

FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

おしらせ

- 表示中の画面によっては、FOMA端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

スタートアップガイドアプリ

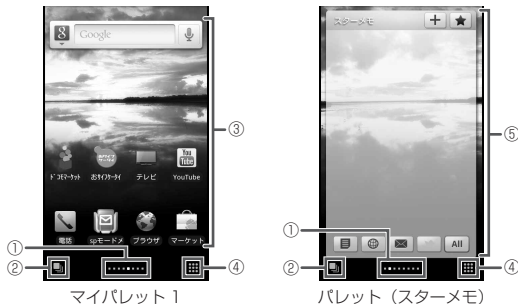
はじめてお使いになる方に操作方法や設定方法をサポートするアプリです。
基本操作演習や基本設定、用語辞典があります。

- 本アプリは起動時に大量コンテンツのダウンロードにより、高額なパケット通信料金が発生する可能性がございます。パケット定額サービスにご加入いただくことを強くおすすめします。

1 →「スタートアップガイド」

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[⌂]を押して呼び出すことができます。
ホーム画面は、アプリケーションやウィジェットを自由に配置できるマイパレットと、パレット（固定ウィジェット）を組み合わせて最大9画面まで設定でき、左右にスライドして切り替えられます。

マイパレット 1　　パレット（スターメモ）

①設定しているホーム画面の数と位置がアイコンで表示されます。
②タップしてパレットを選択します。
③カスタマイズエリア
お買い上げ時は、以下のアプリケーションとウィジェットが設定されています。
マイパレット1：クイック検索ボックス、おサイフケータイ、テレビ、YouTube、電話、spモードメール、ブラウザ、マーケット
マイパレット2：お天気、マップ、Gmail、トルカ、スタートアップガイド、カメラ、モシモカメラ、メディアフォルダ、赤外線受信
マイパレット3：ホーム画面の使いかたのヒント
④タップしてFOMA端末に登録されているアプリケーションメニューを表示します。
⑤パレット表示エリア
お買い上げ時は、電卓、スターメモ、ツイート、カレンダー、ニュースRSSリーダが設定されています。そのほかに、よく使うアプリ、よく見るWebサイト、よく連絡する相手、ブックマーク、通話履歴、メッセージ、連絡先、Eメール、ピクチャー、mixiがあります。

おしらせ
- ツイートパレットを使用するには、あらかじめFOMA端末にTwitterアカウントを追加する必要があります。詳しくは、「アカウントを追加する」（P.71）を参照してください。
- ホーム画面で[MENU]→「設定」をタップして、設定メニュー（P.56）を表示できます。よく使うアプリ／よく見るWebサイト／よく連絡する相手パレットが表示されている場合は、[MENU]→「その他」→「設定」をタップしてください。

ホーム画面からアプリケーションメニューを呼び出す

ホーム画面からFOMA端末に登録されているアプリケーションを起動したり、FOMA端末の設定を変更したりできます。

1 [⋮⋮⋮]をタップする

ここをタップ

ご使用前の確認と設定

次ページへ続く

2 画面を上下にスクロールし、起動したい機能／項目をタップする

アプリケーションメニューを閉じる

1 アプリケーションメニューの上のバー(のある部分)を下にドラッグする、またはを押す

マイパレットをカスタマイズする

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。

アプリケーションを追加する

1 マイパレットで MENU →「追加」
- カスタマイズエリアを1秒以上タップしても操作できます。

2「ショートカット」／「ウィジェット」／「フォルダ」をタップする

3 追加したいアプリケーションをタップする

4 アプリケーションを1秒以上タップしたあと、そのまま配置したい場所にドラッグする

アプリケーションを削除する

1 マイパレットで削除したいアプリケーションを1秒以上タップしたあと、そのままにドラッグする

マイパレットを追加する

1 ホーム画面で MENU →「ホーム画面設定」→「OK」

2「マイパレット新規追加」をタップする

3「名前」欄をタップし、パレット名を入力する

4「OK」をタップする

5 ラベルの ▼ をタップし、アイコンを選択する

6 作成したパレットを1秒以上タップしたあと、そのまま設定ボックスにドラッグする
- 設定を解除するには、パレットを1秒以上タップしたあと、そのまま設定ボックスからパレット選択エリアへドラッグします。
- 設定ボックスでパレットを1秒以上タップしたあと、そのままドラッグして並べ替えます。中央に配置したパレットは、を押したときに表示されるホーム画面になります。

7「OK」をタップする

おしらせ
- 操作1のあと「初期化」→「OK」をタップすると、ホーム画面の並び順やマイパレットの表示などがお買い上げ時の状態に戻ります。

ご使用前の確認と設定

パレットを設定する

電卓やカレンダー、よく見るWebサイトなど、便利なパレットをホーム画面に設定します。

1 ホーム画面で MENU →「ホーム画面設定」

2 パレット選択エリアを左右にフリックし、表示したいパレットを1秒以上タップしたあと、そのまま設定ボックスにドラッグする

3「OK」をタップする

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面で MENU →「壁紙」

- カスタマイズエリアを1秒以上タップし、「壁紙」をタップしても操作できます。

2「ライブ壁紙」/「壁紙」/「壁紙(メディアフォルダ)」をタップし、画像を選択する

- 「壁紙(メディアフォルダ)」の画像を選択した場合は、トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠の角をドラッグして拡大/縮小したあと「○」をタップして設定完了です。

3「壁紙に設定」をタップする

Android標準のホーム画面に切り替える

1 ▦ →「ホーム画面切替」→「OK」

2「ランチャー」をタップする

- 「常にこの操作で使用する」にチェックを付けると、⌂ を押したときにホームの選択画面は表示されなくなります。

おしらせ

● ホーム画面に戻すには、操作2で「ホーム」を選択します。

取扱説明書を閲覧する

本FOMA端末の基本的な操作方法や設定方法を確認することができます。

1 ▦ →「取扱説明書」

アプリケーションメニュー

▦ をタップすると表示されます。

アプリケーション	概要	参照先
ATOK	推測変換の設定やユーザー辞書の単語登録ができます。	P.39
DiXiM Player	FOMA端末内のコンテンツをDLNA対応のテレビやパソコンで再生したり、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD(NAS)のコンテンツをFOMA端末で再生できます。	P.108
DiXiM Server	DLNAサーバーを起動、設定できます。	P.108
Document Viewer	OfficeファイルとPDFファイルの閲覧ができます。	P.127
Evernote Launcher	自分のアイデアや見聞きした情報などを保存して、FOMA端末やパソコンなどから閲覧できます。	P.120
Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.81
Latitude	地図上で友人と位置を確認しあうことができます。	P.112
MyRoom Web	MyRoom Webのページを表示できます。	−
RZTagler	FOMA端末を「レグザAppsコネクト」対応のテレビやレコーダーのリモコンとして利用したり、録画番組のタグリストを作成・共有して楽しむことができます。	P.121

次ページへ続く

アプリケーション	概要	参照先
spモードメール	絵文字に対応したメールの送受信ができます。	P.81
UkiUkiView	現在地周辺や地図上の場所の位置情報に、感情を表すアイコンや投稿メッセージを重ね合わせて表示できます。	P.114
Voice Search	ウェブページの情報を音声で検索できます。	P.124
YouTube	YouTubeの動画を閲覧できます。	P.102
アラーム	特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.118
おサイフケータイ	お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができます。	P.114
カメラ	静止画を撮影できます。	P.96
カレンダー	仕事の予定などを登録できます。	P.116
スタートアップガイド	はじめてお使いになる方に操作方法や設定方法をサポートするアプリです。	P.30
スターメモ	作成したスターメモを確認できます。	P.119
スターメモ作成	5種類のメモ（テキストメモ､手書きメモ､ボイスメモ、写真メモ、動画メモ）を作成できます。	P.118
スライドショー	さまざまな方法で充電を開始したときに、スライドショーを再生できます。	P.24
テレビ	ワンセグを視聴できます。	P.103
トーク	Googleトークを使用してチャットができます。	P.86
ドコモマーケット	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。	－

アプリケーション	概要	参照先
トルカ	おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などとして利用できます。	P.116
ナビ	目的地への詳しい道案内を取得できます。	P.112
ニュースと天気	現在地周辺の気象情報やニュースを確認できます。	P.121
ビデオ録画	動画を撮影できます。	P.96
ブラウザ	パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。	P.89
プレイス	近くの場所の詳細情報を検索できます。	P.113
ホーム画面切替	ホーム画面とAndroid標準のホーム画面を切り替えることができます。	P.33
マーケット	Androidマーケットを利用できます。	P.124
マップ	現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。	P.111
ミュージック	音楽を再生します。	P.100
メール	パソコンなどとEメールの送受信ができます。	P.78
メッセージ	SMSの送受信ができます。	P.84
メディアフォルダ	カメラで撮影したり、ウェブページからダウンロードして、microSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。	P.97
モシモカメラ	モシモカメラで撮影すると、被写体の動きや顔を検知してエフェクトを付けます。	P.122
検索	クイック検索ボックスで情報を検索できます。	P.123
取扱説明書	本FOMA端末の基本的な操作方法や設定方法を確認することができます。	P.33
赤外線受信	赤外線通信で連絡先を受信できます。	P.58

アプリケーション	概要	参照先
設定	FOMA端末の各種設定を行います。	P.56
電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。	P.121
電話	電話をかけることができます。	P.42
電話帳コピーツール	FOMA端末とmicroSDカードとの間で連絡先データのコピーができます。	P.123
連絡先	電話番号やメールアドレス、Twitterのアカウント情報などを入力でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。	P.45

最近使用したアプリケーションを起動する

最近使用したアプリケーションを表示して起動することができます。

1 [⌂]を1秒以上押す

2 起動したいアプリケーションをタップする

文字入力

ATOKキーボードについて

本FOMA端末では、画面に表示されるキーボードを使用して文字を入力できます。以下の2種類のATOKキーボードを切り替えて使用できます。

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。ケータイ入力、ジェスチャー入力、ジェスチャー入力Pro、フリック入力の4種類の入力方式を使用できます（P.36）。入力方式の設定については、「テンキーキーボードでの入力方式を設定する」（P.36）を参照してください。

ご使用前の確認と設定

■QWERTYキーボード

日本語はローマ字入力で入力します。

おしらせ

- 英字を入力する場合は、Androidキーボードに切り替えることもできます（P.38）。

キーボードを表示する

1 文字入力欄をタップする

- 文字入力欄にカーソルがある状態で MENU を1秒以上押しても表示できます。

キーボードを切り替える

1 をタップする

キーボードを隠す

1 MENU を1秒以上押す

テンキーキーボードでの入力方式を設定する

1 →「ATOK」→「ソフトウェアキーボード」→「入力方式」

2 「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「ジェスチャー入力Pro」／「フリック入力」をタップする

テンキーキーボードで入力する

1 テンキーキーボードに切り替える（P.36）

2 をタップして希望する入力モードに切り替える

- 数字入力モードでは半角の数字のみ入力できます。
- を1秒以上タップするとATOKメニューが表示され、ATOKの設定や単語登録、英語入力モード／日本語入力モードの切り替えができます。

3 文字を入力する

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。
- をタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。
- カーソルを移動するには ／ をタップします。
- 直前に確定した文字を変換前の文字に戻すには、「戻す」をタップします。
- 文字を入力して「変換」をタップすると、変換候補が表示されます（推測変換候補は含まれません）。
- 文字を入力して「カナ英数」をタップすると、カタカナ／数字／英字／年月日（全角／半角）などに変換できます。例えば「１２３」（全角）を入力するには、「あかさ」と入力→「カナ英数」→「全角」を選択→「１２３」（全角）をタップします。
- 「変換」をタップしたあと「後変換」をタップすると、かな／全角カタカナ／半角カタカナに変換できます。
- 文字を逆順で表示するには、 をタップします。

■ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されます。タップした指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーをタップした指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。
  例）「ぱ」を入力する場合

- 英数字入力モードの場合は、キーをタップした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ジェスチャー入力Pro

ジェスチャーガイドの表示／非表示やジェスチャーガイドが表示されるまでの時間を設定できます。

- 設定方法は「ATOKキーボードを設定する」（P.39）を参照してください。

■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。タップした指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと を1回または2回タップします。

QWERTYキーボードで入力する

1 **QWERTYキーボードに切り替える（P.36）**

2 **をタップして希望する入力モードに切り替える**

- を1秒以上タップするとATOKメニューが表示され、ATOKの設定や単語登録、英語入力モード／日本語入力モードの切り替えができます。

3 **文字を入力する**

- 文字を入力するごとにキーボード上部に変換候補が表示されます。左右にスクロールすると、表示されていない変換候補を表示できます。
- をタップするたび、キーボードが大文字画面→大文字固定画面→小文字画面の順に切り替わります。
  数字は小文字画面で入力できます。
- をタップすると、カーソルの左側の文字が削除されます。
- カーソルを移動するには ／ をタップします。
- 文字を入力して「変換」をタップすると、変換候補が表示されます（推測変換候補は含まれません）。
- 文字を入力して「後変換」をタップすると、かな／全角カタカナ／半角カタカナ／英字に変換できます。

絵文字／顔文字／記号パレットで入力する

- 絵文字はspモードメールでのみ入力できます。

1 **を1秒以上タップする**

2 **タップした指を離さず （絵文字）／ （顔文字）／ （記号）までスライドする**

3 **カテゴリーを選択し、アイテム一覧から入力したい絵文字／顔文字／記号を選択する**

- パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- パレットの左上にある「履歴」をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

定型文を入力する

1 ⌨ を1秒以上タップする

2 タップした指を離さず「定型文」までスライドする

3 カテゴリーを選択し、一覧から入力したい定型文をタップする

文字コード表から入力する

1 ⌨ を1秒以上タップする

2 タップした指を離さず「文字コード」までスライドする

3 カテゴリーを選択し、一覧から入力したい文字をタップする

Androidキーボードに切り替える

英字を入力する場合は、Androidキーボードに切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。

1 文字入力欄を1秒以上タップする

2 「入力方法」→「Androidキーボード」

おしらせ

- ATOKキーボードに戻すには、操作2で「ATOK」を選択します。

ATOKを設定する

ATOKキーボードを設定する

1 ▦→「ATOK」→「ソフトウェアキーボード」

2 必要な項目を設定する

項目	説明
キー操作音	チェックを付けると、キーをタップしたときに操作音が鳴ります。
キー操作バイブ	チェックを付けると、キーをタップしたときにFOMA端末が振動します。
入力方式※	テンキーキーボードでの入力方式を設定します。
トグル入力※	「ケータイ入力以外でもトグル入力する」にチェックを付けると、ジェスチャー入力やフリック入力の使用時にもトグル入力できます。 「自動カーソル移動を行う」にチェックを付けると、マルチタップ中に一定時間タップしないとカーソルが自動的に右へ移動し、次の文字の入力待ち状態となります。また、カーソルが移動するまでの時間(タップ間隔)を設定できます。
文字削除キー※	「BS」を選択すると、⌫をタップしたときカーソルの左側の文字が削除されます。 「CLR」を選択すると、「Clear」をタップしたときカーソルの右側の文字が削除されます。
ジェスチャーガイド※	ジェスチャー入力Pro設定中に、「ジェスチャーガイドを表示する」のチェックを外して「OK」をタップすると、ジェスチャーガイドが表示されなくなります。チェックを付けると、キーをタップしてからジェスチャーガイドが表示されるまでの時間を設定できます。
フリックガイド	チェックを付けるとフリックガイドを表示します。
フリック感度	フリック入力の感度を調整します。
切り替え時は半角英字	チェックを付けると、テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときの入力モードを半角英字にします。
縦画面の数字キー表示	チェックを付けると、QWERTYキーボードを縦画面で表示したときに数字キーを表示します。

※テンキーキーボードのみ

入力・変換に関する設定をする

1 ▦→「ATOK」→「入力・変換」

2 必要な項目を設定する

項目	説明
推測変換	チェックを付けると、推測変換の変換候補を表示します。
未入力時の推測候補表示	推測変換がオンのときにチェックを付けると、次の文字を入力する前に入力予測候補を表示します。
自動スペース入力	チェックを付けると、英語入力モード(P.36、P.37)で単語を確定したときに、自動的にスペースを挿入します。
スペースは半角で出力	日本語入力時にスペースを半角で入力します。
学習データの初期化	学習した内容を消去します。

■学習データを消去する

一度入力した語句は自動的に記憶され、推測変換の変換候補として表示されます。学習データの初期化を行うと、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ▦→「ATOK」→「入力・変換」

2 「学習データの初期化」→「OK」

キーボードのデザインを変更する

1 ▦→「ATOK」→「デザイン」

2 必要な項目を設定する

項目	説明
テーマ	ATOKソフトウェアキーボードのデザインテーマを設定します。
シンプルテイスト	キーボードのデザインをシンプルにします。
文字サイズ	変換候補の文字サイズを設定します。
表示行数(縦画面)	縦画面表示のときの変換候補の行数を設定します。
表示行数(横画面)	横画面表示のときの変換候補の行数を設定します。

ユーザー辞書について

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

■ユーザー辞書に単語を登録する

1 ▦→「ATOK」→「ツール」→「辞書ユーティリティ」

ATOK辞書ユーティリティ画面が表示されます。

2 MENU→「新規登録」

3 「単語」に登録する単語を入力する

4 「読み」に読みかたを入力する

5 品詞を選択し、「登録」をタップする

■登録単語を修正する

1 ATOK辞書ユーティリティ画面で修正したい単語をタップする

2 内容を修正し、「修正」をタップする

■登録単語を削除する

■1件削除する

1 ATOK辞書ユーティリティ画面で削除したい単語を1秒以上タップする

2 「削除」→「はい」

■全件削除する

1 ATOK辞書ユーティリティ画面でMENU→「全削除」→「はい」

■登録単語をmicroSDカードに保存する

1 ATOK辞書ユーティリティ画面でMENU→「一覧出力」

2 「場所」欄で「sdcard」を選択し、保存するフォルダを選択する

3 ファイル名を入力する

4 「OK」→「実行」→「閉じる」

おしらせ

- microSDカードに保存した単語データを読み込むには、以下の操作を行います。
  ATOK辞書ユーティリティ画面でMENU→「一括登録」→「場所」欄で「sdcard」を選択→フォルダを選択→ファイルを選択→「OK」→「登録」→「閉じる」

定型文を追加する

1 ▦→「ATOK」→「ツール」→「定型文ユーティリティ」

定型文一覧画面が表示されます。

- MENU→「カテゴリー」→MENU→「新規作成」をタップすると、新規カテゴリーを追加できます。

2 MENU→「新規作成」

3 定型文を入力し、「カテゴリー」欄でカテゴリーを選択する

4 「登録」をタップする

定型文を編集する

■定型文の本文を編集する

1 定型文一覧画面で編集したい定型文を選択する

2 変更内容を入力し、「登録」をタップする

- 新規に作成した定型文の本文を編集すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、「定型文のタイトルを変更する」（P.41）を行ってください。

■定型文のタイトルを変更する

1 定型文一覧画面でタイトルを変更したい定型文を1秒以上タップする

2「タイトル変更」をタップする

3 変更内容を入力し、「OK」をタップする

■定型文のカテゴリーを変更する

1 定型文一覧画面でカテゴリーを変更したい定型文を1秒以上タップする

2「カテゴリー移動」をタップする

3 カテゴリーを選択する

■定型文を削除する

1 定型文一覧画面で削除したい定型文を1秒以上タップする

2「削除」→「はい」

おしらせ

- 定型文データをお買い上げ時の状態に戻すには、以下の操作を行います。定型文一覧画面でMENU→「初期化」→「はい」

ATOK設定を初期化する

ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ▦→「ATOK」→「設定の初期化」

2「OK」をタップする

おしらせ

- 設定を初期化しても、学習データやユーザー辞書の単語、追加した定型文は消去されません。

電話をかける

1 ▦→「電話」

2 **相手の電話番号を入力する**

- 電話番号を間違えたときは、◀をタップして入力した番号を消します。

3 **「発信」をタップする**

4 **通話が終了したら「終了」をタップする、または MENU を押す**

おしらせ

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- テンキーにはグローバルデザインとしてアルファベットが表示されていますが、テンキーをタップしてアルファベットを入力することはできません。

緊急通報

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1 ▦→「電話」

2 **緊急通報番号を入力する**

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

3 **「発信」をタップする**

おしらせ

- ドコモUIMカードが未挿入の場合、日本国内では緊急通報をかけられません。
- 画面に「緊急通報」が表示されているときは、「緊急通報」をタップして緊急通報をかけられます。ただし日本国内では、PINコード入力画面表示中またはPINコードロック（PUKロック）（P.67）中は、「緊急通報」をタップしても緊急通報をかけられません。

プッシュ信号（DTMFトーン）を入力する

自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 ▦→「電話」

2 電話番号を入力し､「＊」を1秒以上タップしてポーズ(,)を入力する

3 送信するメッセージ(プッシュ信号)を入力する

- 「0」～「9」､「＊」､「#」を入力します。
- 複数のメッセージを送信する場合は、ポーズ（,）で区切ります。

4 「発信」をタップする

おしらせ

- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」（P.44）を参照してください。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

[186／184]

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の電話機に表示させるかどうかを指定できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ▦→「電話」

2 相手の電話番号を入力する

3 MENU→「発信者番号非通知」（184発信）／「発信者番号通知」（186発信）

4 「発信」をタップする

おしらせ

- 発信者番号通知サービス（P.54）で通知／非通知を一括して設定できます。

国際電話をかける

[WORLD CALL]

- 海外での利用については、「海外利用」（P.128）を参照してください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ▦→「電話」

2 ＋(「0」を1秒以上タップ)→国番号→地域番号(市外局番)→電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は､地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、MENU→「国番号付加」→国を選択します。

3 「発信」をタップする

おしらせ

- ▦→「電話」→MENU→「国番号設定」をタップすると国番号を登録できます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 [応答] をタップする、または[D]を押す

- 着信を拒否する場合は、[拒否] をタップするか、 [MENU] を1秒以上押します。
- スリープモード中やロック画面、パターン／暗証番号入力画面表示中に着信した場合は、[応答] を右端までドラッグするか、[D]を押して応答します。拒否する場合は、[拒否] を左端までドラッグするか、 [MENU] を1秒以上押します。

3 通話が終了したら「終了」をタップする、または [MENU] を押す

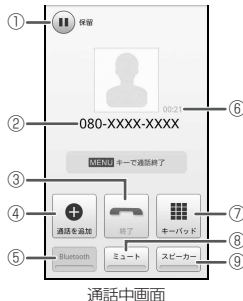
おしらせ

- 本FOMA端末は応答保留ができません。
- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。

■電話着信中に着信音を一時的に消すには

着信中に[▲]または[▼]を押します。

通話中の操作

通話中画面で以下の操作ができます。

通話中画面

① 通話を一時保留※1 ※2
② 名前や電話番号
③ 通話を終了
④ 別の相手に電話をかける※2
⑤ Bluetoothヘッドセットをオン※1
Bluetoothヘッドセットを使用したハンズフリー通話に切り替えます。
⑥ 通話時間
⑦ ダイヤルパッドを表示※1
プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
⑧ マイクをオフ（消音）※1
自分の声を相手に聞こえなくします。
⑨ スピーカーフォンをオン※1
相手の声をスピーカーから流します。

※1 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。

※2 キャッチホン（P.51）のご契約が必要です。

おしらせ

- グレーで表示される項目は利用できません。

相手の声の大きさを調節する

［通話音量］

1 通話中に[▲]（音量大）または[▼]（音量小）を押す

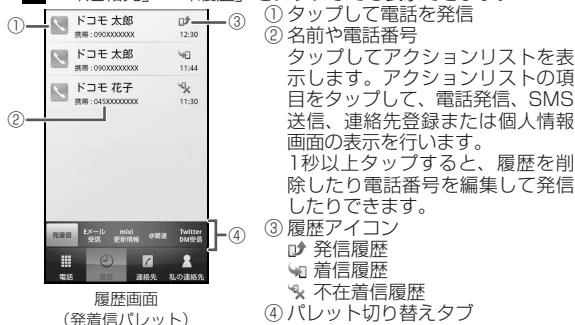
おしらせ

- 通話中以外は通話音量を調節することはできません。

履歴を確認する

電話の発着信履歴やEメール、Twitterの受信履歴、mixiの更新情報などを確認できます。

1 ▦→「電話」→「履歴」

- ▦→「連絡先」→「履歴」をタップしても表示できます。

履歴画面
（発着信パレット）

① タップして電話を発信
② 名前や電話番号
タップしてアクションリストを表示します。アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、連絡先登録または個人情報画面の表示を行います。
1秒以上タップすると、履歴を削除したり電話番号を編集して発信したりできます。
③ 履歴アイコン
発信履歴
着信履歴
不在着信履歴
④ パレット切り替えタブ

■履歴画面のサブメニューについて

履歴画面で MENU を押して、mixiやTwitterの一覧表示の更新、パレットのカスタマイズ（P.48）、履歴一覧の削除、アカウント設定（P.71）ができます。

おしらせ

- サブメニューの項目はパレットにより異なります。
- 履歴や連絡先でmixiやTwitterを使用するには、FOMA端末にそれぞれのアカウントを追加する必要があります。詳しくは、「アカウントを追加する」（P.71）を参照してください。

連絡先について

連絡先には電話番号やメールアドレスなどのほかに、Twitterやmixiなどのアカウント情報を入力できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡したり、更新情報をチェックしたりできます。

1 ▦→「連絡先」

連絡先リスト
（連絡先パレット）

① 検索ボックス
名前（姓名、フリガナ）を入力して連絡先を検索します。
② 名前
タップして個人情報画面を表示します。
1秒以上タップすると、電話発信、SMS送信、お気に入り登録、連絡先の編集／削除などができます。
③ インデックスバー
④ Googleトーク（チャット）のオンライン状況
⑤ インデックス
タップした文字のインデックスバーにジャンプします。
⑥ パレット切り替えタブ

■連絡先リストに表示する連絡先を設定する

電話番号のある連絡先のみ表示したり、特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 連絡先パレットで MENU →「表示オプション」

2 表示したい連絡先にチェックを付ける

■連絡先リストのサブメニューについて

連絡先リストで MENU を押して、連絡先の登録（P.47）や削除、mixiやTwitterの一覧表示の更新、パレットのカスタマイズ（P.48）、アカウント設定（P.71）、連絡先のインポート／エクスポート（P.49）やバックアップ／レストア（P.49）などができます。

次ページへ続く

おしらせ

- サブメニューの項目はパレットにより異なります。
- 履歴や連絡先でmixiやTwitterを使用するには、FOMA端末にそれぞれのアカウントを追加する必要があります。詳しくは、「アカウントを追加する」(P.71)を参照してください。

個人情報画面を表示する

1 連絡先リストで名前をタップする

個人情報画面
(連絡先情報パレット)

① 顔写真と名前
② 個人登録情報
表示される項目は、連絡先の登録内容によって異なります。
項目をタップまたは1秒以上タップして、電話を発信したりSMSやEメールを送信したりできます。
③ 連絡先のグループ
④ 連絡先のアカウント
⑤ パレット切り替えタブ

個人情報画面には以下のパレットがあります。「パレットをカスタマイズする」(P.48)で表示するパレットを設定することができます。

- **連絡先情報パレット**
選択した人の登録情報を確認できます。
- **メッセージパレット**
選択した人とのSMS送受信履歴を確認し、その人宛てにSMSを送信できます。
- **ツイート/@関連/Twitterメッセージパレット**
選択した人のツイートやメッセージを確認したり、その人宛てにメッセージを送信したりできます。
- **メディアパレット**
PicasaやYouTubeから選択した人の写真や動画を取得して表示できます。

■個人情報画面のサブメニューについて

個人情報画面でMENUを押して、連絡先の編集/削除、TwitterやPicasa、YouTubeの表示の更新、赤外線送信、パレットのカスタマイズ(P.48)、アカウント設定(P.71)ができます。

連絡先をグループごとに表示する

登録時に設定したグループ別に連絡先を表示できます。

1 グループパレットで、表示したいグループをタップする

選択したグループの連絡先リストが表示されます。

- グループパレットでMENU→「グループ検索」をタップすると、グループを検索できます。

2 表示したい連絡先をタップする

個人情報画面が表示されます。

電話/ネットワークサービス

連絡先を登録する

1 連絡先リストで MENU →「新規作成」

2 必要に応じてアカウントを選択する

• docomoアカウントを選択した場合は、mixi、Twitter、Picasa、YouTubeのアカウント情報を入力できます。

① タップして顔写真を設定
② タップしてラベルを変更
「カスタム」を選択すると新規ラベルを作成できます。
③ タップして項目とラベルを追加
④ タップして項目を削除
⑤ タップして着信音を設定

3 名前、電話番号、メールアドレスなど、必要な項目を入力する

4「保存」をタップする

おしらせ

- FOMA端末にYouTubeアカウントを設定していると、操作2でYouTubeアカウントを選択できますが、YouTubeアカウントに登録された連絡先にはオンラインの同期機能はありません。
- YouTubeアカウントの連絡先を連絡先リストに表示するには、表示オプション（P.45）でYouTubeアカウントにチェックを付けてください。
- mixiとTwitterのアカウント情報は、mixiパレットまたはTwitterパレットの一覧から選択して入力します。あらかじめFOMA端末にmixiまたはTwitterのアカウントを追加し（P.71）、mixiパレットまたはTwitterパレットの一覧に登録したい人が表示されるようにしてください。

■グループを新規に作成する

1 グループパレットで + をタップする

2 必要に応じてアカウントを選択する

3 グループ名を入力し、「OK」をタップする

おしらせ

- 本FOMA端末でグループを作成できるのはdocomoアカウントとGoogleアカウントのみです。

履歴から連絡先を登録する

1 履歴画面（P.45）で登録したい相手を選択し、「連絡先に登録」をタップする

2「新規登録」または「追加登録」をタップする

• 「新規登録」を選択した場合は、必要に応じてアカウントを選択します。
• 「追加登録」を選択した場合は、連絡先を選択します。

3 必要な項目を入力し、「保存」をタップする

mixiパレットやTwitterパレットから連絡先を登録する

相手のmixi、TwitterのアカウントをFOMA端末のdocomoアカウントの連絡先に登録します。

1 連絡先リストのmixiパレットまたはTwitterパレットで、登録したい相手を1秒以上タップする

2「連絡先に登録」または「連絡先に追加」をタップする

3「新規登録」または「連絡先を検索」をタップする

• 「連絡先を検索」を選択した場合は、連絡先を選択します。

4 必要な項目を入力し、「保存」をタップする

パレットをカスタマイズする

表示するパレットの設定や並べ替えができます。最大5つのパレットを設定できます。

1 連絡先リストまたは履歴画面(P.45)でMENU→「表示設定」→「OK」

- 個人情報画面ではMENU→「個人表示設定」→「OK」をタップします。

2 表示したいパレットをサムネイルエリアで1秒以上タップしたあと、そのまま設定ボックスにドラッグする

- サムネイルエリアを左右にフリックしてパレットを切り替えます。
- 設定を解除するには、パレットを1秒以上タップしたあと、そのまま設定ボックスからサムネイルエリアへドラッグします。
- 設定ボックスでパレットを1秒以上タップしたあと、そのままドラッグして並べ替えます。
- お気に入りパレットを新規作成する場合は、⊕をタップして名称を入力し、「OK」をタップします。

3 設定が完了したら「OK」をタップする

おしらせ

- 操作1のあと「初期化」→「はい」をタップすると、パレットがお買い上げ時の状態に戻ります。
- 左端のパレット（固定）は、非表示にしたり位置を変えたりできません。

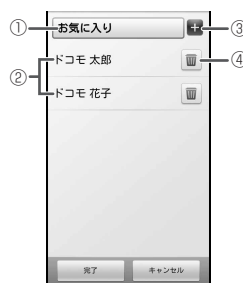
お気に入りパレットを利用する

お気に入りパレットを利用すると、相手にすばやく連絡したり、更新情報をチェックしたりできます。

連絡先リスト
（お気に入りパレット）

① お気に入りパレットの名称
② タップして連絡先をお気に入りパレットに追加
③ 選択した手段で連絡／更新情報を確認
例） 電話　SMS
Eメール　Twitter
mixi

お気に入りパレットを編集する

1 お気に入りパレットでMENU→「お気に入り連絡先の編集」

① タップしてお気に入りパレットの名称を入力
② ドラッグして順番を入れ替える
③ タップして連絡先をお気に入りパレットに追加
④ タップしてお気に入りから削除したい連絡先を指定

2 編集が完了したら「完了」をタップする

連絡先を編集する

1 連絡先リストで編集したい連絡先を1秒以上タップする
2 「編集」をタップする
3 変更したい項目を入力し、「保存」をタップする

連絡先を削除する

1 連絡先リストで削除したい連絡先を1秒以上タップする
2 「削除」→「はい」

連絡先をインポート／エクスポートする

1 連絡先リストで MENU →「その他」
2 項目を選択し、それぞれの操作を行う

インポート（赤外線）	連絡先データを赤外線通信で受信し、docomoアカウントに登録します。「私の連絡先」も更新されます。受信後、「既存の電話帳に追加」または「電話帳を全削除した後に追加」を選択します。
エクスポート（赤外線）	「私の連絡先」を含めた連絡先データを赤外線通信で全件送信します。
インポート（SIMカード）	ドコモUIMカードに保存した連絡先から追加したい連絡先を指定してインポートします。

連絡先をmicroSDカードにバックアップ／レストアする

1 連絡先リストで MENU →「その他」
2 項目を選択し、それぞれの操作を行う

バックアップ（SDカード）	「私の連絡先」を除く連絡先データを、microSDカードに全件バックアップします。
レストア（SDカード）	microSDカードにバックアップした連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントにレストアします。ファイルが複数ある場合は、レストアするファイルを選択します。

おしらせ
- 他のFOMA端末との間で連絡先データの全件受け渡しをしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポート（P.49）や電話帳コピーツール（P.123）を利用してください。

自分の連絡先を編集する

FOMA端末の電話番号を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

1 ▦→「連絡先」→「私の連絡先」
- ▦→「電話」→「私の連絡先」をタップしても表示できます。

2 MENU →「編集」
3 項目を編集する

顔写真、姓、名、フリガナ	顔写真を設定したり、名前を入力します。
私の連絡先	ご自分の電話番号を確認し、メールアドレスやURLを入力します。
アカウント情報	mixi、Twitter、YouTube、Facebook、Picasa、Flickrのアカウント情報が表示されます。⊞をタップしてアカウントを設定できます（P.71）。

4 「保存」をタップする

ネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	下記
キャッチホン	有料	必要	P.51
転送でんわサービス	無料	必要	P.53
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.54
公共モード（ドライブモード）	無料	不要	P.54
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P.55

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、20件まで録音でき、最大72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、発着信履歴に不在着信として記録され、ステータスバーに が表示されます。
- 本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ音声発信し、テレビ電話を「非対応」に設定してください。
- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに が表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

↓

お客様のFOMA端末に電話がかかる

↓

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

↓

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

↓

留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしていることが通知される

↓

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」

2 「留守番電話サービス」をタップする

3 利用したい項目を選択する

留守番電話サービス開始	「OK」を選択して、留守番電話サービスを開始します。
留守番呼出時間設定	呼出時間（0〜120秒）を入力し、「OK」をタップします。 呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されず、直接留守番電話サービスセンターにつながります。
留守番サービス停止	「OK」を選択して、留守番電話サービスを停止します。
留守番設定確認	現在の設定内容を確認します。
留守番メッセージ再生	「OK」を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示にしたがって伝言メッセージを再生します。
留守番サービス設定	「OK」を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示にしたがって設定を変更します。
メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうか確認します。
件数増加時鳴動設定	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、音や振動でお知らせします。 「通知音」または「バイブレーション」にチェックを付けます。
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内に入ったときにSMSでお知らせします。 「全着信」を選択すると、すべての着信を通知します。 「発番号あり」を選択すると、番号を通知している着信のみ通知します。
着信通知停止	「OK」を選択して、着信通知を停止します。
着信通知開始設定確認	現在の着信通知の設定を確認します。

4 「OK」をタップする

- 利用する項目によっては、「OK」をタップしない場合もあります。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

おしらせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」

2 「キャッチホン」をタップする

3 利用したい項目を選択する

キャッチホンサービス開始	「OK」を選択して、キャッチホンサービスを開始します。
キャッチホンサービス停止	「OK」を選択して、キャッチホンサービスを停止します。
キャッチホンサービス確認	現在の設定内容を確認します。

4 「OK」をタップする

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえる**

近接センサーから顔を離すと、着信画面が表示されます。

2 **[応答] をタップする、または [応答 ›››] を右端までドラッグする**

最初の相手との通話を保留にして、あとからかかってきた電話に応答します。

- [D]を押して応答することもできます。
- 最初の相手との通話を終了して応答する場合は、[MENU]→「現在の通話を終了して応答」をタップします。

3 **最初の相手との通話に切り替える**

■あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

「終了」をタップするか、[MENU]を押します。
あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

（切り替え）をタップします。
あとからかかってきた相手との通話が保留になり、最初の相手との通話に切り替わります。（切り替え）をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中に（保留）をタップする**

最初の相手との通話が保留になります。

2 **「通話を追加」をタップし、別の相手の電話番号を入力する**

3 **「発信」をタップする**

新しくかけた相手との通話ができます。

■新しくかけた相手との通話を終了する場合

「終了」をタップするか、[MENU]を押します。
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■新しくかけた相手との通話を保留にする場合

（切り替え）をタップします。
新しくかけた相手との通話が保留になり、最初の相手との通話に切り替わります。（切り替え）をタップするたびに通話相手が切り替わります。

おしらせ

- キャッチホンをご契約いただいていない場合、通話中に（保留）をタップしても、一時保留にはなりません。

転送でんわサービス

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスを開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、発着信履歴に不在着信として記録され、ステータスバーに が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

↓

転送でんわサービスを開始する

↓

お客様のFOMA端末に電話がかかる

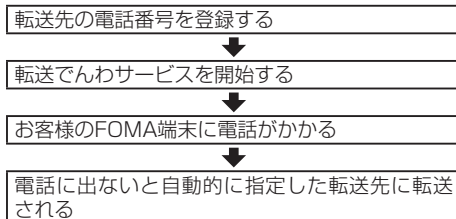
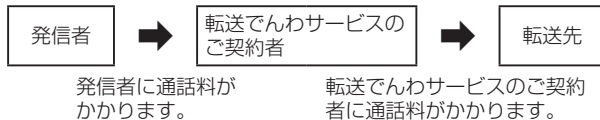
↓

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料

発信者 転送でんわサービスのご契約者 転送先

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

おしらせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」

2 「転送でんわ」をタップする

3 利用したい項目を選択する

転送サービス開始	転送先電話番号と呼出時間（0～120秒）を入力します（ をタップすると連絡先を呼び出せます）。「OK」をタップして、転送でんわサービスを開始します。 呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されず、直接転送先に転送されます。
転送サービス停止	「OK」を選択して、転送でんわサービスを停止します。
転送先変更	転送先の電話番号を変更します（ をタップすると連絡先を呼び出せます）。「転送電話を開始する」にチェックを付けると、転送先の番号変更と同時に転送でんわサービスを開始します。「OK」をタップして変更を反映します。
転送先通話中時設定※	「接続する」を選択すると、転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送サービス設定確認	現在の設定内容を確認します。

※留守番電話サービスのご契約が必要です。

4 「OK」をタップする

転送ガイダンスの有無を設定する

電話を転送するとき、電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流すかどうかを設定します。

1 →「電話」→「1」「4」「2」「9」→「発信」

- 音声ガイダンスにしたがって設定してください。

発信者番号通知サービス

電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「通話設定」→「ネットワークサービス設定」

2「発信者番号通知」をタップする

3 利用したい項目を選択する

発信者番号通知設定確認	現在の設定内容を確認します。
発信者番号通知設定	「通知する」をタップして、発信者番号通知を設定します。

4「OK」をタップする

おしらせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。
- 電話をかけるたびに発信者番号の通知／非通知を指定することができます（P.43）。通話ごとに指定する設定のほうが、発信者番号通知設定よりも優先されます。

公共モード（ドライブモード）を設定する

公共モード（ドライブモード）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（ドライブモード）に設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 圏外など、電波が受信できないときでも設定／解除できます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中でも電話をかけることができます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」

2「公共モード」にチェックを付ける

公共モード（ドライブモード）に設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。発着信履歴には不在着信として記憶されます。

- 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- メールなどの着信音や通知音、アラームも鳴りません。ただし、「タッチ操作音」、「選択時の操作音」（P.63）にチェックを付けていると、それらの操作音は鳴ります。
- 電源が入っていない場合は、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れずに圏外時と同じガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 ▦→「電話」→「＊」「2」「5」「2」「5」「1」→「発信」

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際や機内モード設定中の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■公共モード（電源OFF）を解除する場合

▦→「電話」→「＊」「2」「5」「2」「5」「0」→「発信」

■公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

▦→「電話」→「＊」「2」「5」「2」「5」「9」→「発信」

公共モード（電源OFF）に設定すると

公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

設定メニューについて

ホーム画面で MENU →「設定」をタップして表示される設定メニューから、FOMA端末の各種設定を行うことができます。

- 設定メニュー項目によっては本章以外に記載があります。各項目の記載ページは、巻末の索引（P.156）で確認してください。

ワイヤレス設定

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、FOMA端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Bluetooth機能）が無効になります。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ワイヤレス設定」

2 「機内モード」にチェックを付ける

- 「機内モード」にチェックを付けるとWi-Fiもオフになりますが、機内モード中に再びオンにすることができます。病院、飛行機、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、Wi-Fiを使用しないでください。

Wi-Fi機能を利用する

FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、FOMA端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、FOMA端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth対応機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. FOMA端末とBluetooth対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器の電源を切ってください。

■利用できるチャンネルについて

本FOMA端末のWi-Fi機能は1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

Wi-Fiをオンにしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ワイヤレス設定」

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける

Wi-Fiがオンになり、利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

3 「Wi-Fi設定」をタップする

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

4 Wi-Fiネットワークを選択し、「接続」をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

おしらせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままで利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

オープンネットワークの通知を有効にする

Wi-Fiのオープンネットワークが検出されたら通知するように設定します。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Wi-Fi設定」

2「ネットワークの通知」にチェックを付ける

Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Wi-Fi設定」

2 MENU→「スキャン」

Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、検出されたWi-FiネットワークがWi-Fiネットワークリストに表示されます。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Wi-Fi設定」

2「Wi-Fiネットワークを追加」をタップする

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力し、セキュリティを選択する

4 必要に応じて、追加のセキュリティ情報を入力する

5「保存」をタップする

Wi-Fiの詳細設定

■画面消灯時のWi-Fi設定をする

FOMA端末の画面がオフになったときや充電中のWi-Fi機能の動作を設定します。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Wi-Fi設定」

2 MENU→「詳細設定」

3「画面消灯時のWi-Fi設定」をタップする

4 設定したい動作を選択する

■MACアドレスを確認する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Wi-Fi設定」

2 MENU→「詳細設定」

「MACアドレス」の下にMACアドレスが表示されます。

■静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを入力して、Wi-Fiネットワークに接続することもできます。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Wi-Fi設定」

2 MENU→「詳細設定」

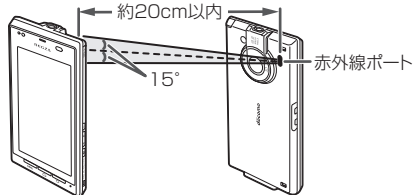
3「静的IPを使用する」にチェックを付ける

4「IPアドレス」およびその他の入力項目をタップし、必要な情報を入力する

- 静的IPアドレスを有効にするには、「IPアドレス」、「ゲートウェイ」、「ネットマスク」、「DNS 1」のすべてに入力が必要です。

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を持つ他のFOMA端末などとの間で、連絡先を送受信できます。

- 赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、連絡先の送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手側のFOMA端末によっては、連絡先の送受信がしにくい場合があります。

赤外線通信で連絡先を受信する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ワイヤレス設定」→「赤外線受信」

■1件受信する場合

「1件受信」をタップします。
受信後、「既存の電話帳に追加」→「OK」をタップします。

■全件受信する場合

「全件受信」→4桁の認証パスコードを入力→「受信」をタップします。
受信後、「既存の電話帳に追加」または「電話帳を全削除した後に追加」をタップし、「OK」をタップします。

おしらせ

- ▦→「赤外線受信」をタップして受信することもできます。
- 相手側から1件送信で送られた連絡先データは、赤外線受信の「1件受信」でのみ受信できます。赤外線受信の「全件受信」および連絡先のインポート機能では受信できません。

赤外線通信で連絡先を送信する

1 ▦ →「連絡先」

2 送信したい連絡先をタップする

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 MENU →「赤外線送信」

4 送信が完了したら「OK」をタップする

赤外線通信で自分の連絡先を送信する

1 ▦ →「電話」/「連絡先」→「私の連絡先」

2 MENU →「赤外線送信」

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 送信したい項目にチェックを付け、「送信」をタップする

4 送信が完了したら「OK」をタップする

Bluetooth機能を利用する

FOMA端末のBluetooth機能を利用して、近くにあるBluetooth対応機器と無線でデータをやりとりできます。Bluetooth対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドホンと接続すると、ハンズフリーで通話したりワイヤレスで音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、P.146を参照してください。

- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetooth対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■Bluetooth機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本FOMA端末と他のBluetooth対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機能と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、FOMA端末のBluetooth機能のみ使用している場合でも、無線LAN機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. FOMA端末と無線LAN機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth対応機器と接続する

Bluetooth機能をもったパソコンや携帯電話などとBluetooth通信でファイル交換ができます。また、Bluetoothヘッドセットを接続して、ハンズフリーで通話したり、音楽を聴いたりすることができます。

- あらかじめ相手のBluetooth機能をオンにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ワイヤレス設定」

2「Bluetooth」にチェックを付ける

3「Bluetooth設定」→「端末のスキャン」

- 検出されたBluetooth対応機器がBluetooth端末リストに表示されます。
- 相手のBluetooth対応機器がFOMA端末で認識しない場合、「検出可能」をタップしてください。

4 検出されたBluetooth対応機器をタップする

5 必要な場合はパスコード(PIN)を入力し、「OK」をタップする

- 相手のBluetooth対応機器もパスコード（PIN）が必要な場合は、パスコード（PIN）を入力してください。
- 接続が成功すると、「ペア設定済み」や「携帯電話とメディアの音声に接続」などが機器名の下に表示されます。

■他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「ペア設定する」またはパスコード（PIN）を入力→「OK」をタップします。

おしらせ

- Bluetooth機能をオンにしたままでパケット通信が利用できます。
- Bluetooth通信を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をオフにしてください。
- Bluetooth機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth機能はFOMA端末の電源を切った状態では使用できません。

Bluetooth通信でFOMA端末から連絡先データを送信する

登録されている連絡先をBluetooth通信で送信します。

1 ▦→「連絡先」

2 送信したい連絡先を1秒以上タップする

3 「共有」→「Bluetooth」

4 Bluetooth端末リストで、相手のBluetooth対応機器をタップする

- 受信側のBluetooth対応機器によっては、受信許可などの操作が必要な場合があります。
- ステータスバーに⇧が表示されたら、通知パネルを開いて送信が完了したことを確認します。

Bluetooth通信でFOMA端末からファイルを送信する

メディアフォルダの画像をBluetooth通信で送信する操作例を説明します。

1 メディアフォルダを開いて送信したい画像を1秒以上タップする

- メディアフォルダについてはP.97を参照してください。

2 「共有」→「Bluetooth」

3 Bluetooth端末リストで、相手のBluetooth対応機器をタップする

- 受信側のBluetooth対応機器によっては、受信許可などの操作が必要な場合があります。
- ステータスバーに⇧が表示されたら、通知パネルを開いて送信が完了したことを確認します。

Bluetooth通信でFOMA端末にファイルを受信する

1 送信側からファイルを送信する

ファイルを着信すると、ステータスバーに▦が表示されます。

2 通知パネルを開き、「Bluetooth共有：ファイル着信」をタップする

3 「承諾」をタップする

- ステータスバーに⇩が表示されたら、通知パネルを開いて受信が完了したことを確認します。

Bluetooth対応機器の接続を解除する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Bluetooth設定」

2 Bluetooth端末リストで、解除したい機器を1秒以上タップする

3 「ペアを解除」または「切断してペアを解除」をタップする

- メニューに「接続を解除」が表示された場合、「接続を解除」をタップすると、接続を一時的に解除することができます。なお、接続の一時的解除は、Bluetooth端末リストで、Bluetooth対応機器をタップしても行える場合があります。

端末名を変更する

Bluetooth通信を行うと、相手の機器にFOMA端末の名前が通知されます。その名前を変更することができます。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「Bluetooth設定」

2 「端末名」をタップする

3 名前を入力し、「OK」をタップする

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。FOMA端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「VPN設定」

2 「VPNの追加」をタップする

3 追加するVPNの種類をタップする

4 ネットワーク管理者の指示にしたがって、VPN設定の各項目を設定する

5 MENU→「保存」

VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

VPNに接続する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「VPN設定」

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップする

3 必要な認証情報を入力し、「接続」をタップする

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

VPNを切断する

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知をタップして切断する

- 切断すると、ステータスバーの通知アイコンがグレーになります。通知パネルを開いて通知をタップすると、再接続できます。

パケット接続をオフにする

アプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信はVPNを切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」

2 「データ通信を有効にする」のチェックを外す

音

マナーモードを設定する

マナーモードを設定すると、電話やメールの着信音やアラーム音、メディア再生音などFOMA端末から鳴る音を消すことができます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」→「マナーモード」

2「マナーモードを有効」にチェックを付ける

ステータスバーに が表示されます。

おしらせ

- マナーモード設定中でも、カメラ撮影時のフォーカスロック音やシャッター音、録画開始／終了音は鳴ります。
- 公共モードについては「公共モード（ドライブモード）を設定する」（P.54）を参照してください。

マナーモードの種類を変更する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」→「マナーモード」→「マナーモード選択」

2 項目を選択する

項目	説明
マナーモード	FOMA端末から音を鳴らさず、着信やアラームをバイブレーションでお知らせします。
マナー（サイレント）	音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。
マナー（アラーム）	アラームの音量とバイブレーションがアラーム設定（P.118）にしたがう以外は、通常のマナーモードと同じです。
オリジナルマナー	音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。

- マナーモードの種類によって、ステータスバーに表示されるアイコンが異なります。各アイコンについては、「アイコンの見かた」（P.27）を参照してください。

オリジナルマナーを設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」→「マナーモード」→「オリジナルマナー設定」

2「音量」をタップする

3「音声着信音量」／「メディア再生音量」／「アラーム音量」／「通知音量」をタップする

4 スライダーをなぞって音量を調節する

5「OK」→ [戻る]

6「バイブレーション」をタップする

7「音声着信」／「アラーム」／「入力時バイブレーション」／「通知」にチェックを付ける、またはチェックを外す

音量を調節する

着信音や通知音、メディア再生音の音量を調節できます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」

2「音量」をタップする

3 各項目のスライダーをなぞって音量を調節する

- 「通知音にも着信音量を適用」のチェックを外すと、通知音の音量を調節できます。

4「OK」をタップする

おしらせ

- [▲]／[▼]で着信音量を調節できます。ただし、音楽や動画の再生中やワンセグ視聴中などは各機能の音量調節キーになります。

着信音／通知音／操作音／バイブレーションを設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」

2 項目を設定する

バイブ	電話着信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
着信音	電話着信音を設定します。
通知音	USB接続時やUSBストレージを「OFF」にしたとき、エコモード起動、測位開始などの通知音を設定します。
タッチ操作音	ダイヤルパッド操作音のオン／オフを切り替えます。
選択時の操作音	メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音	画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。
充電通知バイブ	充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
ロック解除時バイブ	画面ロック解除時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
入力時バイブレーション	特定の画面操作における振動のオン／オフを切り替えます。

マイク入力を設定する

FOMA端末のステレオイヤホン端子にステレオイヤホンを接続しているときの音声入力先を設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音」→「マイク入力」

2「端末のマイク」または「イヤホンマイク」をタップする

- マイクなしステレオイヤホンを接続している場合は「端末のマイク」を選択します。マイク付きステレオイヤホンを接続し、イヤホンのマイクから相手に自分の声を送りたい場合は、「イヤホンマイク」を選択します。

おしらせ

- ステレオイヤホンが接続されていない場合は、マイク入力の設定に関わりなくFOMA端末のマイクから音声が送られます。

表示

ロック画面の背景画像を設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「表示」→「フォトスクリーン」

2「画像設定」をタップし、項目を選択する

設定しない	ホーム画面の壁紙が表示されます。
フォルダ	選択したフォルダに含まれる画像がスライドショー表示されます。
Flickr	キーワードを1つ以上入力します。 Flickrに公開されている画像からキーワードに合致する画像が自動で取得され、スライドショー表示されます。
Picasa	キーワードを1つ以上入力します。 Picasaに公開されている画像からキーワードに合致する画像が自動で取得され、スライドショー表示されます。

3「Flickr」または「Picasa」を選択した場合は、「更新間隔」と「利用するネットワーク」を設定する

- 「更新間隔」で「指定時刻」を選択した場合は、「更新時刻の指定」をタップして時刻を指定します。

画面表示を変更する

画面が自動回転しないように設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「表示」

2「画面の自動回転」のチェックを外す

おしらせ

- ワンセグやカメラ、ビデオ録画など一部のアプリケーションは「画面の自動回転」の設定にしたがいません。また、YouTubeの動画再生やUkiUkiView、モシモカメラなど横画面表示固定のアプリケーションがあります。

画面の明るさを設定する

画面の明るさやバックライトを消すまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「表示」→「バックライト設定」

2「自動調整」のチェックを外して「明るさ」をタップする

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、「自動調整」にチェックを付けたまま操作4に進みます。

3 スライダーをなぞって明るさを調節し、「OK」をタップする

4「消灯までの時間」をタップし、時間を選択する

画面の表示フォントを設定する

画面の表示フォントを変更できます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「表示」→「フォント設定」

2 フォントを選択し、「OK」をタップする

おしらせ

- 「モトヤフォント」の正式名称は「モトヤLマルベリ３」です。

アニメーションで表示する

画面や項目を表示するときに、アニメーション表示するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「表示」→「アニメーション表示」

2「アニメーションなし」／「一部のアニメーション」／「すべてのアニメーション」をタップする

マルチメディア設定

ワンセグやYouTubeの映像を自動補正するかどうかを設定できます。また、メディア再生音の高音質化機能を使用するかどうかを設定できます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「マルチメディア設定」

2「REGZA設定」にチェックを付ける、またはチェックを外す

- チェックを付けると、高画質化エンジンを使用してワンセグやYouTubeの映像を自動補正します。

3「高音質設定」をタップし、項目を設定する

ノイズ低減	チェックを付けると、周囲に騒音があるときもスピーカーやイヤホンからの再生音を聞き取りやすくします。
スピーカー補正	チェックを付けると、スピーカーからの再生音の音質を向上させます。

おしらせ

- 高音質設定は通話中の音声には適用されません。
- ノイズ低減機能はBluetoothヘッドセットからの再生音に適用されません。

エコモード設定

設定した電池残量（%）以下になると、選択した機能をエコモードに切り替えることができます。

電池残量を設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「エコモード設定」→「電池残量設定」

2「30%」／「25%」／「20%」／「15%」／「10%」／「5%」／「エコモードにしない」をタップする

おしらせ

- FOMA端末の購入後またはリセット後にはじめて設定した電池残量以下になったとき、エコモードへの切り替えを確認する画面が表示されます。エコモードにしない場合は、「エコモードを無効にする」にチェックを付け、「閉じる」をタップします。2回目以降は確認なしでエコモードに切り替わり、ステータスバーにエコモードになったことを知らせる通知が表示されます。

エコモードにする機能を設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「エコモード設定」→「エコモード機能選択」

2 各機能にチェックを付ける、またはチェックを外す

3「完了」をタップする

位置情報とセキュリティ

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

・設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
・暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
・各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
・PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
※「My docomo」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.67）。
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。
PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、ユーザー証明書利用時、発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」

2「SIMカードをロック」にチェックを付ける

3 PINコードを入力し、「OK」をタップする

おしらせ

- はじめてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

PINコードを変更する

- PIN1コードを変更するには、あらかじめPINコードを設定（「SIMカードをロック」にチェックを付ける）しておく必要があります。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」

2「SIM PINの変更」をタップする

■PIN2コードを変更するには

ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」→「SIM PIN2の変更」をタップします。

3 現在のPINコードを入力し、「OK」をタップする

4 新しいPINコードを入力し、「OK」をタップする

5 新しいPINコードを再入力し、「OK」をタップする

PINロックを解除する

1 PIN1コードがロックされたら、「緊急通報」をタップする

2「＊＊05＊［PINロック解除コード］＊［新しいPIN1コード］＊［新しいPIN1コード］#」と入力する

- 例えば、PINロック解除コードが88888888でPIN1コードを7777に変更する場合、「＊＊05＊88888888＊7777＊7777#」と入力します。

おしらせ

- PIN1コードではなくPIN2コードがロックされた場合は、▦→「電話」をタップし、「＊＊052＊[PINロック解除コード]＊[新しいPIN2コード]＊[新しいPIN2コード]#」と入力します。

画面ロックを設定する

他の人に使用されないように、画面ロック解除パターンや暗証番号、パスワードでFOMA端末をロックすることができます。

画面ロック解除パターンを作成する

画面ロックを解除するときに、パターンを入力するように設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「画面ロックの設定」

2「パターン入力」をタップする

3 画面の説明を読み、「次へ」をタップする

4 パターンを決めたら「次へ」をタップする

5 垂直、水平、対角線方向に、少なくとも4つの点をなぞってパターンを描き、描き終わったら指を離す

6「次へ」をタップする

7 再度パターンを描き、「確認」をタップする

次ページへ続く

おしらせ

- 画面ロック解除時にパターンを表示させたくない場合は、ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「指の軌跡を線で表示」のチェックを外します。
- パターン入力時に振動させたい場合は、ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「入力時バイブレーション」にチェックを付けます。
- 画面ロック解除パターンを変更する場合は、ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「パターンの変更」をタップして変更します。
- 画面ロック解除パターンを忘れてしまった場合は、「パターンを忘れた場合」をタップしたあとGoogleアカウントでログインし、画面の指示にしたがって新しいパターンを作成します。

画面ロック解除用暗証番号／パスワードを設定する

画面ロックを解除するときに、暗証番号やパスワードを入力するように設定します。

1 **ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「画面ロックの設定」**

2 **「暗証番号入力」または「パスワード入力」をタップする**

3 **4～16桁の暗証番号またはパスワードを入力し、「次へ」をタップする**

- 暗証番号は4つ以上の数字、パスワードはアルファベットを含む4つ以上の英数字で入力してください。

4 **暗証番号またはパスワードを再入力し、「OK」をタップする**

おしらせ

- 画面ロック解除用暗証番号またはパスワードを変更する場合は、ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「暗証番号の変更」または「パスワードの変更」をタップして変更します。
- 画面ロック解除用暗証番号またはパスワードを忘れてしまった場合は、「暗証番号を忘れた場合」／「パスワードを忘れた場合」をタップしたあとGoogleアカウントでログインし、画面の指示にしたがって新しい暗証番号またはパスワードを入力します。

手動で画面をロックする

1 **⏻を押す**

スリープモードになります。

画面ロックを解除する

1 **スリープモード中に⏻または⌂を押す**

ロック画面が表示されます。

2 **画面の下端を上にドラッグする**

パターン入力画面または暗証番号／パスワード入力画面が表示されます。

3 **画面ロック解除パターンを入力する、または画面ロック解除用暗証番号／パスワードを入力し、「OK」をタップする**

認証情報を管理する

セキュリティ保護されたWi-FiネットワークやVPNに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。また、認証情報や証明書を保管する認証情報ストレージにパスワードを設定できます。

認証情報ストレージにパスワードを設定する

1 **ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「パスワードの設定」**

2 **パスワードを入力する**

3 **パスワードを再入力し、「OK」をタップする**

認証情報や証明書を有効にする

FOMA端末のアプリケーションにパスワード設定された認証情報ストレージへのアクセスを許可することで、認証情報や証明書を有効にします。

● あらかじめ認証情報ストレージにパスワードを設定してください。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」

2 「安全な認証情報の使用」にチェックを付ける

3 認証情報ストレージのパスワードを入力し、「OK」をタップする

認証情報ストレージを消去する

認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書を消去して、ストレージのパスワードをリセットします。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「ストレージの消去」

2 「OK」をタップする

microSDカードから認証情報や証明書をインストールする

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SDカードからインストール」

2 インストールする認証情報／証明書をタップする

3 必要な場合はパスワードを入力し、「OK」をタップする

4 認証情報／証明書の名前を入力し、「OK」をタップする

- 認証情報ストレージにパスワードを設定していない場合は、画面の指示にしたがってパスワードを設定します。

アプリケーション

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する

Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

● お使いのFOMA端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」

2 「提供元不明のアプリ」にチェックを付ける

3 注意文を読み、「OK」をタップする

ダウンロードしたファイルを表示する

ウェブサイトからダウンロードしたファイル（アプリケーション、画像、ドキュメントなど）の一覧を表示します。

1 ▦ →「ブラウザ」→ MENU →「その他」→「ダウンロード履歴」

おしらせ

● Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

FOMA端末のアプリケーションに許可されている動作を表示する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」→「アプリケーションの管理」
- 画面上部のタブをタップして、各タブのカテゴリごとにアプリケーションを分類表示できます。
- MENU →「サイズ順」／「並べ替え」をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 表示したいアプリケーションを選択する

3 スクロールして許可されている動作を表示する
- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、「すべて表示」をタップします。

アプリケーションのデータやキャッシュを消去する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」→「アプリケーションの管理」
- 画面上部のタブをタップして、各タブのカテゴリごとにアプリケーションを分類表示できます。
- MENU →「サイズ順」／「並べ替え」をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択し、「データを消去」または「キャッシュを消去」をタップする

インストールしたアプリケーションをmicroSDカードに移動／削除する

- Androidマーケットから入手したアプリケーションの削除は、Androidマーケット画面から行うことをおすすめします（P.126）。
- FOMA端末にあらかじめインストールされているアプリケーションは移動／削除できません。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」→「アプリケーションの管理」
- 画面上部のタブをタップして、各タブのカテゴリごとにアプリケーションを分類表示できます。
- MENU →「サイズ順」／「並べ替え」をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 移動／削除したいアプリケーションを選択する

3 「SDカードに移動」／「アンインストール」をタップする
- 削除する場合は「OK」→「OK」をタップします。

実行中のサービスを表示する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」→「実行中のサービス」

2 サービス名をタップし、必要に応じて停止や設定変更などの操作を行う

アプリケーションの開発機能を利用する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」→「開発」
- USBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。
  詳細については、以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/
- USBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、下記のホームページをご覧ください。
  http://developer.android.com/

充電中にバックライトを消灯しない

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アプリケーション」→「開発」

2 「スリープモードにしない」にチェックを付ける

アカウントと同期

アカウントを追加する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アカウントと同期」→「アカウントを追加」

2 追加したいアカウントを選択する

- Googleアカウントを追加するには、画面を下にスクロールして「Google」をタップします。

3 画面の指示にしたがってアカウントを追加する

- 追加したアカウントを「アカウントを管理」リストで選択して、各アカウントの設定ができます。

■各アカウントに対応するアプリケーション

「アカウントを追加」の一覧画面に表示されるアカウントは、FOMA端末の以下のアプリケーションや機能に対応しています。

アカウント	対応アプリケーション（機能）
mixi用アカウント（プリセット）	・スターメモ作成（投稿） ・ホーム画面のmixiパレット（閲覧と投稿） ・履歴のmixi足あと／mixi更新情報パレット（閲覧） ・連絡先のmixi／全ての連絡先パレット（閲覧）
Twitter用アカウント（プリセット）	・スターメモ作成（投稿） ・スターメモ（お気に入りツイートの閲覧） ・ホーム画面のツイートパレット（閲覧と投稿） ・履歴の@関連／私のツイート／Twitter DM受信／Twitter DM送信パレット（閲覧） ・連絡先のTwitter／全ての連絡先／ツイート／@関連／Twitterメッセージパレット（閲覧）
Facebook用アカウント（プリセット）	・スターメモ作成（投稿）
コーポレート	Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの同期設定 ・メール ・連絡先 ・カレンダー
Picasa用アカウント（プリセット）※1	・スターメモ作成（投稿）
YouTube用アカウント（プリセット）※2	
Flickr用アカウント（プリセット）	

※1 メディアフォルダ、カメラ、スターメモからPicasaへの投稿（データアップロード）は、Googleアカウントの同期により行われるため、このアカウントは使用されません。

※2 YouTube、メディアフォルダ、ビデオ録画、スターメモからYouTubeへの投稿（データアップロード）は、Googleアカウントの同期により行われるため、このアカウントは使用されません。

おしらせ

- FOMA端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- Picasaウェブアルバムへのログイン用に設定しているGoogleアカウントを、FOMA端末のGoogleアカウントとして登録してください。FOMA端末にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaウェブアルバムのアカウントを新規に取得しても、FOMA端末のGoogleアカウントの同期項目にPicasaは表示されません。
- 「アカウントを追加」画面からmixiアカウントの新規登録はできません。FOMA端末にmixiアカウントを追加するには、あらかじめブラウザなどでmixiに登録して、ログインに必要なメールアドレスとパスワードを設定してください。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの設定についての詳細は、ネットワーク管理者にご確認ください。

アカウントを削除する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アカウントと同期」

2 削除したいアカウントを選択する

3 「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

おしらせ

- 最初に設定したGoogleアカウントは、上記の操作では削除できません。最初に設定したGoogleアカウントを削除するには、FOMA端末をリセットします（P.72）。
- docomoアカウントは削除できません。

自動同期するGoogleアプリケーションを設定する

FOMA端末とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アカウントと同期」

2「バックグラウンドデータ」にチェックを付ける

3「自動同期」にチェックを付ける

4「アカウントを管理」リストでGoogleアカウントを選択する

5 自動的に同期したいGoogleアプリケーションにチェックを付ける

おしらせ

- 「バックグラウンドデータ」にチェックを付けると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。さらに「自動同期」にチェックを付けると、アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。

手動で同期を開始する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「アカウントと同期」

2 同期したいアカウントを選択する

3 MENU →「今すぐ同期」

同期を中止する

1 同期中に MENU を押す

2「同期をキャンセル」をタップする

プライバシー

バックアップと復元

アプリケーションのバックアップ設定を行います。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「プライバシー」

2 項目にチェックを付ける、またはチェックを外す

データのバックアップ	アプリケーションの設定やデータをGoogleサーバーにバックアップします。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元します。

FOMA端末を再起動する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく働かない場合は、再起動してみてください。

1 ⏻を押したままにする

携帯電話オプションメニューが表示されますが、そのまま⏻を押し続けます。電源が切れて少したつと、FOMA端末が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯します。お知らせLEDの点灯を確認したら、⏻から指を離してください。

FOMA端末をリセットする

FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後にFOMA端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「プライバシー」→「データの初期化」→「携帯電話をリセット」

- 画面ロックを設定している場合は、画面ロック解除パターンまたは暗証番号／パスワードを入力します。

2「すべて消去」をタップする

リセットが完了して少したつと、FOMA端末が再起動します。

各種設定

SDカードと端末容量

microSDカードについて

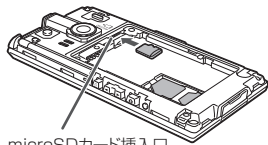
- FOMA端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けてご使用ください。取り付けていない場合、カメラ、音楽や動画（再生やダウンロード)、ワンセグ（録画や再生）など一部の機能がご利用になれません。
- 本FOMA端末は、２GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年4月現在)。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- 対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

おしらせ

- microSDカードまたはmicroSDHCカードは、T-01C以外でフォーマットしないでください。
- ご使用前に、microSDHC試供品取扱説明書をあわせてご覧ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

■microSDカードを取り付ける

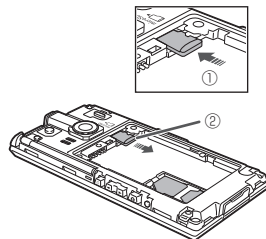
1 microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にカチッと音がしてロックされるまでしっかりと差し込む

microSDカード挿入口

おしらせ

- microSDカードは正しく挿入してください。正しく挿入していないとmicroSDカードが破損する恐れがあります。

■microSDカードを取り外す

1 microSDカードを軽く押しこんでから(①)離す

2 microSDカードをまっすぐ引き出す(②)

おしらせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードがFOMA端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

FOMA端末、microSDカードのメモリ空き容量を確認する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「SDカードと端末容量」

画面上部にmicroSDカードの合計容量と空き容量、画面下部にFOMA端末の空き容量が表示されます。

microSDカードをフォーマットする

- フォーマットを行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「SDカードと端末容量」

2「SDカードのマウント解除」をタップする

「SDカードをフォーマット」オプションが有効になります。

3「SDカードをフォーマット」→「SDカードをフォーマット」

- 画面ロックを設定している場合は、画面ロック解除パターンまたは暗証番号／パスワードを入力します。

4「すべて消去」をタップする

言語とキーボード

英語表示に切り替える

FOMA端末で使用する言語を変更できます。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「言語とキーボード」→「Select locale」→「English」

おしらせ

- 英語表示に切り替えても、日本語のみに対応しているアプリケーションは日本語で表示されます。
- 日本語表示に戻すには以下の操作を行います。
ホーム画面で MENU →「Settings」→「Language & keyboard」→「言語選択」→「日本語」

Androidキーボードを設定する

Androidキーボードのキー操作音や入力候補表示などを設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「言語とキーボード」→「Androidキーボード」

2「キー操作バイブ」／「キー操作音」／「自動大文字変換」／「入力候補を表示」／「オートコンプリート」にチェックを付ける、またはチェックを外す

- 「音声入力」をタップすると、音声入力キーを表示させるキーボードを切り替えることができます。
- 「入力言語」をタップすると、スペースキーをフリックして入力言語を切り替える機能で選択できる言語を設定できます。

Androidキーボード用のユーザー辞書に登録する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「言語とキーボード」→「ユーザー辞書」

2 MENU →「追加」

3 単語を入力し、「OK」をタップする

おしらせ

- Androidキーボード用のユーザー辞書に登録した単語は、ATOKキーボードでは変換候補として表示されません。

音声入出力

音声認識を設定する

Google音声検索の機能を設定します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音声入出力」→「音声認識装置の設定」

2 項目を設定する

言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
セーフサーチ	画像やテキストのアダルトフィルターを設定します。
不適切な語句をブロック	不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
ヒントを表示	検索ボックスにヒントを表示するかどうかを設定します。

テキスト読み上げを設定する

テキスト読み上げプラグイン（TalkBackなど）をインストールしている場合に、読み上げ速度や読み上げ言語を設定できます。

- テキスト読み上げ機能の利用には音声データのインストールが必要です。ただし、以下の操作でインストールされる音声データには、日本語のデータは含まれません。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「音声入出力」→「テキスト読み上げの設定」

2「音声データをインストール」をタップする

- すでに音声データがインストール済みの場合は、「音声データをインストール」は選択できません。

3 画面の指示にしたがって音声データをインストールする

4 項目を設定する

音声の速度	テキストの読み上げ速度を設定します。
言語	テキスト読み上げに使用する言語固有の音声を設定します。

- 設定を確認する場合は、「サンプルを再生」をタップしてサンプル音声を再生します。
- 設定をテキスト読み上げに対応したアプリケーションや機能で常に有効にするには、「常に自分の設定を使用」にチェックを付けます。

ユーザー補助

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。

- お買い上げ時はユーザー補助プラグインが登録されていません。Androidマーケットからユーザー補助プラグイン（SoundBack、KickBack、TalkBackなど）を入手し、FOMA端末にインストールすることで、設定できるようになります。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「ユーザー補助」

2「ユーザー補助」にチェックを付ける

3 有効にするプラグインにチェックを付ける

4 注意を読み、「OK」をタップする

日付と時刻

お買い上げ時は、ネットワークから提供される日付、タイムゾーン、時刻が自動的に使用されますので、日時を手動で設定する必要はありません。

日付、タイムゾーン、時刻を手動で設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「日付と時刻」

2「自動」のチェックを外す

3「日付設定」をタップする

4 年月日を調整し、「設定」をタップする

5「タイムゾーンの選択」をタップし、タイムゾーンを選択する

6「時刻設定」をタップする

7 時刻を調整し、「設定」をタップする

- 「24時間表示」のチェックを外している場合は、「午前」または「午後」をタップして切り替えます。

8「24時間表示」にチェックを付ける、またはチェックを外す

9「日付形式」をタップし、項目を選択する

システム設定

でスターメモ作成を起動しないように設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「システム設定」→「キー割り当て」

2「スターメモ起動」のチェックを外す

で通話を終了するように設定する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「システム設定」→「キー割り当て」

2「電源ボタンで通話を終了」にチェックを付ける

モーションセンサーを調整する

モーションセンサーが正しく反応しない場合に調整してください。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「システム設定」→「センサー設定」→「モーションセンサー調整」

2 FOMA端末を水平に保ち、「調整」をタップする

3 調整が完了したら「OK」をタップする

電子コンパスを調整する

電子コンパスが正しい方位を示すように調整します。

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「システム設定」→「センサー設定」→「電子コンパス調整」

2「調整」をタップする

3 画面の指示にしたがって動作を繰り返す

4 調整が完了したら「OK」をタップする

- 調整が完了するまで最大30秒間かかります。

端末情報

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「端末情報」→「端末の状態」

「電話番号」にお客様の電話番号が表示されます。

端末情報やバージョン情報を確認する

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「端末情報」

2 項目を確認する

項目	説明
ソフトウェア更新	最新のソフトウェアに更新します（P.140）。
端末の状態	電池残量、電話番号、ネットワーク名、ネットワークの種類、IMEI（携帯端末に与えられる個別のシリアルナンバー）、Wi-Fi MACアドレスなどを確認できます。
電池使用量	アプリケーションごとの電池使用量を確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約を確認できます。
モデル番号	型番を確認できます。
Android バージョン	ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ベースバンド バージョン	
カーネル バージョン	
ビルド番号	

FOMA端末で利用できるメールの種類

以下のメールが利用できます。

■Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントをFOMA端末に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

■spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

■Gmail

GmailはGoogleのオンラインEメールサービスです。FOMA端末のGmailで送受信したEメールはパソコンのブラウザからも確認できます。

■SMS

携帯電話番号を宛先とした短い文字メッセージを送受信できます。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

mopera Uのメールアカウントを設定する

mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、mopera Uメールをご利用になれます。

- mopera Uメールのメールボックス容量は約50MBです。1メール当たり最大約5MBまでの添付ファイルを送受信できます。

■POPサーバーを利用する場合

1. →「メール」
2. mopera UメールアドレスとmoperaUのパスワードを入力し、「手動セットアップ」をタップする
3. 「POP3」をタップする
4. mopera Uのユーザー名とパスワードを入力し、POP3サーバーには「mail.mopera.net」を入力する
5. 「セキュリティの種類」欄をタップして「なし」をタップする、またはセキュリティを選択する
6. 入力内容を確認し、「次へ」をタップする
7. SMTPサーバーには「mail.mopera.net」を入力し、mopera Uのユーザー名とパスワードの入力内容を確認する
8. 「次へ」をタップする
9. オプションの設定画面で、メール自動確認の頻度などを設定し、「次へ」をタップする
10. メールアカウントの登録画面で、送信メールに表示される名前を入力し、「完了」をタップする

一般プロバイダのメールアカウントを設定する

● あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 [アイコン]→「メール」

2 メールアドレスとパスワードを入力し、「次へ」をタップする

以降は画面の指示にしたがって操作します。

おしらせ

● メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で「手動セットアップ」をタップし、アカウント設定を手動で入力します。
● サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
● すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加したい場合は、メール一覧画面でMENU→「アカウント」→MENU→「アカウントを追加」をタップします。

メールアカウントごとに受信設定を行う

新着Eメール確認の頻度を設定する

1 [アイコン]→「メール」

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧画面でメールアカウントを選択します。アカウント一覧画面はMENU→「アカウント」をタップすると表示されます。

2 MENU→「アカウントの設定」

3 「新着メール確認の頻度」をタップする

4 「自動確認しない」をタップする、またはメール自動確認の頻度を選択する

おしらせ

● 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

新着Eメール通知を設定する

1 [アイコン]→「メール」

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧画面でメールアカウントを選択します。アカウント一覧画面はMENU→「アカウント」をタップすると表示されます。

2 MENU→「アカウントの設定」

3 着信通知に関する項目を設定する

メール着信通知	新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択	新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	新着Eメールを振動でお知らせするかどうかを設定します。 ただし「バイブレーション」にチェックを付けても、マナーモード設定（P.62）を以下のように設定している場合は、バイブレーションは動作しません。 ・「マナー（サイレント）」に設定した場合 ・「オリジナルマナー」でバイブレーション設定の「通知」のチェックを外している場合

Eメールを作成して送信する

1 [アイコン]→「メール」

- 別のメールアカウントから送信したい場合は、アカウント一覧画面でメールアカウントを選択します。アカウント一覧画面はMENU→「アカウント」をタップすると表示されます。
- 統合受信トレイが表示されている場合は、アカウント一覧画面でチェックの付いたメールアカウントから送信されます。

2 MENU→「作成」

3 「To」欄にメールアドレスを入力する

- CcやBccを追加する場合は、MENU→「Cc／Bccを追加」をタップします。

4 「件名」欄に件名を入力する

次ページへ続く

5「メッセージを作成」欄にメッセージを入力する

- ファイルを添付する場合は、MENU→「添付ファイルを追加」→ファイルを選択します。

6「送信」をタップする

おしらせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「PCからの受信拒否」の設定をしていると、Eメールを送信できません。
- メール送信時のアカウント名や名前、署名、優先アカウントを設定したい場合は、アカウントを選択→MENU→「アカウントの設定」をタップして各項目を設定します。

Eメールを受信して読む

1 ▦→「メール」

- 複数のメールアカウントがある場合は、アカウント一覧画面でメールアカウントを選択します。アカウント一覧画面はMENU→「アカウント」をタップすると表示されます。
- アカウント一覧画面で「統合受信トレイ」をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの左側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには、MENU→「更新」

3 読みたいEメールをタップして開く

おしらせ

- アカウントの設定で「新着メール確認の頻度」と「メール着信通知」（P.79）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

Eメールに返信する

1 返信したいEメールを開く

2「返信」または「全員に返信」をタップする

3 メッセージを入力し、「送信」をタップする

Eメールを転送する

1 転送したいEメールを開く

2 MENU→「転送」

3「To」欄に転送先のメールアドレスを入力し、「送信」をタップする

Eメールをスターメモに登録する

1 登録したいEメールを開く

2 MENU→「スターメモ登録」→「OK」

Eメールを削除する

1 削除したいEメールを開く

2「削除」をタップする

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ■→「spモードメール」

以降は画面の指示にしたがって操作します。

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。FOMA端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示にしたがって設定してください。

Gmailを開く

1 ■→「Gmail」

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

受信トレイ

① 未読Eメール数
② 複数のメッセージスレッドにチェックを付けて、同じ操作をまとめて行うことができます。
③ 現在表示中のGmailアカウント
④ メッセージスレッドに含まれるEメール数
⑤ タップしてスターを付けます。
⑥ 未読のEメールがないメッセージスレッド（背景がグレー）

■メッセージスレッドについて

Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着のEメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや既存のEメールの件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

Gmailアカウントを切り替える

1 受信トレイで MENU →「アカウント」

2 表示したいGmailアカウントを選択する

Gmailを更新する

1 受信トレイで MENU →「更新」

FOMA端末のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

GmailでEメールを作成して送信する

1 受信トレイで MENU →「新規作成」

2「To」欄にメールアドレスを入力する

- CcやBccを追加する場合は、MENU→「Cc／Bccを追加」をタップします。

3「件名」欄に件名を入力する

4「メッセージを作成」欄にメッセージを入力する

- 画像を添付する場合は、MENU→「添付」→画像を選択します。

5 をタップする

おしらせ

- Gmailで送信するEメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「PCからの受信拒否」の設定をしていると、Eメールを送信できません。

送信済みEメールを表示する

1 受信トレイで MENU →「ラベルを表示」

2「送信済みメール」をタップする

新着Eメールを表示する

1 受信トレイで未読Eメールがあるメッセージスレッドをタップする

おしらせ

- 「メール着信通知」（P.83）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。
- 受信したEメールの送信者名は、連絡先に保存している名前ではなく送信側で設定している名前が表示されます。

Eメールを検索する

1 受信トレイで MENU →「検索」

2 検索ボックスにキーワードを入力し、 をタップする

Eメールに返信する

1 返信したいEメールを表示し、 をタップする

2「返信」または「全員に返信」をタップする

3 メッセージを入力し、 をタップする

メール／ブラウザ

Eメールを転送する

1 転送したいEメールを表示し、◀をタップする

2 「転送」をタップする

3 「To」欄に転送先のメールアドレスを入力し、をタップする

メッセージスレッドの操作

受信トレイでメッセージスレッドを1秒以上タップして、以下の操作ができます。

項目	説明
開く	メッセージスレッドを展開します。
アーカイブ	メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは受信トレイに表示されません。
ミュート	メッセージスレッドを非表示にします。あまり重要でなく、以降のやりとりも表示する必要がないメッセージスレッドは非表示にしておくと便利です。
未読にする／既読にする	メッセージスレッドを未読／既読にします。
削除	メッセージスレッドを削除します。
スターを付ける／スターをはずす	メッセージスレッドにスターを付ける、またはスターを外します。
ラベルを変更	メッセージスレッドのラベルを追加／変更します。
迷惑メールを報告	受信したEメールをスパムとして報告します。

おしらせ

- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったメッセージスレッドは、MENU→「ラベル一覧」→「すべてのメール」をタップして表示できます。
- FOMA端末ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

新着Eメール通知を設定する

1 受信トレイでMENU→「その他」→「設定」

2 着信通知に関する項目を設定する

メール着信通知	新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択	新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	新着Eメールを振動でお知らせするかどうかを設定します。 ただし「マナーモードでのみ」に設定しても、マナーモード設定（P.62）を以下のように設定している場合は、バイブレーションは動作しません。 ・「マナー（アラーム）」または「マナー（サイレント）」の場合 ・「オリジナルマナー」の場合（バイブレーション設定の「通知」にチェックが付いている場合でも動作しません）
一度に通知する	複数の新着Eメールがある場合の通知方法を設定します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信できます。

SMSを作成して送信する

1 ▦→「メッセージ」→「新規作成」

2 「To」欄に送信先の携帯電話番号を入力する

3 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力する

4 「送信」をタップする

おしらせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
- ▦→「メッセージ」→MENU→「設定」→「受取確認通知」にチェックを付けると、SMSの受取確認通知を設定できます。

SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、新着SMSを確認できます。

おしらせ

- 本FOMA端末からSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせることはできません。
- FOMA端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリケーションを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください（P.70、P.126）。

送受信したSMSを読む

1 ▦→「メッセージ」

2 読みたいSMSがあるメッセージスレッドをタップして開く

SMSに返信する

1 ▦→「メッセージ」

2 返信したいSMSがあるメッセージスレッドを開く

3 メッセージを入力し、「送信」をタップする

SMSを転送する

1 ▦→「メッセージ」

2 メッセージスレッドを開き、転送したいSMSを1秒以上タップする

3 「転送」をタップする

4 「To」欄に転送先の携帯電話番号を入力し、「送信」をタップする

SMSをスターメモに登録する

1 ▦→「メッセージ」

2 メッセージスレッドを開き、登録したいSMSを1秒以上タップする

3 「スターメモ登録」→「OK」

SMSを削除する

■SMSを1件削除する

1 ▦→「メッセージ」

2 メッセージスレッドを開き、削除したいSMSを1秒以上タップする

3 「メッセージを削除」→「削除」

■メッセージスレッドを削除する

1 ▦→「メッセージ」

2 削除したいメッセージスレッドを1秒以上タップする

3 「スレッドを削除」→「削除」

メッセージスレッド内のSMSが全件削除されます。

■すべてのメッセージスレッドを削除する

1 ▦→「メッセージ」→MENU→「スレッドを削除」→「削除」

SMSの自動削除を設定する

1 ▦→「メッセージ」→MENU→「設定」

2 「古いメッセージを削除」にチェックを付け、「メッセージの制限件数」をタップする

3 メッセージスレッドごとの制限件数を入力し、「設定」をタップする

おしらせ

- 以下の操作で削除したくないSMSを保護できます。
  ▦→「メッセージ」→メッセージスレッドを開き、保護したいSMSを1秒以上タップ→「メッセージをロック」

SMSをバックアップする

FOMA端末に保存されたSMSをmicroSDカードへバックアップします。

1 ▦→「メッセージ」→MENU→「設定」→「バックアップ」

2 「バックアップ」→「開始」

3 バックアップが完了したら「OK」をタップする

おしらせ

- バックアップしたSMSをFOMA端末にコピーするには、操作1のあと「レストア」→「開始」をタップします。

SMSをドコモUIMカードからコピーする

他のFOMA端末でドコモUIMカードに保存したSMSを本FOMA端末にコピーします。

- 本FOMA端末のSMSをドコモUIMカードにコピーすることはできません。

1 ▦→「メッセージ」→MENU→「設定」→「SIMカードのメッセージ」

2 コピーしたいSMSを1秒以上タップする

3 「携帯電話のメモリにコピー」をタップする

- 「削除」→「OK」をタップするとSMSを削除できます。

おしらせ

- ドコモUIMカードのSMSから返信や転送などを行う場合は、本FOMA端末にコピーしてから行ってください。
- 保護されたSMSをコピーすると、本FOMA端末では保護は解除されます。

新着SMS通知を設定する

1 ▦→「メッセージ」→MENU→「設定」

2 着信通知に関する項目を設定する

通知	新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択	新着SMSをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	新着SMSを振動でお知らせするかどうかを設定します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 電源が入っていない、通話中、機内モード中、SMS送受信中、パケット通信中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中、FOMA端末のメモリ容量が少ないときなどは受信できません。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- エリアメールはメッセージに保存されます。エリアメールの受信時の注意事項や表示、削除などの操作方法は、SMSと同様です。→P.84

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音（緊急地震速報）または専用着信音（災害・避難情報）が鳴り、ステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、エリアメールを確認します。

- ブザー音または着信音は最大音量で約10秒間鳴動します。変更はできません。
- マナーモード中や公共モード（ドライブモード）中などに受信した場合は各機能の設定に従います。

緊急速報「エリアメール」の受信設定を行う

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 ▦→「メッセージ」→MENU→「設定」

2 「受信設定」にチェックを付ける、またはチェックを外す

Googleトーク

Googleトークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。FOMA端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Googleトーク起動時に画面の指示にしたがって設定してください。

オンラインチャット

Googleトークを起動する

1 ▦→「トーク」

友だちリストが表示されます。

新しいメンバーを追加する

1 友だちリストで MENU →「友だちを追加」

2 追加したいメンバーのGoogleアカウントを入力する

3「招待状を送信」をタップする

おしらせ
- 友だちリストで MENU →「その他」→「招待」をタップすると、返信待ちの招待状が表示されます。招待状を受信した相手が承諾するかキャンセルすると、返信待ちの招待状リストから削除されます。

招待に応じる

1 友だちリストで「チャットへの招待」をタップする

2「承諾」をタップする

オンラインステータスを設定する

1 友だちリストの右上の をタップする

2 設定したいオンラインステータスを選択する
- 必要に応じて「ステータスメッセージ」欄にステータスメッセージを入力します。入力したステータスメッセージは、次回オンラインステータスを選択するとき、カスタムメッセージとして表示されます。

おしらせ
- チャット中にしばらく操作を中断すると、ステータスアイコンが時計マークの表示になることがあります。チャットする双方で操作を開始すると、時計マークは表示されなくなります。

チャットを開始する

1 友だちリストでチャットしたい友だちの名前をタップする

チャット画面が表示されます。

2「メッセージを入力」欄にメッセージを入力する
- 絵文字を入力する場合は、MENU →「その他」→「絵文字を挿入」→絵文字を選択します。

3「送信」をタップする

チャットの相手を切り替える

2人以上の相手とチャットしているとき、相手を切り替えることができます。

1 チャット画面で MENU →「チャット相手の切替」

2 チャットしたい相手を選択する

チャットをオフレコにする

チャットのメッセージはGmailの「チャット」ラベルに保存されますが、オフレコにすると保存されません。

1 チャット画面で MENU →「オフレコにする」

以降のメッセージがオフレコになります。

おしらせ
- オフレコを解除するには、チャット画面で MENU →「オフレコをやめる」をタップします。

チャットを終了する

1 チャット画面で MENU →「チャット終了」

メンバーを管理する

友だちリストのメンバーは、ステータス別（オンライン、取り込み中、オフライン）に表示されます。
設定によっては、Eメールやチャットの履歴が多いメンバーのみが優先的に表示されている場合があります。登録しているすべてのメンバーを表示するには、友だちリストでMENU→「全連絡先表示」をタップします。

おしらせ
- Eメールやチャット履歴が多いメンバーのみの表示に戻したい場合は、友だちリストでMENU→「よく使う連絡先」をタップします。

メンバーをブロックする

メンバーをブロックすると、ブロックしたメンバーからメッセージを受信しません。

1 友だちリストでブロックしたいメンバーの名前を1秒以上タップする

2 「ユーザーをブロック」をタップする

ブロックされたメンバーが友だちリストから削除されます。

おしらせ
- ブロックを解除するには、友だちリストでMENU→「ブロック中」→解除したいメンバーを選択→「OK」をタップします。

メンバーの情報を表示する

1 友だちリストで情報を表示したいメンバーの名前を1秒以上タップする

- すべてのメンバーを表示するにはMENU→「全連絡先表示」をタップします。

2 「ユーザー情報」をタップする

- ニックネームを入力すると、友だちリストにニックネームが表示されます。

3 確認したら「完了」をタップする

モバイルインジケーターについて

モバイルインジケーター

友だちリストでメンバーの名前の右横にモバイルインジケーターが表示されたら、そのメンバーがAndroid搭載の携帯電話からログインしていることがわかります。
なお、以下の設定を行うと、モバイルインジケーターを他のメンバーの友だちリストに表示、非表示することができます。

1 友だちリストでMENU→「設定」

2 「モバイルインジケーター」にチェックを付ける

新着メッセージ通知を設定する

1 友だちリストでMENU→「設定」

2 着信通知に関する項目を設定する

チャットの通知	新着メッセージがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択	新着メッセージをお知らせする着信音を設定します。
バイブレーション	新着メッセージを振動でお知らせするかどうかを設定します。 ただし「マナーモード時のみ」に設定しても、マナーモード設定（P.62）を以下のように設定している場合は、バイブレーションは動作しません。 ・「マナー（アラーム）」または「マナー（サイレント）」の場合 ・「オリジナルマナー」の場合（バイブレーション設定の「通知」にチェックが付いている場合でも動作しません）

自動ログインを設定する

FOMA端末の電源を入れたときにGoogleトークに自動でログインするように設定できます。

1 友だちリストでMENU→「設定」

2「自動ログイン」にチェックを付ける

ログアウトする

1 友だちリストでMENU→「ログアウト」

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本FOMA端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

ウェブページ表示中の画面操作

■ページを縦表示／横表示にする

FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます（P.30）。

■ページを拡大／縮小する

以下の方法で拡大／縮小できます。

操作	説明
ピンチアウト／ピンチイン	拡大したい部分を2本の指で広げて拡大し、2本の指でつまんで縮小します（P.30）。
ダブルタップ	拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）して拡大します。拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。
ズームコントロール	画面をフリックしてズームコントロールを表示します。をタップして拡大し、をタップして縮小します。

■スクロール／パンする

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します（P.29）。

ブラウザを起動してウェブページを表示する

1 →「ブラウザ」

設定されているホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURLまたはキーワードを入力する

- アドレスバーをタップしてからをタップすると、音声検索ができます。

3 をタップする、または候補リストから表示したいウェブページを選択する

新しいブラウザウィンドウを開く

最大8つのブラウザウィンドウを開くことができます。

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ウィンドウ」→「新しいウィンドウ」

新しいブラウザウィンドウが開き、設定されているホームページが表示されます。

ブラウザウィンドウを切り替える

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ウィンドウ」

2 表示したいブラウザウィンドウをタップする

ブラウザウィンドウを閉じる

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ウィンドウ」

2 ブラウザウィンドウの「×」をタップする

履歴からウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ブックマーク」→「履歴」

2 「今日」、「昨日」、「もっと前」などをタップして、その期間の履歴を展開する

- よく閲覧するウェブページの履歴を表示する場合は、「よく使用」をタップします。

3 表示したいウェブページの履歴をタップする

ブックマークを登録してすばやく表示する

ブックマークを登録する

1 登録したいウェブページを表示する

2 MENU→「ブックマーク」

ブックマーク一覧が表示されます。

- MENU→「リスト表示」/「サムネイル表示」をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えられます。

3 「追加」をタップする

- リスト表示の場合は、「現在のページをブックマーク」をタップします。

4 ブックマークの名前を確認/変更し、「OK」をタップする

ブックマークからウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ブックマーク」

2 表示したいブックマークをタップする

ブックマークを編集する

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ブックマーク」

2 編集したいブックマークを1秒以上タップする

3 「編集」をタップする

4 変更を入力し、「OK」をタップする

ブックマークを削除する

1 ウェブページ表示中に、MENU→「ブックマーク」

2 削除したいブックマークを1秒以上タップする

3 「削除」→「OK」

ブックマークをバックアップする

ブックマークをmicroSDカードにバックアップします。

1 ウェブページ表示中に、MENU→「その他」→「設定」→「バックアップ」

2 「バックアップ」→「開始」

3 バックアップが完了したら「OK」をタップする

おしらせ

- バックアップしたブックマークをFOMA端末にコピーするには、操作1のあと「レストア」→「開始」をタップします。

ウェブページをスターメモに登録する

1 登録したいウェブページを表示する

2 MENU →「スターメモ登録」→「OK」

ウェブページの表示方法を変更する

ウェブページを常に横向きに表示する

1 ウェブページ表示中に、MENU →「その他」→「設定」

2「常に横向きに表示」にチェックを付ける

デフォルトの倍率を変更する

ウェブページをダブルタップするときの倍率を設定できます。

1 ウェブページ表示中に、MENU →「その他」→「設定」→「デフォルトの倍率」

2「低」/「中」/「高」をタップする

文字サイズを変更する

1 ウェブページ表示中に、MENU →「その他」→「設定」→「テキストサイズ」

2「最小」/「小」/「中」/「大」/「最大」をタップする

ウェブページのリンクを操作する

ウェブページに表示されているリンクを選択すると、以下の操作ができます。

リンク	操作
URL	・リンクをタップしてウェブページを開きます。 ・リンクを1秒以上タップして、URLをブックマークに登録したり、メールで送信したり、コピーしたりします。
電子メールアドレス	・リンクをタップしてメールを作成します。 ・リンクを1秒以上タップして、メールアドレスをコピーします。
電話番号	リンクをタップして電話番号に発信します。
ファイル	・リンクをタップしてファイルを開いたり、ダウンロードしたりします。 ・リンクを1秒以上タップ→「リンクを保存」をタップすると、ファイルをFOMA端末に保存します。 ・保存したファイルはメディアフォルダ(P.97)またはDocument Viewer(P.127)、ダウンロード履歴(P.69)で確認できます。

おしらせ

● Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトからは、ファイルをダウンロードできません。

ウェブページに表示されている画像を保存する

1 ウェブページ表示中に、保存したい画像を1秒以上タップする

2「画像を保存」をタップする

• 保存した画像は、メディアフォルダ(P.97)やダウンロード履歴(P.69)で確認できます。

ウェブページのテキストをコピーする

コピーしたテキストは、他のアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

1 ウェブページ表示中に、MENU→「その他」→「テキストを選択してコピー」

2 コピーしたいテキストをなぞる

選択されたテキストがピンクでハイライト表示されます。

3 画面から指を離す

テキストがクリップボードにコピーされます。

- コピーしたテキストを貼り付けるには、文字入力画面でテキスト挿入位置を1秒以上タップし、「貼り付け」をタップします。

ホームページを設定する

新しいブラウザウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。

1 ウェブページ表示中に、MENU→「その他」→「設定」→「ホームページ設定」

2 ホームページに設定したいURLを入力し、「OK」をタップする

履歴やキャッシュを削除する

1 ウェブページ表示中に、MENU→「その他」→「設定」

2 「キャッシュを消去」／「履歴消去」／「Cookieをすべて消去」／「フォームデータを消去」／「位置情報アクセスを消去」／「パスワードを消去」→「OK」

セキュリティを設定する

1 ウェブページ表示中に、MENU→「その他」→「設定」

2 項目を設定する

JavaScriptを有効にする	チェックを外すと、安全性をより高めることができます。
プラグインを有効にする	「オンデマンド」または「OFF」に設定すると、ブラウザの拡張機能の利用が禁止され、安全性をより高めることができます。
Cookieを受け入れる	チェックを外してCookieの保存と読み取りを禁止すると、安全性をより高めることができます。
パスワードを保存	チェックを外してウェブページ閲覧中に入力したサイトのユーザー名とパスワードを保存しないようにすると、安全性をより高めることができます。
セキュリティ警告	チェックを付けると、サイトの安全性に問題がある場合に警告が表示されます。セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。

おしらせ

- Cookieを禁止すると、一部のウェブサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

カメラで撮影する

撮影時のご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 接写をするときは、被写体とレンズの距離を約10cm以上にしてください。

著作権・肖像権について

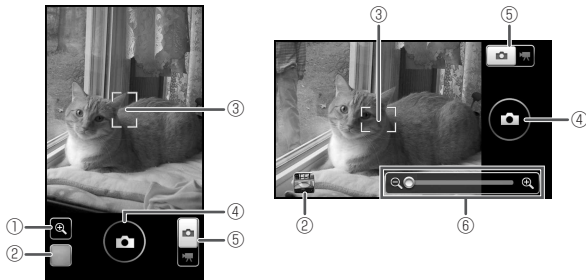
FOMA端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の操作

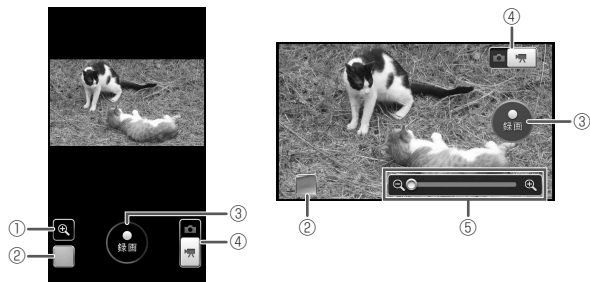
カメラは、横向きと縦向きのどちらでも撮影できます。

撮影前（ファインダー画面）

■静止画

① ズームバーを表示
② 以前撮影した静止画を表示
③ フォーカスフレーム
④ シャッター
⑤ 静止画／動画撮影の切り替え
⑥ ズームバー
左右になぞって倍率を変更

おしらせ

- カメラを起動したときに動作中のビデオ録画がある場合は、ビデオ録画が起動（再開）されることがあります。その場合は、⑤の切り替えスイッチで静止画撮影に切り替えてください。

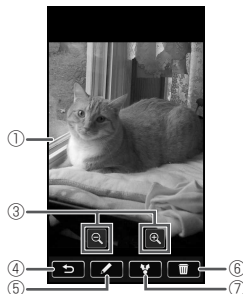
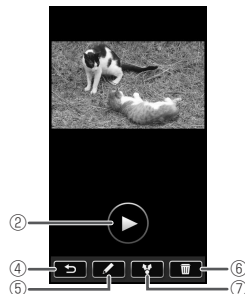
■動画

① ズームバーを表示
② 以前録画した動画を再生
③ 録画開始
④ 静止画／動画撮影の切り替え
⑤ ズームバー
左右になぞって倍率を変更

おしらせ

- ビデオ録画を起動したときに動作中のカメラがある場合は、カメラが起動（再開）されることがあります。その場合は、④の切り替えスイッチで動画撮影に切り替えてください。

撮影後（確認画面）

撮影設定メニューで「撮影後に確認」または「録画後に確認」にチェックが付いている場合に表示されます。

●静止画

●動画

① 左右にフリックして以前撮影した静止画を表示
② 録画した動画を再生
③ ズームコントロール
④ ファインダー画面に戻る
⑤ 撮影した静止画／動画を編集
⑥ 撮影した静止画／動画を削除
⑦ 撮影した静止画／動画を共有、またはスターメモを作成

静止画の撮影設定メニュー

静止画ファインダー画面でMENUを押すと、以下の設定ができます。

- 組み合わせにより選択できない項目はグレー文字で表示されます。

設定項目		説明
フォーカス		
	自動	タップした位置にフォーカスフレームが移動し、ピントを合わせます。
	顔検出	人の顔を自動的に検出し、ピントを合わせます。
	自動追跡	タップして選択した被写体の動きに合わせてフォーカスフレームが移動し、ピントを合わせます。
	マクロ固定	近距離の被写体にピントを合わせます。被写体とレンズの距離を約10cm以上にしてください。
シャッター		
	ノーマル	通常のシャッターモードです。
	笑顔検出	笑った顔を検出し、自動的にシャッターを切ります。
	セルフタイマー	設定時間が経過すると自動的にシャッターを切ります。FOMA端末を持たずに撮影できるので、自分の写真や全員が揃ったグループ写真を撮影できます。また、撮影時の手振れを防ぐために使用できます。
撮影		
	自動	標準の撮影モードです。
	美顔補正	顔色が美しく映えるように撮影します。
	連続撮影	シャッターボタンを押したまま（タップしたまま）にしている間に連続で最大7枚の静止画を撮影します。
	フレーム撮影	好みのフレームを付けて撮影します。
	パノラマ撮影	シャッターボタンを押した（タップした）あと、緑と白のパノラマフレームが重なるようにカメラを水平／垂直方向に移動させてパノラマ写真を撮影します。
フラッシュ		フラッシュの自動／オン／オフを切り替えます。
撮影サイズ		解像度（画像サイズ）を指定します。
詳細設定		
	ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。
	画質	画質を指定します。高画質にするほどファイルサイズが大きくなります。
	撮影方向	横向き／縦向きで撮影するか、または縦横を自動で切り替えるかを設定します。
	グリッド線を表示	グリッド線を表示します。
	撮影後に確認	撮影した静止画を保存後に表示します。
	デジタル補正	撮影した静止画を自動でデジタル補正します。
	自動タグ	撮影した静止画に自動でタグを付けます。
	位置測位	撮影した静止画に自動で位置情報を付けます。
	手振れ補正	手振れ補正機能を使用します。
	ちらつき軽減設定	蛍光灯の光によるちらつきを軽減する設定をします。
	セルフタイマー	自動でシャッターが切れるまでの時間を設定します。
	バージョン情報	カメラのバージョンと利用規約を確認します。

動画の撮影設定メニュー

動画ファインダー画面でMENUを押すと、以下の設定ができます。

設定項目	説明
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。
ストップタイマー	設定時間が経過すると、自動で録画を終了します。
オーディオ	動画録画時に音声を録音するかどうかを設定します。
ライト	照明のオン／オフを切り替えます。
ビデオサイズ	解像度（画像サイズ）を指定します。

次ページへ続く

設定項目		説明
詳細設定		
	ビデオ画質	画質を指定します。高画質にするほどファイルサイズが大きくなります。
	オーディオエンコーダー	AACまたはAMRコーデックを指定します。
	撮影方向	横向き／縦向きで撮影するか、または縦横を自動で切り替えるかを設定します。
	録画後に確認	録画した動画を保存後に表示します。
	手振れ補正	手振れ補正機能を使用します。
	バージョン情報	ビデオ録画のバージョンと利用規約を確認します。

撮影する

撮影した静止画と動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。FOMA端末にmicroSDカードを取り付けてください。microSDカードについては、P.73を参照してください。

静止画を撮影する

1 ▦→「カメラ」

2 ファインダー画面に被写体を表示する

- ◙を半押ししてフォーカスロックすることもできます。
- ▲／▼を押すと画面の明るさを調節できます。
- フォーカスが「自動」または「自動追跡」の場合は、ピントを合わせたい位置または被写体をタップします。ピントが合うとフォーカスフレームが緑色になります。
- フォーカスが「顔検出」で複数の人の顔を検出した場合は、ピントを合わせたい人の顔をタップします。

3 ●をタップする

シャッター音が鳴ります。
撮影設定メニューで「撮影後に確認」にチェックが付いている場合は、確認画面が表示されます。

■静止画確認画面のオプションメニュー

MENUを押すと、以下の操作ができます。

項目	説明
設定画像	撮影した静止画を壁紙や連絡先のアイコン（顔写真）に設定します。
メディアフォルダへ	撮影した静止画をメディアフォルダで確認します。
情報	撮影した静止画のファイル情報を表示します。
ジオタグをつける	静止画に正確な撮影場所を示すタグを付けます。ジオタグを付けると、静止画を撮影した場所を地図上で確認できます。
自動修正	撮影した静止画をデジタル補正します。

動画を撮影する

1 ▦→「ビデオ録画」

2 ファインダー画面に被写体を表示する

- ▲／▼を押すと画面の明るさを調節できます。

3 「録画」をタップする

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。

4 「停止」をタップして録画を終了する

録画終了音が鳴ります。
撮影設定メニューで「録画後に確認」にチェックが付いている場合は、確認画面が表示されます。

■動画確認画面のオプションメニュー

MENUを押すと、以下の操作ができます。

項目	説明
メディアフォルダへ	録画した動画をメディアフォルダで確認します。
情報	録画した動画のファイル情報を表示します。

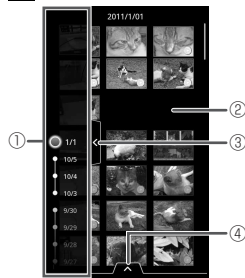
メディアフォルダ

カメラで撮影したりダウンロードしたりしてmicroSDカードに保存した画像（静止画、動画）を表示／再生したり、簡単な編集を行ったりすることができます。タグ付けによって画像を分類したり、顔検出機能を利用して個人アルバムを自動作成したりすることもできます。

■再生可能なファイル形式

画像の種類	ファイル形式
静止画	JPEG、BMP、GIF、PNG
動画	WMV、H.264、H.263、MPEG4

メディアフォルダを開いて画像を表示／再生する

1 ▦→「メディアフォルダ」

① インデックスバー
② 上下にスクロールして画像を選択
③ タップしてインデックスバーの表示／非表示を切り換え
④ タップしてカテゴリータブの表示／非表示を切り換え

2 カテゴリータブを表示し、「すべて」／「写真」／「ビデオ」／「人物」／「タグ」をタップする

3 インデックスバーで日付を指定する

- インデックスバーは、縦画面表示では画面の余白またはタブをタップすると表示されます。横画面表示では画面下に常に表示されます。
- 操作2で「人物」を選択した場合は、インデックスバーが表示されません。
- 操作2で「タグ」を選択した場合は、タグ別に表示されているサムネイル画像をタップするとインデックスバーが表示されます。

4 画像をタップして表示する

- 動画の場合は、▶をタップして再生します。
- 画面を左右にフリックするか、〈／〉をタップすると、前後の画像に切り替えることができます。〈／〉は画面をタップすると表示されます。

静止画のスライドショーを再生する

1 メディアフォルダを開いてスライドショーを開始したい静止画をタップする

2 MENU→「スライドショー」

- 画面をタップするとスライドショーが終了します。

スライドショーを設定する

1 メディアフォルダを開いて「すべて」／「写真」／「タグ」をタップする

- 「タグ」をタップした場合は、スライドショーで再生したいタグを選択します。

2 MENU→「設定」

3 スライドショーの間隔、トランジション、BGMを設定する

画像にタグを付ける

1 メディアフォルダを開いてタグを付けたい画像をタップする

2 MENU→「タグ」

■新規タグを作成する場合

「タグの新規作成」→タグ名を入力→「OK」をタップします。

■既存のタグから選択する場合

タグを選択します。

おしらせ

- 「人物」以外のカテゴリーでは、以下の操作で複数の画像にまとめてタグを付けることができます。
MENU→「マーク」→タグを付けたい画像にチェックを付ける→MENU→「タグ」→タグを選択、または「タグの新規作成」→タグ名を入力→「OK」

画像を削除する

1 メディアフォルダを開いて削除したい画像をタップする

2 MENU→(「その他」→)「削除」→「OK」

おしらせ

- 「タグ」カテゴリーではタグが削除され、画像そのものは削除されません。
- 「人物」以外のカテゴリーでは、以下の操作で複数の画像をまとめて削除できます。
  MENU→「マーク」→削除したい画像にチェックを付ける→MENU→「削除」→「OK」

画像のファイル名を変更する

1 メディアフォルダを開いてファイル名を変更したい画像をタップする

2 MENU→(「その他」→)「名前の変更」

3 名前を入力し、「OK」をタップする

静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する

1 メディアフォルダを開いて設定したい静止画をタップする

2 MENU→「登録」

3 「壁紙に設定」または「連絡先のアイコンに設定」をタップする

- 「連絡先のアイコンに設定」をタップした場合は、連絡先を選択します。

4 表示範囲を指定する

- トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠の角をドラッグして拡大／縮小します。

5 「○」をタップする

画像を共有する

画像をBluetooth通信やメールで送信したり、PicasaやYouTubeにアップロードしたりできます。また、スターメモを作成できます。

1 メディアフォルダを開いて共有したい画像をタップする

2 MENU→「共有」

3 共有オプションを選択し、それぞれの操作を行う

- 「スターメモ作成」を選択した場合は、スターメモ作成画面からメール送信（P.119）や共有サイトへのアップロード（P.119）ができます。

画像のファイル情報を表示する

1 メディアフォルダを開いて情報を表示したい画像をタップする

2 MENU→(「その他」→)「詳細」

3 確認したら「OK」をタップする

個人アルバムを作成する

同じ顔の写真を自動で収集して個人アルバムを作成できます。

1 メディアフォルダを開いて「人物」をタップする

人の顔が写っている写真が自動で収集されます。

- すべての写真をスキャンするのに時間がかかる場合があります。スキャン中に画面をタップすると「スキャン中 XX/XXX」（XX/XXXはスキャン数／総数）が表示され、進行状況を確認できます。

2 「未登録」をタップして開き、個人アルバムを作成したい写真を1秒以上タップする

3 「新規／リストから選ぶ」をタップする

- 「連絡先から追加」をタップして連絡先を選択すると、個人アルバムを連絡先とリンクさせることができます。

4 「新しい名前を登録します」をタップする

5 名前を入力し、「OK」をタップする

同じ顔の写真が自動で収集され、個人アルバムが作成されます。

おしらせ

- 「未登録」の写真を既存の個人アルバムに追加するには、操作3のあと個人アルバムを選択します。
- 個人アルバムに本人以外の写真が含まれている場合は、その写真を1秒以上タップし、「削除」→「OK」をタップします。
- 個人アルバムの写真を1秒以上タップし、「表紙にセット」をタップすると、アルバムのカバー写真に設定できます。
- 個人アルバムに「?」が付いた写真が複数ある場合は、「確認」をタップし、本人以外の写真のチェックを外して「完了」をタップします。
- 連絡先とリンクさせた個人アルバムを1秒以上タップして、相手に連絡することができます。

画像を編集する

静止画を編集する

1 メディアフォルダを開いて編集したい静止画をタップする

2 MENU→「その他」→「編集」

3 ツールパレットからツールを選択し、画像を編集する

- ツールパレットを左右にフリックすると、隠れているツールが表示されます。
- ツールを1秒以上タップすると、ツール名が表示されます。
- ツール内の項目を1秒以上タップすると、項目名が表示されます。

4 各ツールの操作が完了したら「完了」をタップする

- 操作を取り消すには、MENU→「元に戻す」をタップします。

5 編集がすべて完了したら「保存」をタップする

動画を編集する

1 メディアフォルダを開いて編集したい動画をタップする

2 MENU→「編集」

■動画を切り取る場合

左右のスライダータブをドラッグして範囲を指定します。

・切り取った動画をそのまま保存する場合は、「OK」→ファイル名を入力→「OK」をタップします。

■複数の動画をつなげる場合

MENU→「ムービーをつなぐ」をタップします。画面下部のサムネイルエリアから画面上部のストーリーボードに動画をドラッグします。ストーリーボード上で動画をドラッグして並べ替え、MENU→「保存」をタップします。

・つなげた動画を確認するには、MENU→「プレビュー」をタップします。

■動画にBGMを付ける場合

MENU→「BGMを追加」→ファイルを選択→「BGMのみ」/「ビデオの音声より小さい音量でBGMを追加」/「ビデオの音声より大きい音量でBGMを追加」→「OK」をタップします。

3 ファイル名を入力し、「OK」をタップする

音楽を聴く

ミュージックプレイヤーを使用して、microSDカードに保存した音楽を再生できます。

- パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「microSDカード内のデータをパソコンから操作する」（P.122）を参照してください。

■再生可能なファイル形式

ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式／コーデック
WMA、AAC、MP3、AMR、OGG Vorbis、WAVE（PCM）、MIDI、XMF／MXMF、RTTTL／RTX、OTA、iMelody

ミュージックプレイヤーで音楽を再生する

1 →「ミュージック」

2 リストを選択する

- 全曲リストを選択した場合は、操作4に進みます。
- 横画面表示の場合はアルバムリストが表示されます。

：全曲リスト
：アルバムリスト
：アーティストリスト
：ジャンル別リスト
：プレイリスト

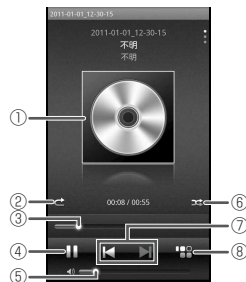
3 アイテムを選択する

- アイテムを1秒以上タップして「再生」をタップすると、アイテム内の全曲が再生されます。

4 曲を選択する

おしらせ

- ノイズ低減機能やスピーカー補正機能を使用して再生できます（P.65）。

再生画面の操作

① 上下にフリックして、歌詞／録音レベル／ジャケット画像表示に切り替え
左右にフリックして、次／前の曲にスキップ
② アイテム内の曲を全曲リピート／リピート解除※
③ 左右になぞって再生位置を指定
④ 一時停止／再生
⑤ 左右になぞって音量を調節※
⑥ アイテム内の曲をシャッフル／シャッフル解除※
⑦ 次／前の曲へスキップまたは曲の先頭に戻る※
⑧ アイテム内の曲リストを表示
（横画面表示の場合はアルバムリストを表示）
※横画面表示の場合は表示されません。

プレイリストを作成する

1 →「ミュージック」→

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 「新規プレイリスト」をタップする

3 プレイリスト名を入力し、「OK」をタップする

プレイリストに曲を追加する

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択し、「追加」をタップする

2 追加したい曲をタップして選択する

3 「OK」をタップする

プレイリストから曲を削除する

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択し、「削除」をタップする

2 削除したい曲をタップして選択する

3 「OK」をタップする

関連するコンテンツを検索する

1 →「ミュージック」

2 リストを選択する

3 曲またはアイテムを1秒以上タップする

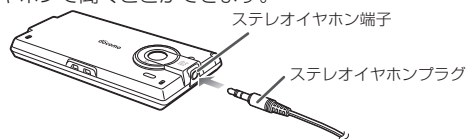
4 「検索」をタップする

「×××を検索しています：」（×××は検索のキーワード）画面が表示されます。

5 「YouTube」／「ブラウザ」／「ミュージック」をタップする

指定したメディア内でコンテンツが検索されます。

ステレオイヤホンを使用する

FOMA端末にステレオイヤホンを取り付けて、動画や音楽の再生音をイヤホンで聞くことができます。

1 ステレオイヤホン（別売）のプラグをFOMA端末のステレオイヤホン端子に差し込む

2 イヤホン接続時マイク選択画面が表示されたら「端末のマイク」または「イヤホンマイク」をタップする

- マイク入力の設定について詳しくは、P.63を参照してください。

マルチメディア

YouTubeを利用する

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

1 →「YouTube」

動画の一覧画面が表示されます。

：動画を録画してアップロード

：キーワードを入力して動画を検索

- はじめて起動したときは、リンク先の利用規約を確認し、「同意する」をタップすると動画の一覧画面が表示されます。

2 再生したい動画をタップする

- 画面をタップすると一時停止／再生開始の切り替えができます。
- 画面をダブルタップまたはFOMA端末を横画面にすると、再生画面を拡大できます。拡大時には再生位置を指定するスライダーや、高画質（HQ）再生のオン／オフ設定アイコン（HQ）が表示されます。

おしらせ

- REGZA設定をオンにすると、高画質化エンジンを使用して再生できます（P.65）。
- 数百MB以上の大容量の動画ファイルは、パソコンからアップロードしてください。ネットワーク環境によりFOMA端末からはアップロードできない場合があります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

社団法人　デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」、「データ放送サイト」の2種類があります。

  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

おしらせ

- データ放送エリアのリンク先によっては参照できない場合があります。

■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

おしらせ

- ワンセグ視聴時以外ではアンテナを収納してください。アンテナを引き出したままで通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

ワンセグを起動する

1 ▦→「テレビ」

ワンセグ視聴画面が表示されます。

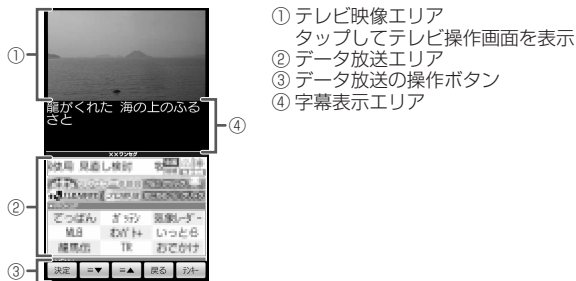
- はじめて起動したときは、使用許諾を読んで「同意する」をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します（P.107）。

おしらせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- ワンセグアンテナを操作するときは、以下の点に注意してください。
  - ・ワンセグアンテナの向きを変えるときは、ワンセグアンテナの根元付近を持ち、方向をよく確認してください。
  - ・ワンセグアンテナをFOMA端末に収納するときは、ワンセグアンテナを縮めて、まっすぐ上に向けてから収納してください。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
- REGZA設定をオンにすると、高画質化エンジンを使用して視聴できます（P.65）。

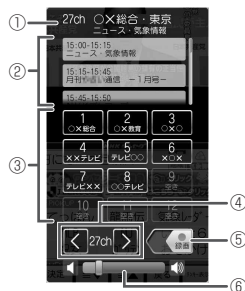
ワンセグ視聴画面について

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

① テレビ映像エリア
　タップしてテレビ操作画面を表示
② データ放送エリア
③ データ放送の操作ボタン
④ 字幕表示エリア

おしらせ

- データ放送エリア内を直接タップして操作できないときは、画面下部のデータ放送の操作ボタンで操作してください。
- テレビ映像エリアまたは字幕表示エリアを1秒以上タップすると、横画面表示または縦画面表示に固定することができます。固定を解除するには、テレビ映像エリアまたは字幕表示エリアを1秒以上タップします。

テレビ操作画面について

ワンセグ視聴画面でテレビ映像エリアまたは字幕表示エリアをタップすると、テレビ操作画面が表示されます。

① チャンネル、放送局、番組名
② 視聴中のチャンネルの番組表
　タップして番組内容を表示
　1秒以上タップして視聴予約／録画予約を設定
③ 選局ボタン
④ チャンネルの切り替え
　1秒以上タップしてチャンネルサーチを開始
⑤ 左になぞって録画開始／右になぞって録画終了
⑥ 左右になぞって音量を調節

おしらせ

- ▲：音量大／1秒以上押してチャンネル切り替え
- ▼：音量小／1秒以上押してチャンネル切り替え
- 録画キー：1秒以上押して録画開始／終了

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、あとで関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択する

• テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

おしらせ

● リンク先によってはTVリンクを登録できないことがあります。

テレビリンクを表示する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「TVリンク」

2 テレビリンクを選択する

登録されたサイトに接続します。

おしらせ

● テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

テレビリンクを削除する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「TVリンク」

2 削除したいテレビリンクを1秒以上タップする

3「削除」→「はい」

おしらせ

● テレビリンクをすべて削除する場合は、操作1のあと MENU →「全件削除」→「はい」をタップします。

ワンセグを録画する

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 テレビ操作画面を表示する**(P.104)**

2 [録画] を左になぞって録画を開始する

3 [録画] を右になぞって録画を終了する

おしらせ

● あらかじめT-01CでフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。
● 録画を開始するにはmicroSDカードの空き容量が10MB以上、電池残量が20%以上必要です。
● 録画中に以下の状態になると録画が自動で停止します。
  ・microSDカードの空き容量が2MB以下
  ・電池残量が10%以下
  ・録画開始から6時間経過
● 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。Eメールに添付することはできません。
● 録画時間が極端に短い（10秒以下の）場合は、再生することができません。
● 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
● 録画中は、チャンネル切り替えはできません。
● 録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。
● 録画中は静止画や動画の撮影を行えません。
● 録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
● 録画中にmicroSDカードのマウントを解除したり、USB接続をしてmicroSDカードをパソコンにマウントすると、録画に失敗することがあります。
● 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

録画した番組を再生する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「録画リスト」

2 データを選択する

- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。
- 再生中に画面をタップして、以下の操作ができます。
  ⏪：タップして約5秒戻す。タップしたままで連続巻き戻し
  ⏩：タップして約15秒進める。タップしたままで連続早送り
  ⏸／▶：一時停止／再生

ワンセグの視聴予約／録画予約を行う

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「視聴予約／録画予約」

2「視聴予約」または「録画予約」をタップする

3 MENU →「新規予約」

4 項目を設定する

項目	説明
開始日	録画または視聴の開始日を設定します。
開始時刻	録画または視聴の開始時刻を設定します。
終了時刻※	録画の終了時刻を設定します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
番組名	番組名を設定します。
繰り返し	毎週予約したい場合の曜日を設定します。

※録画予約時のみ表示されます。

5「完了」をタップする

■予約した時刻になると

設定した時刻の30秒前になると、アラーム音とお知らせ画面で通知します。

おしらせ

- アラームの通知時間や音量などは変更できます（P.107）。
- 予約した時刻にFOMA端末の電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画は終了し、予約録画が開始されます。
- ワンセグの視聴予約／録画予約の時刻には、必ずカメラを終了しておいてください。カメラを利用中の場合、ワンセグ録画に失敗したり、カメラの録画が自動的に停止したりします。

予約内容を編集／削除する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「視聴予約／録画予約」

2「視聴予約」または「録画予約」をタップする

3 編集したい予約を1秒以上タップする

4「予約を編集」または「予約を削除」をタップする

5 予約を編集したい場合は、項目をタップして修正する

6「完了」または「OK」をタップする

録画予約の結果を確認する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「視聴予約／録画予約」→「録画予約結果」

マルチメディア

ワンセグの設定を行う

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「設定」

2 項目を設定する

字幕表示	字幕表示のオン／オフを設定します。
字幕言語切替	複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。
主・副音声切替	副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
音声切替	複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。
左右音声切替	パソコンなどからmicroSDカードに書き込んだ地デジ番組の再生時に、左右どちらの音声を聞くかを設定します。
なめらかモード	映像をなめらかにする機能を使用するかどうかを設定します。「なめらかモード」にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。
チャンネル設定	「チャンネルを設定する」（P.107）
予約アラーム設定	予約時のアラーム時間やアラーム音、バイブレーションのオン／オフなどを設定します。
放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

チャンネルを設定する

チャンネルリストを作成する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2「未設定」を1秒以上タップする

3「作成」をタップし、項目を選択する

手動設定	地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。
自動設定	現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。

チャンネルリストを切り替える

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト切替」

2 受信したいチャンネルリストを選択する

放送局をチャンネルリストに追加する

1 チャンネルサーチを行う（P.104）

2 未登録の放送局が見つかったら MENU →「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネル追加」→「はい」→「はい」

チャンネルリストから放送局を削除する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 編集したいチャンネルリストを選択する

3 MENU →「削除」

4 削除したい放送局にチェックを付ける

5「削除」→「はい」

チャンネルボタンの割り当てを変更する

1 ワンセグ視聴画面で MENU →「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 編集したいチャンネルリストを選択する

3 MENU →「並べ替え」

4 をドラッグしてリストを並べ替える

5「完了」をタップする

地デジ番組を再生する

QosmioからmicroSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を、FOMA端末でも高画質（VGAクラス）で視聴することができます（地デジ持ち出し）。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードをFOMA端末に挿入する

3 →「テレビ」→ MENU →「録画リスト」

4 地デジ番組を選択する

おしらせ

- 地デジ放送番組をQosmioからmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDメモリカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

DLNA対応機器との連携

FOMA端末のmicroSDカードに保存したコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツを、FOMA端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末とすべてのDLNA対応機器間での連携を保証するものではありません。

FOMA端末のコンテンツを他の機器で再生する

■他のDLNA対応機器で再生するまでの流れ

FOMA端末のDiXiMサーバーを起動し、他のDLNA対応機器からFOMA端末へのアクセスを許可する（P.109）

DLNA対応機器の操作で、FOMA端末からDLNA対応機器を制御することを許可する

↓

DLNA対応機器にFOMA端末の画像を配信する（P.109）
・静止画のみ配信できます。

↓

DLNA対応機器の操作で、FOMA端末のDiXiMサーバーにアクセスしてコンテンツを再生する
・静止画、動画※、音楽を再生できます。

※ビデオ録画やモシモカメラなどで撮影した動画は、T-01C以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

他のDLNA対応機器からFOMA端末へのアクセスを許可する

1 →「DiXiM Server」

サーバーが起動すると「DiXiM Server」にチェックが付き、ステータスバーに が表示されます。

2 「アクセス制御」→「クライアント機器の一覧」でアクセスを許可するDLNA対応機器にチェックを付ける

DLNA対応機器にFOMA端末の画像を配信する

以下の静止画を配信できます。

ファイル形式	拡張子	対応プロファイル
JPEG	.jpg、.jpeg	JPEG_SM、JPEG_MED、JPEG_LRG

1 →「DiXiM Player」→「TV、PCで再生」

2 DLNA対応機器を選択する

3 「Photos」または「Folder」をタップし、静止画を選択する

他の機器のコンテンツをFOMA端末で再生する

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、FOMA端末からのアクセスを許可してください。

1 →「DiXiM Player」→「この端末で再生」

2 DLNA対応機器を選択する

3 再生したいコンテンツを選択する

GPS

本FOMA端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、お知らせLEDがある本体左上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

・建物の中や直下
・かばんや箱の中
・密集した樹木の中や下
・自動車、電車などの室内
・FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
・地下やトンネル、地中、水中
・ビル街や住宅密集地
・高圧線の近く
・大雨、雪などの悪天候

位置情報サービスを有効にする

GPS機能をオンにする

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」

2 「GPS機能を使用」にチェックを付け、確認画面が表示されたら「同意する」をタップする

おしらせ

- 「GPS機能を使用」をオンにすると精度の高い位置情報を測位することができますが、これには視界が良好である必要があり、電池の消費が多くなります。ワイヤレスネットワークの現在地検索と併用することをおすすめします。

ワイヤレスネットワークでの現在地検索をオンにする

Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地を検索します。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」

2「ワイヤレスネットワーク」にチェックを付け、確認画面が表示されたら「同意する」をタップする

- チェックを付けると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された位置データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

- Googleマップを利用するには、3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください（P.110）。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

現在地を表示する

1 →「マップ」

- 初回起動時にマップの新機能を紹介する画面が表示されたら、「OK」をタップすると、現在地を中心とした地図が表示されます。
- 地図をスクロールまたはパンして見たい部分を表示します（P.29）。
- 以下の方法で地図を拡大／縮小できます。

ピンチアウト／ピンチイン	2本の指で広げて拡大し、2本の指でつまんで縮小します（P.30）。
ダブルタップ	ダブルタップ（2回続けてタップ）して拡大します。
2本指タップ	2本指でタップして縮小します。
ズームコントロール	をタップして拡大し、をタップして縮小します。

ストリートビューを見る

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

1 地図表示中にストリートビューが見たい地点を1秒以上タップする

2 表示された吹き出しをタップする

3 をタップする

- ストリートビュー表示中に MENU →「コンパスモード」をタップしてコンパスモードをオンにすると、FOMA端末の電子コンパスとストリートビューの方位が連動します。

興味のある場所を検索する

1 地図表示中に MENU →「検索」

2 検索欄に検索する場所を入力する

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ロンドン 美術館）を入力できます。

3 または検索候補をタップする

4 地図上の吹き出しをタップし、場所の詳細情報とオプションを開く

- 検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸をタップして吹き出しを表示します。
- 地図左下の をタップしてリストを表示し、目的の場所をタップして詳細情報とオプションを開くこともできます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

レイヤを表示する

地図表示に道路の渋滞情報を追加したり、航空写真表示に切り替えたりできます。

1 地図表示中に

2 表示したい項目を選択する

- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

道案内を取得する

1 地図表示中に MENU →「経路」

2 上の入力欄に出発地を入力し、下の入力欄に到着地を入力する

- 入力欄右の をタップして、連絡先の住所や地図上の場所を指定することもできます。

3 移動手段（自動車／公共交通機関／徒歩）を選択し、「実行」をタップする

：自動車
：公共交通機関
：徒歩

- 公共交通機関で検索して複数のルートが見つかった場合は、好みのルートをタップします。

4 をタップする

5 地図上で経路を確認する

- 地図の下に表示される矢印をタップして前後のポイントに進みます。

おしらせ

- Googleマップナビ（ベータ版）でも、以下の操作でルート検索ができます。
 →「ナビ」→（初回起動時は「同意する」をタップ）→目的地を入力する

Google Latitudeで友人の現在地を確認する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Latitude起動時に画面の指示にしたがって設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 地図表示中に MENU →「Latitudeに参加」

- はじめてLatitudeに参加するときは、Googleのプライバシーポリシーを読み、「許可および共有」をタップします。

おしらせ

- →「Latitude」をタップしてGoogle Latitudeを起動することもできます。

位置情報を共有したい友人を招待する

1 地図表示中に MENU →「Latitude」

2 MENU →「友人を追加」→「連絡先から選択」／「メールアドレスから追加」

3 対象の連絡先にチェックを付ける、またはメールアドレスを入力する

4 「友人を追加」をタップする

5 共有リクエストを送信する相手にチェックを付け、「はい」をタップする

招待に応じる

Latitudeに参加している場合は、以下の操作で共有リクエストに応答できます。

1 地図表示中に MENU →「Latitude」

2 「×件の新しい共有リクエスト」をタップする

- リクエストが複数あるときは、リクエストを選択します。

3 項目を選択する

項目	説明
受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を見ることができます。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分は友人の位置情報を見ることができますが、友人からは自分の位置情報を見ることができません。
承認しない	お互いの位置情報は共有されません。

おしらせ

- 共有リクエストはEメール（英語）でも送られてきます。

友人の現在地を確認する

マップを開くと友人の現在地が表示されます。友人はそれぞれ写真アイコンで表示され、おおよその位置に矢印が示されます。友人が都市レベルの位置情報の共有を選択している場合は、その友人の写真アイコンには矢印がなく、都市の中央にアイコンが表示されます。

友人との接続と共有の管理

地図上で友人の写真アイコンをタップして吹き出しをタップするか、Latitudeの友人リストで友人をタップして、友人のプロフィールを開きます。プロフィール画面で以下の操作ができます。

プロフィール画面

① マップオプション
 ：友人の現在地を地図で確認
 ：友人の現在地までのルートを検索
 ：友人の現在地のストリートビューを表示
② 友人の場所をリアルタイムで更新します。
③ 友人に対する現在地の共有レベルを設定します。「都市レベルの現在地のみ共有」を選択すると、友人側では自分の写真アイコンが都市の中央に表示されます。
④ 友人をリストから削除し、位置情報の共有を停止します。
⑤ タップして友人の個人情報画面を表示、または友人を連絡先に登録します。

プライバシーを管理する

すべての友人に対する自分の見えかたを設定できます。

1 地図表示中にMENU→「Latitude」

2 自分の名前をタップし、「プライバシー設定を編集」をタップする

3 項目を選択する

項目	説明
現在地を検出	移動するとLatitudeが位置を自動的に検出し、位置情報を更新します。更新の頻度は、電池パックの充電レベルやいつ移動したかなど、いくつかの要素をもとに決められます。
現在地を設定	友人に公開する現在地を、任意の場所に設定できます。
現在地を非表示	すべての友人に位置情報を公開しません。
ロケーション履歴を有効にする	Latitudeで記録した古い位置情報を保存しておき、あとで確認することができます。
Latitudeからログアウト	Latitudeを停止し、位置情報の共有を停止します。Latitudeにはいつでも再び参加できます。

プレイスを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

1 →「プレイス」

2 検索したい施設または店舗をタップする

- 「追加」をタップすると、一覧にない施設や店舗（美術館、書店など）を追加できます。

3 検索結果のリストから目的の場所をタップして、詳細情報とオプションを開く

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

UkiUkiViewを利用する

カメラで写している現在地の映像や地図上に、感情を表すアイコンや投稿メッセージを重ね合わせて表示できます。

1 →「UkiUkiView」→「使ってみる」

2 ソフトウェア使用許諾契約書を読み、「同意する」をタップする

3 免責事項を読み、「同意する」をタップする

4 「まずは世界を体験する」または「新規登録／ログインする」をタップする

以降は画面の指示にしたがって操作します。

UkiUkiViewの使いかたを見る

ヘルプを表示して使いかたを確認できます。

1 →「UkiUkiView」→「ヘルプ」

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。

おサイフケータイのご利用にあたって

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

おサイフケータイを利用する

1 →「おサイフケータイ」

サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。

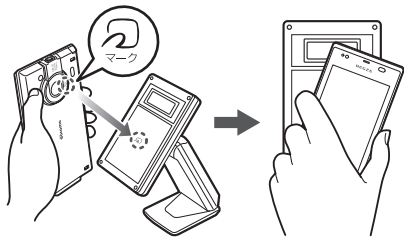
2 サービス一覧から利用したいサービスを選択する

- 初回起動時は画面の指示にしたがって初期設定を行ってください。

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。

読み取り機にかざす

マークをかざすだけで、読み取り機と通信できます。

- マークを読み取り機にかざす際は強くぶつけず、ゆっくりと近付けてください。
- マークは読み取り機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、FOMA端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。なお、マークはFOMA端末の中心部ではなくカメラ付近にあるため、かざす位置にご注意ください。
- マークと読み取り機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

おサイフケータイの機能をロックする

［おサイフケータイ ロック設定］

ロックすると、おサイフケータイのサービスを利用したり、読み取り機からデータを取得することができなくなります。

1 →「おサイフケータイ」

2 MENU →「おサイフケータイ ロック設定」

3 4～8桁のパスワードを入力する

4 確認のためパスワードを再入力し、「OK」をタップする

ロックを解除する

1 →「おサイフケータイ」

2 MENU →「おサイフケータイ ロック設定」

3 パスワードを入力し、「OK」をタップする

iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おしらせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得／更新／メールを利用しての送信／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

カレンダー

FOMA端末のカレンダーをGoogleなどオンラインサービスのカレンダーと同期させて、スケジュールを管理できます。

- カレンダーを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回カレンダー起動時に画面の指示にしたがって設定してください。

カレンダーを表示する

1 ▦→「カレンダー」

カレンダー画面が表示されます。

- MENU→「日」／「週」／「月」／「予定リスト」をタップして、表示する単位を切り替えます。どの単位の画面でもMENU→「今日」をタップすると、今日を含む表示になります。
- 月表示画面では、予定のある日をタップしてその日の予定を確認します。
- Googleなどオンラインサービスのカレンダーで複数のカレンダーを使用している場合は、カレンダーごとに予定が違う色で表示されます。

表示するカレンダーを設定する

Googleなどオンラインサービスのカレンダーで複数のカレンダーを使用している場合は、FOMA端末のカレンダーに表示するカレンダーを設定できます。

1 カレンダー画面でMENU→「その他」→「カレンダー」

2 表示したいカレンダーの ⟳👁 をタップして、表示／同期を設定する

予定を登録する

1 カレンダー画面で MENU →「その他」→「予定を作成」

2 予定のタイトル、日時、場所、内容を入力する

3 複数のカレンダーを設定している場合は、登録するカレンダーを選択する

4 必要に応じて、ゲストと繰り返し間隔を設定する

- 「ゲスト」欄にメールアドレスを入力して、予定に参加してもらいたい人に招待状を送付できます。

5 通知時間を選択する

- 何度か通知したい場合は、 をタップして通知を増やします。

6「完了」をタップする

登録した予定を確認する

1 カレンダー画面で確認したい予定をタップする

予定詳細画面が表示されます。

- 月表示画面では、確認したい予定のある日をタップしてから目的の予定をタップします。

予定の内容を変更する

1 予定詳細画面で MENU →「予定を編集」

- 繰り返す予定の場合は、「この日だけ変更」／「繰り返す予定すべて変更」／「これ以降すべて変更」をタップします。

2 変更内容を入力し、「完了」をタップする

予定を削除する

1 予定詳細画面で MENU →「予定を削除」

- 繰り返す予定の場合は、「この日の予定のみ」／「これ以降の予定」／「すべての予定」をタップします。

2「OK」をタップする

通知の表示と解除／スヌーズ

通知を設定した時刻になって、ステータスバーに が表示されたら、以下の操作で通知を解除する、またはスヌーズを設定することができます。

1 通知パネルを開き、通知をタップする

保留中の予定がすべて表示されます。

- 予定をタップすると予定詳細画面が表示され、通知が解除されます。

2「通知を消去」または「すべてスヌーズ」をタップする

通知を消去	すべての予定の通知を解除します。
すべてスヌーズ	すべての予定の通知が5分間スヌーズされます。

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で MENU →「その他」→「設定」

2 必要な項目を設定する

辞退した予定を非表示	参加を辞退した予定を非表示にします。
通知方法	「アラート」を選択すると、通知時にステータスバーに が表示されると同時に通知画面が表示されます。「OFF」を選択すると通知を行いません。
着信音を選択	通知時に鳴らす音を選択します。
バイブレーション	予定の通知を振動でお知らせするかどうかを設定します。 ただし「マナーモード時のみ」に設定しても、マナーモード設定（P.62）を以下のように設定している場合は、バイブレーションは動作しません。 ・「マナー（アラーム）」または「マナー（サイレント）」の場合 ・「オリジナルマナー」の場合（バイブレーション設定の「通知」にチェックが付いている場合でも動作しません）
デフォルトの通知時間	予定開始時刻の何分前に通知するかを設定します。

便利な機能

アラーム

曜日ごとに時刻を指定してアラームを鳴らすことができます。

1 →「アラーム」

アラーム画面が表示されます。

2 設定したいアラームをタップする

アラーム設定画面が表示されます。

3 「時刻」をタップし、アラーム時刻を設定する

4 必要に応じて、その他の項目を設定する

5 「完了」をタップする

おしらせ

- アラーム画面でアラームにチェックを付ける、またはチェックを外して、アラームのオン／オフを切り替えることができます。
- アラームを削除するには、アラーム設定画面で MENU →「アラームを削除」をタップします。
- 3つ以上のアラームを設定したい場合は、アラーム画面で MENU →「アラームの設定」をタップします。
- アラーム画面で時計をタップすると、時計を変更できます。
- 時計を非表示にしたい場合は、アラーム画面で MENU →「時計を隠す」をタップします。

■アラームを停止する

アラーム設定時刻になると設定したアラーム音やバイブレーションとともに、アラーム通知画面が表示されます。アラーム通知画面で「停止」をタップすると、アラームが止まります。

■スヌーズを設定／解除する

アラーム通知画面で「スヌーズ」をタップすると、一定時間後に再びアラームが鳴ります。
スヌーズを解除するには、通知パネルを開いてスヌーズ通知をタップします。

アラームのオプション設定

1 アラーム画面で MENU →「設定」

2 項目を設定する

アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム通知画面でスヌーズを設定した場合のスヌーズ間隔を設定します。
サイドボタンの動作	アラームが鳴っているときに▲、▼、Dを押したときの動作（なし／スヌーズ／解除）を設定します。
アラーム音初期値設定	デフォルトのアラーム音を設定します。

スターメモ

スターメモを作成する

5種類のメモ（テキストメモ、手書きメモ、ボイスメモ、写真メモ、動画メモ）を作成できます。

1 →「スターメモ作成」

スターメモ作成画面が表示されます。

■テキストメモの作成

1 をタップし、テキストを入力する

■手書きメモの作成

1 をタップし、指で画面をなぞって絵や文字を描く

- 以下のツールを使用できます。
  - ：色を選択
  - ：線の太さを変更
  - ：1つ前に戻る
  - ：描画を消去

便利な機能

■ボイスメモの作成

1 をタップする

2「録音」をタップして録音を開始する

3「停止」をタップして録音を終了する

■写真メモの作成

1 をタップする

2 をタップして撮影する

- 撮り直す場合は、をタップします。

■動画メモの作成

1 をタップする

- ／：音声を録音する／録音しない

2「録画」をタップして録画を開始する

3「停止」をタップして録画を終了する

作成したメモを保存する

保存したメモは「スターメモ」で確認できます。

1 スターメモ作成画面で をタップする

- 保存せずに破棄する場合は、→「OK」をタップします。

作成したメモをメールで送信する

1 スターメモ作成画面で をタップする

- 必要に応じて、メールアクティビティを選択します。

2 メールアドレスと件名を入力して送信する

おしらせ

- テキストメモをSMSで送信する場合は、MENU→「共有」→「メッセージ」→「To」欄に送信先の携帯電話番号を入力→「送信」をタップします。

作成したメモを共有サイトにアップロードする

mixiやFacebook、Twitter、Flickr、YouTube、Picasaにアップロードできます。

1 スターメモ作成画面で 、 または共有サイトのアイコンをタップする

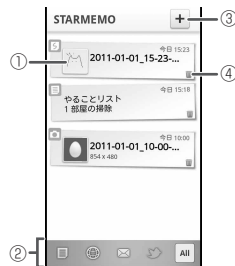
- または をタップした場合は、吹き出しのアイコンをタップします。

2 必要に応じて、テキストを入力するなどの操作を行う

スターメモを開く

作成したスターメモや、登録したEメールやSMS、ウェブページ、ツイートなどを確認できます。

1 →「スターメモ」

最新のアイテムから順に表示されます。

スターメモ一覧画面（全アイテム表示）

① タップして詳細画面を表示
② フィルタータブ
- ：作成したスターメモ
- ：ウェブページ
- ：Eメール／SMS
- ：Twitterのお気に入りツイート
- ：全アイテム

③ タップしてスターメモ作成を起動
④ タップしてアイテムを削除

■スターメモで確認できるアイテムと登録方法

アイテム	スターメモへの登録方法
テキストメモ	スターメモ作成で作成し、保存する
手書きメモ	
ボイスメモ	

便利な機能

次ページへ続く

アイテム	スターメモへの登録方法
写真メモ	スターメモ作成で作成し、保存する
動画メモ	
ウェブページ	「ウェブページをスターメモに登録する」(P.91)
Eメール	「Eメールをスターメモに登録する」(P.80)
SMS	「SMSをスターメモに登録する」(P.84)
お気に入りツイート	Twitterサイト閲覧中に登録したいツイートに★を付ける

■詳細画面の操作

スターメモ一覧画面で各アイテムをタップして表示される詳細画面で、以下の操作ができます。

アイコン	操作
(手書きメモ／写真メモ／動画メモ)	メディアフォルダから表示／再生する
／(動画メモ／ボイスメモ)	先頭から再生／停止する
(テキストメモ／手書きメモ)	編集する
(ウェブページ)	サイトに接続する
(お気に入りツイート)	
(Eメール／SMS)	Eメール／SMSを開く

おしらせ

- スターメモ一覧画面でMENU→「全て削除」をタップすると、アイテムをまとめて削除できます。
- 詳細画面でMENU→「共有」をタップすると、メールやBluetooth通信で送信したり、共有サイトにアップロードしたりできます。
- お気に入りツイートの詳細画面または一覧画面でMENU→「更新」をタップすると、Twitterアカウントの同期が行われます。
- 手書きメモ／写真メモ／動画メモの名前をメディアフォルダで変更すると、スターメモ一覧画面には変更前の名前が表示され、詳細画面で確認できなくなります。その場合は、以下の操作で変更後の画像をスターメモに登録し直すことができます。
  メディアフォルダを開いて名前を変更した画像をタップ→MENU→「共有」→「スターメモ作成」→

Evernote

Evernoteはウェブサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、さまざまな情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。
情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。

- 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。

Evernoteをインストールする

1 →「Evernote Launcher」

2 「Evernote for Androidをダウンロードする」をタップする

- Androidマーケット利用規約が表示された場合は内容を読み、「同意する」をタップします。

3 画面の指示にしたがってインストールする

便利な機能

RZタグラー

RZタグラーは、FOMA端末を「レグザAppsコネクト」対応のテレビやレコーダーのリモコンとして操作できる「タッチリモコン」や、録画番組の頭出し情報を記録できる「タグリスト作成／管理」、作成したタグを他人と共有できる「タグリストシェア」など、さまざまな機能を楽しめるアプリケーションです。

- RZタグラーおよびレグザAppsコネクトの詳細については、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.toshiba.co.jp/regza/option/apps/
- はじめてご利用になる際には、Androidマーケット（P.124）からRZタグラーアプリケーションをダウンロードする必要があります。
- アプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかる場合があります。

RZタグラーをインストールする

1 ▦→「RZTagler」

- Androidマーケット利用規約が表示された場合は内容を読み、「同意する」をタップします。

2 画面の指示にしたがってインストールする

おしらせ

- インストール完了後、RZタグラーを起動して「設定」→「ご利用について」をタップすると、RZタグラーの使いかたなどの詳細を確認できます。

ニュースと天気

現在地周辺の気象情報やニュースを表示できます。

- あらかじめ位置情報サービスの利用を有効にしておく必要があります。ホーム画面でMENU→「設定」→「位置情報とセキュリティ」をタップして、「ワイヤレスネットワーク」および「GPS機能を使用」にチェックを付けてください（P.110）。

1 ▦→「ニュースと天気」

- 画面を左右にフリックすると、表示する情報のカテゴリを切り替えることができます。

おしらせ

- MENU→「更新」をタップすると最新情報に更新できます。
- MENU→「設定」をタップすると、天気予報やニュースの設定、更新設定、アプリケーションのバージョン確認ができます。
- ニュースと天気でMENU→「設定」→「天気予報の設定」→「メートル法を使用」のチェックを外すと、温度表示も摂氏から華氏に切り替わります。

電卓

1 ▦→「電卓」

- MENU→「関数機能」をタップすると関数パッドが表示されます。四則演算パッドを表示するにはMENU→「標準機能」をタップします。
- 四則演算パッドと関数パッドは、左右にフリックして切り替えることもできます。
- 数式表示欄を1秒以上タップして数式のコピー／貼り付けができます。
- 「CLEAR」をタップすると入力した文字が消去されます。
  「CLEAR」を1秒以上タップすると数式全体が消去されます。

モシモカメラ

モシモカメラで動画や写真を撮影すると、被写体の動きや顔を自動的に検知してエフェクトを付けます。

1 ▦→「モシモカメラ」

2 「Movie Effects」(動画)または「Photo Effects」(写真)をタップする

3 エフェクトを選択する

4 動画または写真を撮影する

モシモカメラの使いかたを見る

1 ▦→「モシモカメラ」→「How to Play」

- 「使い方ダイジェストを観る」をタップして、ビデオを再生します。
- 画面を下にスクロールして、撮影のしかたや顔検出の注意などを確認します。

microSDカード内のデータをパソコンから操作する

付属のPC接続用USBケーブル T01でFOMA端末とパソコンを接続すると、FOMA端末のmicroSDカードがパソコン※のリムーバブルディスクとして認識され、microSDカード内のデータをパソコンから読み書きできます。

※ パソコンのOS（オペレーティングシステム）は、「Microsoft Windows XP」、「Microsoft Windows Vista」、「Microsoft Windows 7」に対応しています。

- FOMA端末でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを閉じてからmicroSDカードをパソコンにマウントします。

1 FOMA端末とパソコンをPC接続用USBケーブルで接続する

2 通知パネルを開き、「USB接続」→「USBストレージをONにする」

- 使用中のアプリケーションの停止をお知らせする画面が表示された場合は「OK」をタップします。

3 パソコン側で「マイ コンピュータ」／「コンピュータ」／「コンピューター」を開き、該当の「リムーバブルディスク」を選択する

microSDカード内のデータが表示されます。

4 FOMA端末とパソコンの間で、ファイルをドラッグ＆ドロップする

おしらせ

- microSDカードがパソコンにマウントされると、カメラなどmicroSDカードを使用するアプリケーションは使用できません。

PC接続用USBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にPC接続用USBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 パソコン側でFOMA端末の認識を停止する

2 通知パネルを開き、「USBストレージをOFFにする」→「USBストレージをOFFにする」

3 PC接続用USBケーブルを取り外す

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末と電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 [アプリ]→「電話帳コピーツール」

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 microSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 「エクスポート」タブ画面で「開始」をタップする

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 電話帳データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップする

3 「上書き」または「追加」をタップする

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップする

2 「上書き」または「追加」をタップする

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

おしらせ

- 他のFOMA端末の電話帳項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。

FOMA端末内やウェブページの情報を検索する

1 ホーム画面でクイック検索ボックス(P.31)をタップする

- ホーム画面で MENU →「検索」をタップしても操作できます。

2 キーワードを入力する

文字の入力にしたがって、検索候補が表示されます。

- [8]をタップすると検索対象を指定できます。[設定]をタップして検索対象の追加や削除もできます。

3 検索候補をタップする

- 選択した検索候補がFOMA端末内のアプリケーションの場合は、アプリケーションが起動します。
- 目的の検索候補が表示されない場合は、[→]をタップすると入力した文字でウェブページを検索します。

音声検索を利用する

1 クイック検索ボックスの右側にある[マイク]をタップする
- [メニュー]→「Voice Search」をタップしても操作できます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

クイック検索ボックスを設定する

1 クイック検索ボックスの画面で MENU →「検索設定」

2 項目を設定する

Google検索の設定	キーワード入力時に、クイック検索ボックスの下にGoogle検索の入力候補を表示するかどうかを設定します。
検索対象	検索対象とするFOMA端末内のデータを選択します。
ショートカットを消去	クイック検索ボックスで以前に選択した検索候補の履歴を削除します。

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信することができます。

- Androidマーケットを利用するには、FOMA端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Androidマーケット起動時に画面の指示にしたがって設定してください。

1 [メニュー]→「マーケット」

Androidマーケット画面が表示されます。
- 初回起動時はAndroidマーケット利用規約を読み、「同意する」をタップします。

おしらせ
- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

Androidマーケットのヘルプを利用する

1 Androidマーケット画面で MENU →「ヘルプ」

アプリケーションを検索し、インストールする

Androidマーケットホームページには、複数のアプリケーション検索方法があります。ホームページには、注目のアプリケーション、カテゴリー別に分類したアプリケーションの一覧、ゲーム一覧、検索へのリンクが表示されます。
注目のアプリケーションを縦方向にスクロールするか､｢アプリケーション」または「ゲーム」からサブカテゴリーを選択します。各サブカテゴリー内では、アプリケーションを「有料アプリケーション」､「無料アプリケーション」または「新着」で分類して表示することができます。

1 **Androidマーケット画面でアプリケーションを検索する**

2 **インストールしたいアプリケーションをタップし､詳細画面で価格､総合評価､ユーザーの意見などを確認する**

3 **｢インストール｣(または｢無料｣)をタップする**

- 有料のアプリケーションを購入する場合は、「アプリケーションを購入する」（P.125）を参照してください。
- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で「OK」を選択すると、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は「OK」をタップします。

4 **一覧画面でインストール中のアプリケーションをタップして､ダウンロードの進捗状況を確認する**

- ダウンロードを停止する場合は､｢ダウンロードをキャンセル」（または「キャンセル｣）をタップします。

インストールが完了すると、ステータスバーにが表示されます。

おしらせ

- アプリケーションメニュー（P.31）にインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます（P.75)。

アプリケーションを購入する

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入してください。規定の時間試用することができます。規定の時間以内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金はかかりません。
- アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Androidマーケットの画面でMENU→「ヘルプ」→「アプリケーションの購入」の各項目をご覧ください。

1 **Androidマーケット画面でアプリケーションを検索し､購入したいアプリケーションをタップする**

2 **｢購入｣(または金額表示欄)をタップする**

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で「OK」を選択すると、本FOMA端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は「OK」をタップします。

3 **｢支払い方法を選択｣→支払い方法を選択する→｢OK｣**

- spモードをご利用のお客様は、FOMA端末の毎月のご利用料金と一緒に支払いを行うこともできます（コンテンツ決済サービス)。詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- 初回購入時はGoogle Checkout支払い請求サービスにログインします。Google CheckoutはGoogleの提供するサービスで、FOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。
- Google Checkoutアカウントを持っていない場合は、画面の指示にしたがってフォームに記入してください。

次ページへ続く

- FOMA端末にはGoogle Checkout PINが記憶されるため、画面ロックを設定し、FOMA端末のセキュリティを確保してください(P.67)。

4 「払い戻しポリシー」、「Googleの請求とプライバシーポリシー」のリンクを選択し、文書を読んで[戻る]を押す

5 Google Checkoutのサービス条項に同意したら、画面下の「今すぐ購入」をタップする

インストールが完了すると、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

■返金要求について

アプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

アプリケーションを削除する

1 Androidマーケット画面で[MENU]→「ダウンロード履歴」(または[MENU]→「マイアプリ」)をタップする

2 削除したいアプリケーションを選択する

3 「アンインストール」→「OK」

- 有料アプリケーションで「アンインストールと払い戻し」が表示されない場合、規定の試用時間が終了しています。

4 理由に最も当てはまる回答を選択し、「OK」をタップする

便利な機能

Office文書やPDFファイルを表示する

microSDカードに保存したOffice文書（Word、Excel、PowerPoint）やPDFファイルを開いたりフォルダを確認したりできます。
以下のファイルを開くことができます。

サポートファイル	拡張子
docファイル（Word）	.doc、.docx
xlsファイル（Excel）	.xls、.xlsx
pptファイル（PowerPoint）	.ppt、.pptx
pdfファイル（PDF）	.pdf
txtファイル（テキスト）	.txt

1 →「Document Viewer」

2 「フォルダ」または「サポートファイル」をタップして開く、またはファイルの種類を選択する

3 開きたいファイルをタップする

閲覧画面が表示されます。
- 画面をパンして見たい部分を表示します（P.29）。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します（P.30）。
- 画面をタップするとアイコンツールが表示され、以下の操作ができます。
  ／：前後のページ（シート）を表示
  ：ズームコントロールを表示
  ：表示範囲を指定
  ：ファイル一覧に戻る

おしらせ
- Office文書の表示内容がパソコン上での表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

閲覧画面のオプションメニュー

各ファイルの閲覧画面で MENU を押すと、以下の操作ができます。

項目		説明
移動		指定したページを表示します。
検索		文字列を検索します。
ページ表示		ページの表示方法を設定します。
コピー		Office文書のテキストをクリップボードにコピーします。
設定		ファイル表示に関する設定をします。
プロパティ		PDFファイルのプロパティを表示します。
その他	共有	ファイルをメールなどで送信できます。
	エンコード	テキストファイルの文字エンコードを設定します。
	バージョン情報	バージョン情報やライセンス情報を表示します。

USBホスト機能

本FOMA端末にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル T01（別売）を外部接続端子に接続することで、USB機器（市販品）を利用することができます。
- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブル T01の取扱説明書をご覧ください。

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。音声電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 対応エリアについて
  本FOMA端末は、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  ・『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  ・ドコモの「国際サービスホームページ」

おしらせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能、×：利用不可）

通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
音声電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1 spモードをご利用のお客様は、アクセスポイントの変更なくご利用いただけます。
ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をオンにしてください（P.131）。
mopera Uの定額サービスをご利用のお客様はアクセスポイントの設定変更が必要です（P.131）。
※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

おしらせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の準備

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

WORLD WING※のお申し込み状況をご確認ください。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意については、P.7を参照してください。
- ACアダプタ（別売）での充電方法については、P.23を参照してください。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のFOMA端末やアプリケーションによっては自動的に通信を行なうものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
「ネットワークオペレーター」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額でご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

- mopera Uをご利用のお客様は、アクセスポイントを従量制のアクセスポイントに設定することで、ローミング時にデータ通信が利用可能になります。従量制のアクセスポイントであっても、パケット定額サービスをご契約中で、定額サービスの対象事業者を選択した場合は、定額でご利用いただけます。
- 従量制のアクセスポイントを利用した場合は、日本に帰国する前にアクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に切り替えてください（P.131）。切り替えずに日本国内で使用した場合、料金が高額になる恐れがあります。

ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

  ローミング中

  ／ ：GPRS接続中／使用中

  ／ ：EDGE接続中／使用中

  ／ ：3G（パケット）接続中／使用中

  接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

時計設定について

ホーム画面でMENU→「設定」→「日付と時刻」→「自動」にチェックが付いている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- サマータイムがある国は、現地時間とホーム画面の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
- 手動で設定する場合は、「自動」のチェックを外して「日付設定」、「タイムゾーンの選択」、「時刻設定」をそれぞれ行ってください（P.76）。

お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「GSM／WCDMAを自動で切り替える」に設定してください（P.131）。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください（P.131）。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。
手動でネットワークを切り替える場合は、以下の操作で設定してください。

ネットワークの種類（モード）を設定する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

2 モードを選択する

WCDMAのみ	3Gネットワークを利用します。
GSMのみ	GSMネットワークを利用します。
GSM／WCDMAを自動で切り替える	利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

おしらせ

- モードを「GSM／WCDMAを自動で切り替える」に設定しているときに同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。
- 滞在先でモードを「GSMのみ」に設定した場合は、日本に帰国後、「WCDMAのみ」または「GSM／WCDMAを自動で切り替える」に設定してください。

手動で通信事業者を設定する

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」
利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 利用したい通信事業者のネットワークを選択する

おしらせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合、日本帰国後にネットワークオペレーターを「自動選択」に設定してください。

データローミングをオンにする

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」にチェックを付け、「OK」をタップする

アクセスポイントを切り替える

アクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に設定している場合、海外でネットワークに接続するにはアクセスポイントの切り替えが必要です。

1 ホーム画面でMENU→「設定」→「ワイヤレス設定」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

2 MENU→「新しいAPN」

3 「名前」→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→「OK」

4 「APN」→「mopera.net」と入力→「OK」

5 MENU→「保存」

6 アクセスポイント名画面で作成したアクセスポイントのラジオボタンをタップする

おしらせ

- 日本に帰国前にアクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に切り替えてください（P.26）。切り替えずに使用した場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますので必ず設定してください。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ▦→「電話」

2 ＋（「0」を1秒以上タップ）→国番号→地域番号（市外局番）→電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、MENU→「国番号付加」→国を選択します。
- 日本へ電話をかける場合は、市外局番を含めた電話番号を入力し、MENU→「日本へ発信」をタップします。

3 「発信」をタップする

おしらせ

- ▦→「電話」→MENU→「国番号設定」をタップすると国番号を登録できます。

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ▦→「電話」

2 電話番号を入力する

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3 「発信」をタップする

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック T03
・リアカバー T04
・FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
・卓上ホルダ T02
・PC接続用USBケーブル T01
・周辺機器接続用USBケーブル T01
・FOMA ACアダプタ 01／02※
・FOMA DCアダプタ 01／02※
・FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※
・FOMA 乾電池アダプタ 01※
・ワイヤレスイヤホンセット 02
・骨伝導レシーバマイク 02
・FOMA 補助充電アダプタ 02
・キャリングケース 02

※ 本FOMA端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタT01が必要です。
海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.140）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

カテゴリ	症状	チェックする箇所	参照先
電源	FOMA端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • 電池切れになっていませんか？	P.20、P.22
充電	充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか？ • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属のFOMA充電microUSB変換アダプタ T01が、FOMA端末およびACアダプタと正しく接続されていますか？ • 付属の卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか？ 汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • 付属のPC接続用USBケーブルT01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？ • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してお知らせLEDが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.20、P.23

次ページへ続く

カテゴリ	症状	チェックする箇所	参照先
端末操作	操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.10、P.21
	電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか？ 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.10、P.22
	電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	P.9
	タップしても正しく操作できない	• 手袋をしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • ディスプレイに保護シートを貼っていませんか？ 保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。 T-01Cのディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。	P.28
端末操作	電源を入れたのに操作できない	• PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを入力してください。	P.67
	ロックを解除したのに操作できない	• 画面ロック解除パターンまたは画面ロック解除用暗証番号／パスワードの入力画面が表示されていませんか？ 画面ロック解除パターンまたは画面ロック解除用暗証番号／パスワードを入力してください。	P.67
	ボタンを押しても動作しない	• スリープモードになっていませんか？ ⏻または⌂を押してスリープモードを解除してください。	P.24
	タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
	FOMA端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない	• FOMA端末のメモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなり警告メッセージが表示されたら、不要なアプリケーションを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.73
	画面をタップしても動かない	• 電源を入れ直してください。	P.24
	データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない	• FOMA端末を再起動してください。	P.72
	ドコモUIMカードが認識されない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか？	P.19

カテゴリ	症状	チェックする箇所	参照先
端末操作	時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の「自動」がオンになっているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.76
	端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 電源がオフの状態から電源ボタンを押し、「REGZA」が表示されたら、MENUを押し続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面下部に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を一度切って、起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	−
通話	電話がつながらない	• ドコモUIMカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか？ • 市外局番から入力していますか？ • 機内モードがオンになっていませんか？	P.19、P.56
通話	着信音が鳴らない	• 着信音量を「0」にしていませんか？ • 公共モード、マナーモードを設定していませんか？ • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか？	P.50、P.53、P.54、P.62
	通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを取り付け直してください。 • 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（▮）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	P.19、P.20、P.24
画面	ディスプレイが暗い	• バックライト設定の「消灯までの時間」が経過していませんか？ • バックライト設定の「明るさ」を変更していませんか？ • バックライト設定の「自動調整」をオンにしていませんか？オンの場合は周囲の明るさによって変わります。 • エコモードを設定していませんか？	P.64、P.65
音声	通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか？	P.44
メール	新着メールを知らせる通知アイコンが出ない	• Eメール、Gmailの「メール着信通知」がオフになっていませんか？ • SMSの「通知」がオフになっていませんか？	P.79、P.83、P.86

次ページへ続く

カテゴリ	症状	チェックする箇所	参照先
カメラ	カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 人物を撮影するときは、フォーカスモードを「顔検出」に設定してください。 • 「手振れ補正」を使って撮影してください。	P.93、P.95、P.96
ワンセグ	ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか？ • チャンネル設定をしていますか？	P.102、P.107
おサイフケータイ	おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。 • おサイフケータイ ロック設定を起動していませんか？ • FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.115
海外利用	海外でFOMA端末が使えない	**■アンテナマークが表示されている場合** • WORLD WINGのお申し込みをされていますか？WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■圏外が表示されている場合** • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。「ネットワークモード」を「GSM／WCDMAを自動で切り替える」に設定してください。「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。 • FOMA端末の電源を切ったあと、再び電源を入れることで回復する場合があります。	P.131
海外利用	海外でデータ通信ができない	• データローミングの設定をオンにしてください。	P.131
	海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか？ 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	－
	海外で電話がかかってこない	• 「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか？	－
	相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	－
データ管理	データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか？USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	－
	microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを挿入し直してください。	P.73
Bluetooth機能	Bluetooth対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth対応機器（市販品）とFOMA端末の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.59

カテゴリ	症状	チェックする箇所	参照先
Bluetooth機能	カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.24

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
PINコードを入力	PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.67
PINコードが正しくありません。残り回数：X	正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.67
暗証番号はX回とも正しく入力されていません。X秒後に再入力してください。	画面ロック解除用暗証番号またはパスワードに誤りがあるときに表示されます。正しい暗証番号またはパスワードを入力してください。	P.68
パスワードはX回とも正しく入力されていません。X秒後に再入力してください。		
SIMカードが挿入されていません	ドコモUIMカードが正しく挿入されていない状態で電源を入れたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。 なお、ドコモUIMカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め音声発信できません。	P.19
電池残量がありません。シャットダウンします。	電池残量がなくなっています。電池パックを充電してください。	P.23、P.24
しばらくお待ちください	音声回線規制中やパケット通信規制中に表示されます。しばらくたってから操作してください。	−
エコモード中のため変更できません 充電を行うかエコモードをOFFにしてください	エコモード設定の「画面の明るさ」／「バックライト消灯」／「Bluetooth」／「Wi-Fi」がオンでエコモード起動中に、電源管理ウィジェットなどから各設定を変更しようとしたときに表示されます。	P.65
コンテンツ保護に対応していないBluetooth機器のため、音声は出力されません。	SCMS-T規格に対応していないBluetooth対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドホンを接続した場合、通知パネルに表示されます。	P.58

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
  ※本FOMA端末は、電話帳コピーツールなどを使って連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
  ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  ※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
    ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定が、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理返却品は、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の３つの方法があります。

自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

おしらせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  ・通話中・圏外にいるとき
  ・国際ローミング中
  ・機内モード中
  ・USB接続時のマウント中、OSバージョンアップ中、MTP接続中
  ・日付・時刻を正しく設定していないとき
  ・ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  ・ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。」と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、「充電不足のため更新できません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。」と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- ソフトウェア更新中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を自動で行う

［自動更新］

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う。」に設定されています。
書き換え可能な状態になるとステータスバーに ⊕（ソフトウェア更新有）が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えするかを選択できます。
⊕（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、⊕（ソフトウェア更新有）は消去されます。
書き換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が「自動で更新を行わない。」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

自動更新の設定

1 ホーム画面で MENU →「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「ソフトウェア更新設定の変更」

2 ソフトウェア更新通知があったときの動作を選択する

- 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

付録／索引

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 通知パネルを開き、通知をタップする

2 書き換え方法を選択する

- ソフトウェア更新が必要なときは、書き換え時刻が表示されます。

■「OK」をタップする

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。

■「開始時刻変更」→「時刻を予約してソフトウェアを更新する」（P.144）の操作1

- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

■「今すぐ開始」→「すぐにソフトウェアを更新する」（P.143）の操作1

- 書き換えを開始します。
- 書き換えが完了するとステータスバーに（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。
- は、一度確認すると消えます。

おしらせ

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する

［即時更新］

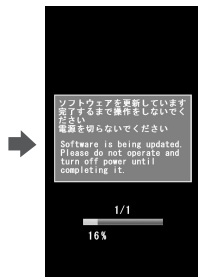
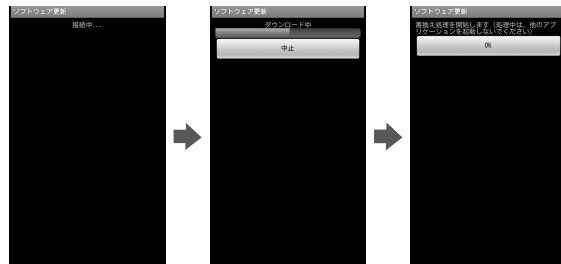
1 ホーム画面で MENU →「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新を開始する」→「はい」

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。

付録／索引

2 「OK」をタップする

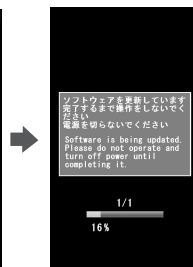
- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示される

- ステータスバーにが表示されます。は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 「今すぐ開始」をタップする

2 「書換え処理を開始します」が表示されたら、「OK」をタップする

- 「書換え処理を開始します」の表示が約3秒経過すると、自動的に書き換えを開始します。
- 書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書き換えを中止することもできません。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始する

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 通知パネルを開き、通知をタップする

- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
- ステータスバーに更新が完了したことを表す ☑（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。☑（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

ソフトウェア更新終了後の表示について

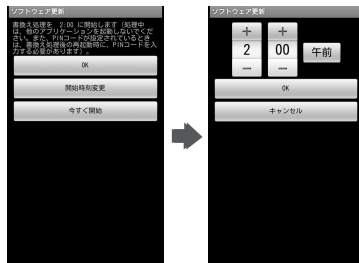
ステータスバーに☑が表示されます。通知パネルを開くと、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

時刻を予約してソフトウェアを更新する

［予約更新］

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 「開始時刻変更」をタップする

- 書き換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、FOMA端末の時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力し、「OK」をタップする

- 時刻を設定します。
- 「＋」／「－」をタップして更新時刻を変更し、「OK」をタップします。

予約した時刻になると

1 **「書換え処理を開始します」が表示されたら、「OK」をタップする**

- 「書換え処理を開始します」の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にOSバージョンアップ中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻にUSB接続時のマウント中、OSバージョンアップ中、MTP接続中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときT-01Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

主な仕様

■本体

品名		T-01C
サイズ		高さ約126mm×幅約62mm×厚さ約11.9mm（最厚部：約14.7mm）
質量		約149g（電池パック装着時）
メモリ		ROM　1024MB RAM　512MB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約370時間 移動時（自動）：約330時間 移動時（3G固定）：約330時間
	GSM	静止時（自動）：約250時間
連続通話時間	FOMA／3G	約280分
	GSM	約260分
FOMA ACアダプタ（別売）での充電時間		FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01使用時：約200分 卓上ホルダ使用時：約160分
FOMA DCアダプタ（別売）での充電時間		FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01使用時：約200分 卓上ホルダ使用時：約160分
液晶部	種類	TFT
	サイズ	約4.0inch
	発色数	262,144色
	ドット数	横480ドット×縦854ドット（フルワイドVGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/2.5 inch
カメラ有効画素数		約1220万画素
記録画素数（最大時）		約1200万画素
デジタルズーム		最大約4.0倍（20段階）
音楽再生	WMAファイル	連続再生時間約680分（バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間約660分（バックグラウンド再生対応）

次ページへ続く

無線LAN		IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応プロファイル※3	HFP、HSP、OPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、SPP

※1 本FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■電池パック

品名	電池パック T03
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1300mAh

ファイル形式

FOMA端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	3GPP	3gp

■静止画の撮影枚数（目安）

解像度	microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数
640×480（VGA）	約20480枚
854×480（FWVGA）	約14900枚
1920×1080（HD1080）	約5240枚
2592×1944（5M）	約2550枚
4000×3000（12M）	約1250枚

※撮影条件は、ズーム：なし、画質：ノーマル

■動画の撮影時間（目安）

解像度	microSDカード（2GB）に保存できる撮影時間
320×240（QVGA）	約572分
640×480（VGA）	約340分
848×480（FWVGA）	約200分
1280×720（HD720）	約98分

※撮影条件は、ズーム：なし、画質：ノーマル、種別：映像＋音声

■ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（2GB）に保存できる録画時間
約600分

※microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種[T-01C]の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は､国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており､携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0. 487W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します(※2)。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.502 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.666 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID YUW-TU12-J01.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at
http://www.phonefacts.net.

Declaration of Conformity

The product "T-01C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
The Declaration of Conformity is found on
http://www.fmworld.net/product/phone/doc/
(Japanese only)

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.386 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「おサイフケータイ」「デコメール®」「ｉモード」「ｉアプリ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera U」「パケ・ホーダイ」「エリアメール」「トルカ」および「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。Adobe Flash Player Copyright (C)1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は､株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Document Viewerを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
(c)2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

NetFront® Browser DTV Profile　NetFront® Document Viewer

- 「DCMX」及び「DCMX」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 「iD」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ArcSoft and the ArcSoft logo are registered trademarks of ArcSoft, Inc. in the United States, P. R. China, EU, and Japan.
- REGZA、REGZA Phone、Mobile REGZA Engineおよびレグザリンクは、株式会社東芝の登録商標又は商標です。
- Qosmioは株式会社東芝の登録商標又は商標です。
- SPB is a trademark of SPB Software Inc.
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- (マーク)は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「モシモカメラ®」は、アイティア株式会社の登録商標です。
- Copyright(C) 2010 DigiOn, Inc. All rights reserved. デジオン、DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
- StationMobile®は株式会社ピクセラの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- FlickrはYahoo, Inc.の登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。

次ページへ続く

- GoogleおよびGoogleロゴ、GmailおよびGmailロゴ、PicasaおよびPicasaロゴ、YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA．LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

  HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

ArcSoftエンドユーザライセンス契約

本エンドユーザライセンス契約は、ソフトウェアのエンドユーザであるお客様とArcSoft, Incとの間に締結される法的なソフトウェアライセンス契約です。本ArcSoftソフトウェア（以下「本ソフトウェア」と称します）を使用する前に、本契約をよくお読みください。携帯機器に本ソフトウェアをインストールして使用すると、本契約を読んだ上で契約条件に同意したものとみなされます。

1. ライセンスの許諾　本ライセンスにより、お客様は、本パッケージまたは製品に含まれる本ソフトウェアを1台の携帯機器で使用す

ることができます。ソフトウェアの被許諾者はそれぞれ、プログラムを一度に1台の携帯機器でのみ「使用」することができます。本ソフトウェアは、RAMに読み込まれたとき、または携帯機器のメモリーカードもしくはその他の固定記憶装置にインストールされたときに「使用」されたものとみなされます。お客様は、改変、変換、リバースアセンブル、逆コンパイル、逆アセンブルを行ってはならず、(i) 本ソフトウェアのソフトウェア保護メカニズム（本ソフトウェアの機能を制限もしくは制御するために使用されるメカニズムを含みますがこれに限定されません）の無効化、迂回、除去、解除もしくは回避、または、(ii) 本ソフトウェアのソースコードもしくは基本となるアイデア、アルゴリズム、構造もしくは構成の抽出を試みてはならないものとします（適用法により当該行動を禁止できない場合は除きます）。

2. 著作権　本パッケージまたはデバイスに含まれるソフトウェアは、米国著作権法、国際協定の各規定、および適用される他のあらゆる国内法によって保護されています。本ソフトウェアについては、他のあらゆる著作物（書籍、音楽録音など）と同様に扱う必要があります。本ライセンスは本ソフトウェアの貸与または賃貸を許可するものではなく、また、本ソフトウェアに添付資料がある場合にはその資料のコピーは禁止されています。

3. 所有権　本ソフトウェアおよび添付ドキュメンテーションならびに上記のコピーに関する権利、所有権、およびあらゆる知的財産権は、ArcSoftまたはその第三許諾者にのみ帰属するものとします。お客様は、著作権法その他あらゆる準拠法に従うことに同意するものとします。お客様は、本ソフトウェアに、ArcSoftまたはその第三許諾者の貴重な機密情報およびトレードシークレットが含まれていることを認めるものとします。

4. ソフトウェアのアップデート　本ソフトウェアは、ArcSoftのサーバと同期化して、バグ修正、パッチ、拡張機能、補足プラグイン、新規バージョンなど、本ソフトウェアで利用可能なアップデート（以下「アップデート」と総称します）がないかどうかを確認することがあります。本ソフトウェアから、本ソフトウェアの最新版に関する情報のリクエストがArcSoftのサーバに送信されます。アップデートが利用可能な場合は、お客様はダウンロードするかどうかを選択することができます。アップデートをダウンロードする前に、本ソフトウェアがお客様の許諾を求めます。本ソフトウェアをインストールし、アップデートの自動確認を無効にしない場合は、ArcSoftのサーバにリクエストを自動送信してアップデートを受信することに同意したものとみなされます。

5. 保証の否認　ArcSoftは、商品性および特定目的適合性に関する黙示保証、知的財産の非侵害に関する保証などを含め（これに限定されません）、明示、黙示を問わず、本ソフトウェアについて一切の保証を行わず、本契約に明記されていないすべての保証を明示的に否認します。お客様は、本ソフトウェアの品質および性能に関する全リスクを負担するものとします。本ソフトウェアに欠陥があることが判明した場合、必要なサービス、修理または修正の全費用を負担するのは、ArcSoftまたは指定再販業者ではなく、お客様です。但し、ArcSoftに故意または重過失がある場合を除きます。

6. 限定責任　お客様の唯一の救済手段として、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様に保証する責任範囲は、第5条に定める内容に限定されます。本ソフトウェアの使用または使用不能から生じる結果的もしくは付随的損害、出費、利益もしくは財産の逸失、またはその他の損害に関しては、たとえArcSoftまたはそのライセンサが損害の可能性を予見していた場合にも、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様や第三者に対して責任を負うことはありません。法域によっては結果的または付随的損害に対する免責や責任制限を認めていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

7. 輸出　お客様は、米国またはその他の国の政府から適切な許可を得ることなく、本ソフトウェアを組み込んだ製品を輸出または再輸出しないこととします。

次ページへ続く

8. 米国政府の権利の制限　お客様が米国政府の部署または機関である場合、本ソフトウェアおよび関連ドキュメンテーションはそれぞれ、適宜、DFAR Section 227.7202およびFAR Section 12.212(b)に定められた「商用コンピュータソフトウェア」「商用コンピュータソフトウェアドキュメンテーション」とみなされます。米国政府による本ソフトウェアまたは関連ドキュメンテーションの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示については、本契約の諸条件のみが適用されるものとし、本契約の条件によって明示的に許可されていない限り、禁止されるものとします。提供された技術データのうち、上記の規定が適用されないものについては、DFAR Section 227.7015(a)に定められた「技術データ商用品目」とみなされます。当該技術データの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示には、DFAR Section 227.7015(b)の条件が適用されるものとします。

9. 高リスク行為　本ソフトウェアはフォールトトレラントではなく、フェールセーフ機能を必要とする危険な環境下における使用には適していません。また、本ソフトウェアの障害が、死亡、傷害または深刻な物的損害にただちにつながる恐れがある他の用途（以下「高リスク行為」と総称します）にも適していません。ArcSoftは、高リスク行為への適用性に関する明示または黙示の保証を明確に否認します。

10. プライバシーポリシー　本ソフトウェアの登録およびアクティベーションのプロセスにおいて、お客様の氏名、電話番号、住所、Eメールアドレスなどの個人情報の提供をお願いすることがあります。ArcSoftは、お求めの製品をお届けするために必要な場合を除いては、お客様の個人情報をいかなる第三者とも共有することはなく、また、いかなる第三者に売却することもありません。

11. 使用状況の追跡　ArcSoftは、製品の使いやすさを高めるために、特定の製品機能の使用状況に関する情報を記録することがあります。匿名性を維持するため、収集する使用状況の情報には、対応する個人情報は一切含まれません。

12. ライセンスの終了　お客様が本ソフトウェアを無断で複製した場合、または本ライセンス契約の条件に従わなかった場合には、お客様の本ソフトウェアに関する権利は、直ちに、または30日以内の通知をもって終了します。本ライセンスが終了した場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを本ソフトウェアの入手先へ返却しなければなりません。

13. 準拠法　本製品を米国内で購入された場合は、本契約はカリフォルニア州法に準拠します。それ以外の場合は、お客様が本製品を購入された各国法または各地域法に準拠します。

Adobe® Flash® Playerエンドユーザ・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of software by this device manufacturer and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) other industry standard disclaimers and limitations, including, as applicable: a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of this product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from this device manufacturer.

オープンソースソフトウェアについて

本製品には、Google社が開発したAndroidのソフトウェア、及びApache License, Version 2.0（http://www.apache.org/licenses/）に基づいた下記のオープンソースソフトウェアが含まれています。

- httpmime-4.0.1.jar
- httpmime-4.1-alpha2.jar
- apache-mime4j-0.6.jar
- signpost-commonshttp4-1.2.1.1.jar
- signpost-core-1.2.1.1.jar

本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。詳細については、以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/

RSS利用規約

「ニュースRSSリーダ」パレットについて

- 「ニュースRSSリーダ」パレットは、右に示すRSS提供各社が提供するRSS（Rich Site Summary）を利用しています。
- 「ニュースRSSリーダ」パレットで配信されるRSSは、右に示すRSS提供会社の利用規約に基づき運営されています。
- 各社のRSS配信は、当社が保証するものではありません。
- 各社のRSS配信は、右に示すRSS提供会社の都合により、予告なく休止・終了されることがあります。
- 各社のRSS配信のご利用条件は、右に示すRSS提供会社の都合により、予告なく変更されることがあります。
- RSS提供各社の利用規約・ご利用条件は右に示す各社のWebページよりご確認ください。

RSS提供会社および利用規約

- ITmedia＋D（アイティメディア株式会社）
  http://www.itmedia.co.jp/info/rule/
- 朝日新聞社
  http://mini.asahi.com/rssinfo.html
- ケータイ Watch(株式会社 Impress Watch)
  http://k-tai.impress.co.jp/cda/rss/ktai.rdf

- CNET Japan総合
  http://japan.cnet.com/info/feed/

- nikkei BPnet
  http://www.nikkeibp.co.jp/info/rss/

- Yahoo!ニュース・トピックス
  http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/

Copyright (c) 2000-2010 CBS Interactive, Inc. All Rights Reserved. 'CNET' and 'CNET News.com' are trademarks of CBS Interactive, Inc.
Copyright (c) 2010 ASAHI INTERACTIVE, Inc. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

索引

あ

か

さ

付録／索引

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

付録／索引

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ただし、傷病者の救護または公共の安全など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】→P.62
着信音やメディア再生音などFOMA端末から鳴る音を消します。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF）】→P.54、P.55
電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレーション】→P.63
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。
受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。
受付時間　24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※T-01Cから、ご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上タップします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※T-01Cから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上タップします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

この取扱説明書は植物油インキで印刷しています

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社

'11.10（3.1 版）